

横 須 賀 美 術 館

年 報  YOKOSUKA
MUSEUM OF ART

令和 6 年度版 [2024.4.1 - 2025.3.31]

目 次

1 事業

- 1-1 展覧会事業…………… 5
 - 1 企画展
 - 2 所蔵品展
 - 3 谷内六郎館
- 1-2 教育普及事業……………44
 - 1 展覧会関連の教育普及事業
 - 2 単独開催の教育普及事業
 - 3 学校との連携
 - 4 ボランティアの活動
 - 5 託児サービス
- 1-3 広報関連事業……………64

2 刊行物

- 2-1 出版物……………65
- 2-2 配布物……………66

3 調査・研究活動

- 3-1 論文等……………68

4 収集・管理

- 4-1 作品収集……………69
- 4-2 保存・修復……………94
 - 1 保存
 - 2 修復・額装
- 4-3 作品の貸出……………96

5 図書室

- 5-1 図書室……………97
 - 1 所蔵資料数
 - 2 利用統計

6 記録

- 6-1 組織……………98
 - 1 外部組織
 - 2 委員会の開催記録
 - 3 職員等
- 6-2 開館日数・観覧者数……………99
- 6-3 歳入・歳出……………99
 - 1 歳入
 - 2 歳出

7 資料

- 7-1 条例等……………100
 - 1 美術館条例
 - 2 美術館条例施行規則
 - 3 美術館運営評価委員会条例
 - 4 美術館美術品評価委員会条例

1 事業

1-1 展覧会事業

横須賀美術館令和6年度展覧会事業は、下記一覧のとおりである。

なお、P.6以降に各展覧会の概要を掲載する。

1-1-1 企画展 (P.6)、1-1-2 所蔵品展 (P.22)、1-1-3 谷内六郎館 (P.36)

*開催日数は休館日を除く。

1-1-1 企画展

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
鈴木敏夫とジブリ展	2024年3月20日(水・祝)～6月18日(火)	88	172,658	1,962.0
驚異の細密表現展 —江戸・明治の工芸から現代アートまで—	2024年4月20日(土)～6月23日(日)	63	14,533	230.7
エドワード・ゴッシーを巡る旅	2024年7月6日(土)～9月1日(日)	57	26,457	464.2
瑛九—まなざしのその先に—	2024年9月14日(土)～11月4日(月・休)	51	17,119	335.7
運慶展 運慶と三浦一族の信仰	2024年10月26日(土)～12月22日(日)	56	27,191	485.6
箱根—横須賀連携企画第2弾 アートでつなぐ山と海 響きあう20世紀美術 彫刻の森美術館×横須賀美術館	2024年11月16日(土)～12月22日(日)	36	12,498	347.2
第77回児童生徒造形作品展	2025年1月11日(土)～1月27日(月)	17	15,403	906.1
生誕120周年 サルバドル・ダリ—天才の秘密—	2025年2月8日(土)～4月6日(日)	57	49,699	871.9

*観覧者数は、企画展会期中の発券数

1-1-2 所蔵品展

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
第1期所蔵品展 小特集:朝井閑右衛門が描いた「ドン・キホーテ」	2024年3月5日(火)～7月7日(日)	121	—	—
第2期所蔵品展 特集:生誕100年 芥川紗織 新恵美佐子 祈りの花	2024年7月13日(土)～10月20日(日)	97	28,304	291.8
第3期所蔵品展 特集:かながわ散歩	2024年10月26日(土)～2025年2月16日(日)	104	36,060	346.7
第4期所蔵品展 特集:新収蔵作品展	2025年3月1日(土)～5月11日(日)	70	30,811	440.2

1-1-3 谷内六郎館

名 称	会 期	開催日数	観覧者数 (人)	一日平均 (人/日)
谷内六郎<週刊新潮 表紙絵>展 足もとに目を向けると	2024年4月6日(土)～7月7日(日)	90	27,113	301.3
谷内六郎<週刊新潮 表紙絵>展 奏でる—楽器の調べ—	2024年7月13日(土)～10月20日(日)	97	16,736	172.5
谷内六郎<週刊新潮 表紙絵>展 大人たち	2024年10月26日(土)～2025年2月16日(日)	104	25,245	242.7
谷内六郎<週刊新潮 表紙絵>展 ろうけつ染の世界 新収蔵作品を交えて	2025年3月1日(土)～5月11日(日)	70	14,677	209.7

会 期	2024 年 3 月 20 日（水・祝）～ 6 月 18 日（火） 開催日数 88 日間（休館日を除く）	
休 館 日	4 月 1 日（月）、5 月 13 日（月）、6 月 3 日（月）	
観 覧 料	一般 2,000 円＊中学生以下、横須賀市内在住・在学の高校生は無料	
会 場	地階 展示室および展示ギャラリー	
主 催	「鈴木敏夫とジブリ展」 神奈川展開催委員会（トライアングル、横須賀市、ローソンエンタテインメント、神奈川県、横須賀市観光協会、JTB 横須賀支店）	
後 援 等	特別協賛：au（KDDI） 神奈川県特別協賛：京急電鉄、京浜急行バス 特別協力：スタジオジブリ、日本テレビ 企画協力：ムービック・プロモートサービス、博報堂 DY メディアパートナーズ 展示協力：ア・ファクトリー 協賛：ジェイコム湘南・神奈川、神奈川新聞社、t v k（テレビ神奈川） 後援：横須賀商工会議所、横浜銀行、かながわ信用金庫、湘南信用金庫、神奈川県観光協会	
巡 回 館	神田明神 文化交流館「EDOCCO」内 神田明神ホール（2019 年 4 月 20 日～ 5 月 12 日）、 ハウステンボス美術館（2019 年 7 月 13 日～ 9 月 23 日）、京都文化博物館（2022 年 4 月 23 日～ 6 月 19 日）、 寺田倉庫 B&C HALL/E HALL（2022 年 7 月 1 日～ 9 月 7 日）、岩手県民会館（2023 年 4 月 7 日～ 5 月 24 日）、 福岡市博物館（2023 年 6 月 9 日～ 8 月 31 日）、愛媛県美術館（2023 年 12 月 9 日～ 2024 年 1 月 28 日）、 岡山県立美術館（2024 年 7 月 9 日～ 9 月 1 日）、長野県立美術館（2025 年 4 月 25 日～ 6 月 29 日）、 愛・地球博記念公園体育館（2025 年 7 月 12 日～ 9 月 25 日）	
事業概要	高畑勲・宮崎駿監督と共に、世界を代表する数々のアニメーション映画を世に送り出してきたスタジオジブリ・プロデューサーの鈴木敏夫に焦点を当てる展覧会。鈴木敏夫が幼少期から今まで時代を駆け続けている中で出会った映画作品や書籍を数多く紹介するとともに、スタジオジブリの誕生秘話や、映画の企画・宣伝の裏側を紹介します。 また会場内には巨大な湯婆婆と銭婆の恋愛・開運おみくじや、鈴木プロデューサーが書いたジブリ作品の「名セリフ」を巨大オブジェにした「吊り文字」など多くのフォトスポットも用意しました。	
観 覧 者 数	実績（人）	一日平均（人）
	172,658	1,962.0
主な展覧会評等	「名作の世界観探る きょうからジブリ展 資料や立体造形紹介」（神奈川新聞、3 月 20 日） 「ジブリの世界観満喫 横須賀「鈴木敏夫展」きょう開幕」（毎日新聞、3 月 20 日） 「鈴木敏夫さんとジブリの足跡 横須賀美術館で開幕」（読売新聞、3 月 22 日） 「「オオトリさま」オブジェが登場」（神奈川新聞、3 月 23 日） 芳垣文子「鈴木敏夫とジブリ展盛況 横須賀美術館で開催中」（朝日新聞、3 月 23 日） 砂上麻子「名作誕生秘話に迫る 横須賀で「鈴木敏夫とジブリ展」（東京新聞、3 月 30 日） 「「鈴木敏夫とジブリ展」人気 横須賀で手書き企画書など展示 アカデミー賞も追い風に」（産経新聞、4 月 15 日） 「イマカナ［文化］ 鈴木敏夫とジブリ展 横須賀美術館」（神奈川新聞、5 月 6 日） 「京急、ジブリのラッピング電車」（神奈川新聞、5 月 22 日） 「県内初! 鈴木敏夫とジブリ展 20 日から横須賀美術館で開催」（テレビ神奈川、3 月 19 日）	
印 刷 物	ポスター	B2 判 初刷 1,070 枚、増刷 160 枚 / B1 判 初刷 90 枚、増刷 130 枚 / A3 判 初刷 600 枚、増刷 100 枚
	チラシ	A4 判 初刷 125,000 枚 増刷 220,000 枚
	チケット	当日券 初刷 32,000 枚、増刷 26,000 枚 / 無料券 初刷 3,500 枚、増刷 15,000 枚 / 招待券 3,500 枚
	招待状	1,200 部
	製作	株式会社ライブアートブックス

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)

会 期	2024 年 4 月 20 日（土）～ 6 月 23 日（日） 開催日数 63 日間（休館日を除く）	
休 館 日	5 月 13 日（月）、6 月 3 日（月）	
観 覧 料	一般 1,300 円／高大生・65 歳以上 1,100 円	
主 催	横須賀美術館	
助 成	令和 6 年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）	
事業概要	<p>開港場であり居留地のあった横浜は、明治期には陶磁器の一大生産地であり、真葛焼に代表される「横浜焼」の精巧な細工や意匠は欧米の人々を驚かせ、大変な評判を呼びます。またこの地では洋家具をもとにして龍や松竹梅、鳳凰などの精密な彫刻をほどこした和洋折衷で輸出用の彫刻家具が制作されます。近年、横浜焼が里帰りしつつあり、また日本にほとんど残っていない貴重な彫刻家具の表現にも改めて注目が集まっています。</p> <p>時代が変わっても、優れた技術を伴いつつ強烈な個性と芸術性をもつ作品は、人々を魅了してきました。近代においては西洋由来の写実的な表現として、迫真的な力強さを伴った絵画や彫刻が生まれています。今日においても自らの表現を突き詰める現代作家による注目すべき試みを見ることができます。本展は、日本の江戸・明治期から現代における細密表現をキーワードにして、工芸、絵画、現代アートという幅広いジャンルから選りすぐった約 100 点の作品をご紹介します、その表現の多様性をご覧くださいいただくとするものです。</p>	
観 覧 者 数	実績（人）	一日平均（人）
	14,533	230.7
主な展覧会評等	<p>高橋円「幅広い時代の精緻な技巧に迫る 横須賀美術館で驚異の細密表現展」（神奈川新聞、5 月 18 日）</p> <p>矢部真太「描き発見、わが表現 走水小 5 年生 細密作品、思い思いに」（神奈川新聞、5 月 25 日）</p> <p>山根聡「かながわ 美の手帳 横須賀美術館「驚異の細密表現展—江戸・明治の工芸から現代アートまで—」（産経新聞、6 月 2 日）</p> <p>「新日曜美術館 アートシーン」（E テレ、6 月 9 日）</p>	
印刷物	図録	
	内容	<p>ごあいさつ／謝辞／目次／凡例</p> <p>1 章 近代工芸と細密表現 初代宮川香山／井村彦次郎／田代屋／滝藤萬次郎／保土田太吉／クーン&コモル商会／横浜彫刻家具／輸出された装身具／藤田君代 櫛コレクション／たばこ入れ／たばこ箱</p> <p>2 章 近代洋画、日本画における細密表現の一断面 高橋由一／岸田劉生／河野通勢／椿貞雄／清宮彬／高間惣七／小絲源太郎／燐光／竹内栖鳳／小茂田青樹／前田青邨／堅山南風／星野真吾</p> <p>3 章 現代美術と細密表現 白井良平「自作について」／川田祐子「肌で感じる必然の細密」／木下晋「驚異の細密表現展に寄せて」／須田悦弘／前原冬樹</p> <p>出品リスト／主要参考文献</p>
	版型／ページ数	A5 変形判／118 頁
	価格（税込）	1,500 円
	内容	<p>編集・執筆：工藤香澄、栗林陵、富田康子</p> <p>翻訳：ザ・ワードワークス</p> <p>印刷：ニューカラー写真印刷株式会社</p> <p>発行：横須賀美術館</p>
	その他	
	ポスター	B2 判 900 枚／B1 判 60 枚／A3 判 470 枚
	チラシ	A4 判 40,000 枚
	チケット	一般 20,000 枚／高大生・65 歳以上 10,000 枚／無料 20,000 枚
	DMハガキ	1,200 枚
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



印刷物



B2ポスター



A3ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



DMハガキ



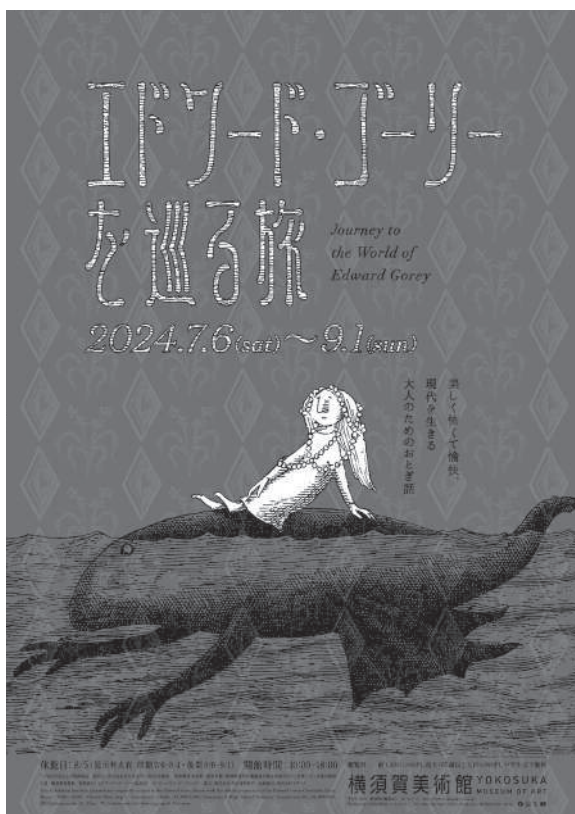
チケット

会 期	2024 年 7 月 6 日（土）～ 9 月 1 日（日） 開催日数 57 日間（休館日を除く）	
休館日	8 月 5 日（月）	
観覧料	一般 1,300 円／高大生・65 歳以上 1,100 円	
主 催	横須賀美術館	
特別協力	エドワード・ゴーリー公益信託、ゴーリーハウス（ケープコッド）	
協 力	株式会社河出書房新社	
企画協力	株式会社イデッフ	
巡回館	渋谷区立松濤美術館（2023 年 4 月 8 日～ 6 月 11 日）、佐倉市立美術館（2024 年 4 月 20 日～ 6 月 23 日）、奈良県立美術館（2024 年 9 月 14 日～ 11 月 10 日）、松坂屋美術館（2025 年 3 月 1 日～ 4 月 6 日）、高松市美術館（2025 年 4 月 12 日～ 6 月 8 日）	
事業概要	不思議な世界観と、モノトーンの緻密な線描で、世界中に熱狂的なファンを持つ絵本作家エドワード・ゴーリー（Edward Gorey, 1925-2000）。近年、日本でも『うろんな客』『不幸な子供』などの絵本が次々と紹介されてきました。ゴーリーは、自身がテキストとイラストの両方を手掛けた主著（Primary Books）以外にも、挿絵、舞台と衣裳のデザイン、演劇やバレエのポスターなどに多彩な才能を発揮しました。本展は、そんな作家の終の棲家に作られた記念館・ゴーリーハウスで開催されてきた企画展から、「子供」「不思議な生き物」「舞台芸術」などのテーマを軸に約 250 点の作品・資料で再構成するものです。米国東海岸の半島に残る古い邸宅へと旅するように、達観したクールな死生観を持つ謎めいた作品との邂逅を楽しんでいただきました。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	26,457	464.2
主な展覧会評等	「イマカナ [文化] 絵本作家ゴーリーを巡る旅 横須賀美術館」（神奈川新聞、7 月 29 日）	
印刷物	図録	
	内容	謝辞 / ごあいさつ / 目次 / 凡例 第 1 章 ゴーリーと子供 「不幸な子供・ゴーリー氏の町から」 グレゴリー・ヒスチャク、翻訳：柴田元幸 第 2 章 ゴーリーが描く不思議な生き物 「共生・暴力・シャーマン——ゴーリーと動物」 グレゴリー・ヒスチャク、翻訳：柴田元幸 第 3 章 ゴーリーと舞台美術 「ステップを踏む エドワード・ゴーリーと芸術という名のダンス」 グレゴリー・ヒスチャク、翻訳：柴田元幸 第 4 章 ゴーリーの本作り 「愛書狂ゴーリー」 河村錠一郎 エドワード・ゴーリー旧蔵 19 世紀書籍一覧（平泉千枝、新川貴詩：編） 第 5 章 ケープコッドのコミュニティと象 ケープコッドとゴーリー 「西洋近代絵画とエドワード・ゴーリー——子供を描くことをめぐって——」 三浦篤 グレゴリー・ヒスチャク（ゴーリーハウス・キュレーター）へのインタビュー 「手紙、小包、ムーンストーン、ゆかいな郵便物のやり取り——エドワード・ゴーリーのポートレート——」 アレグラ・ケント 略年譜（柴田勢津子：編） / 出展作品一覧 / 出展書籍一覧 / コピーライト、写真クレジット
	版型／ページ数	A4 変形判 / 160 頁
	価格（税込）	2,750 円
	内容	執筆：グレゴリー・ヒスチャク、河村錠一郎、三浦篤、アレグラ・ケント、柴田勢津子 翻訳：柴田元幸、赤井駒子、塚原真里子 アートディレクター：柿木原政広（株式会社 10） デザイナー：佐々木在（株式会社 10） 編集：柴田勢津子（株式会社イデッフ）、平泉千枝（渋谷区立松濤美術館）、新川貴詩 編集協力：中村貴絵（横須賀美術館）、飯島礼子（奈良県立美術館）、石田智子（高松市美術館） 印刷・製本：株式会社サンニチ印刷 発行：株式会社イデッフ
	その他	
	ポスター	B2 判 900 枚／B1 判 60 枚／A3 判 460 枚
	チラシ	A4 判 40,000 枚
	チケット	一般 30,000 枚／高大生・65 歳以上 10,000 枚／無料 30,000 枚
	DMハガキ	1,000 枚
	製作	株式会社サンニチ印刷

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



A3ポスター



DMハガキ



チケット

会 期	2024 年 9 月 14 日（土）～11 月 4 日（月・休） 開催日数 51 日間（休館日を除く）	
休館日	10 月 7 日（月） ※11 月 3 日（日・祝）は無料観覧日	
観覧料	一般 1,300 円 / 高大・65 歳以上 1,100 円	
主 催	横須賀美術館	
特別協力	宮崎県立美術館	
特別出品	東京国立近代美術館	
事業概要	<p>瑛九（えいきゅう 1911－60）は、油彩画のみならず、写真、版画など多分野で創作活動を行い、作風も印象派 やシュルレアリスム、キュビズムなどに刺激を受けながら、めまぐるしく変貌し、絶えず新しい表現を模索し続けました。また、批判的精神を持ち続け、美術や社会に関する評論活動に精力的に行い、「デモクラート美術家協会」を組織するなど指導者としての顔も持った瑛九の存在は、その作品とともに、同時代や後進の芸術家たちを惹きつけ多大な影響を与えました。</p> <p>本展では、最初期から絶筆に至るまでの油彩画を中心に、「フォト・デッサン」による写真作品、銅版画やリトグラフなど、各分野の代表作による約 100 点を一堂に展示します。自ら理想とする美を追求し続け、戦前・戦後を駆け抜けた瑛九の軌跡を紹介します。</p>	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	17,119	335.7
主な展覧会評等	<p>「芸術家・瑛九の油彩画や写真 横須賀で 100 点展示」（読売新聞、9 月 20 日）</p> <p>「まる丸まる丸 冒険の果ては 『みづうみ』」（朝日新聞夕刊、10 月 15 日）</p> <p>「かながわ 美の手帖」（産経新聞神奈川版、10 月 19 日）</p>	
印刷物	図録	
	内容	<p>ごあいさつ / 謝辞 / 目次</p> <p>小林美紀「宮崎県立美術館の瑛九コレクション—はじめて瑛九に出会う人のために」</p> <p>凡例</p> <p>第 1 章 1911-1951</p> <p>評論活動 / フォト・デッサン集『眠りの理由』 / コラージュ / 油彩画の再出発 / ミヤ子夫人 / デモクラート美術家協会の発足</p> <p>第 2 章 1951-1957</p> <p>フォト・デッサン / エッチング / 浦和への転居 / 深さと密度を増す油彩画 / リトグラフ / 吹き付けによる油彩画 / デモクラート美術家協会の解散</p> <p>第 3 章 1957-1960</p> <p>点のイメージ</p> <p>栗林陵「《デッサン（セロファン）》について」</p> <p>略年譜 / 出品目録</p>
	版型／ページ数	B5 変形判 / 160 頁
	価格（税込）	2,200 円
	製作	<p>編集：栗林陵（横須賀美術館）</p> <p>翻訳：小川紀久子</p> <p>デザイン・印刷：半七写真印刷工業株式会社</p> <p>発行者：横須賀美術館</p>
	その他	
	ポスター	B2 判 900 枚 / B1 判 60 枚 / A3 判 460 枚
	チラシ	A4 判 40,000 枚
	チケット	一般 12,000 枚 / 高大生・65 歳以上 6,000 枚 / 無料 8,000 枚
	DMハガキ	1,000 枚
	製作	半七写真印刷工業株式会社

会 期	2024 年 10 月 26 日（土）～ 12 月 22 日（日） 開催日数 56 日間（休館日を除く）	
休館日	11 月 5 日（火）、12 月 2 日（月） ※11 月 3 日（日・祝）は無料観覧日	
観 覧 料	一般 1,000 円／高大生・65 歳以上 800 円 「響きあう 20 世紀美術」展との【お得なセット券】一般 2,000 円／高大生・65 歳以上 1,800 円	
会 場	地階 展示室 5、6、7	
主 催	横須賀美術館	
共 催	神奈川県立金沢文庫	
特別協力	鎌倉国宝館	
協 賛	一般財団法人シティサポートよこすか	
助 成	令和 6 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業	
後 援	朝日新聞社	
事業概要	<p>12 ～ 13 世紀の三浦半島で大きな力をもった武士・三浦一族。鎌倉幕府成立前後の彼らの地位を象徴するように、横須賀・三浦半島には一族ゆかりの寺が多くつくられ、当時一流の仏師の手による仏像が安置されました。うち 6 躯が国指定重要文化財です。</p> <p>三浦一族の一人、和田義盛（わだ よしもり 1147 ～ 1213）の依頼で仏師・運慶（うんけい ? ～ 1223）が制作した阿弥陀三尊像、不動明王像・毘沙門天像（すべて横須賀市芦名、浄楽寺蔵）は、まさにその典型です。本展では、この運慶作の五つの仏像を中心に、義盛の所持と伝わる薬師如来像（三浦市初声和田、天養院蔵）、三浦半島の宗教的先進性を伝える南宋からの舶来仏で、滝見観音の名で親しまれてきた観音菩薩坐像（横須賀市大矢部、清雲寺蔵）を含め、東国武士の祈りを受けとめた全 9 躯の貴重な仏像をご紹介します。</p> <p>なお、本展は「運慶と鎌倉」をテーマに、神奈川県立金沢文庫、鎌倉国宝館とともに開催する連携展示のひとつです。鎌倉幕府と三浦一族、そして運慶が結びつくことによって生まれた、この地域における中世仏教文化の至宝を、館ごとに異なるテーマによって、ご覧いただきます。</p>	
観 覧 者 数	実績（人）	一日平均（人）
	27,191	485.6
主な展覧会評等	「ニコニコ美術館」ライブ配信（12 月 1 日 8 ～ 10 時・20 時からは、神奈川県立金沢文庫からライブ配信） 「グッドモーニング」内「グッドいち押し」コーナー（テレビ朝日、12 月 6 日）	
印 刷 物	図録	
	内 容	目次／凡例 第 1 章 運慶—女人の作善と鎌倉幕府— 総説 1 運慶—女人の作善と鎌倉幕府—（瀬谷貴之） コラム 性我の周辺（三輪真嗣） 第 2 章 運慶と三浦一族の信仰 総説 2 運慶と三浦一族の信仰（瀬谷貴之） コラム 「三浦一族の信仰」から見る三浦半島（富田康子） 第 3 章 鎌倉の伝運慶仏 総説 3 鎌倉の伝運慶仏（石井千紘） 主要参考文献／出品目録／謝辞
	版型／ページ数	B5 判 /128 頁
	価 格（税込）	2,420 円
	製 作	編者：神奈川県立金沢文庫、横須賀美術館 発行者：吉川弘文館
	その他	
	ポスター	B2 判 900 枚／B1 判 80 枚／A3 判 460 枚
	チラシ	A4 判 当初 65,000 枚（市内全児童生徒配布あり）／改訂 30,000 枚／改訂 2 版 30,000 枚
	チケット	一般 10,000 枚／高大生・65 歳以上 8,000 枚／無料 15,000 枚
	DMハガキ	1,000 枚
	リーフレット	てらこや運慶塾公式テキスト「運慶の教科書 読んで知る編」当初 10,000 枚／2 刷 6,000 枚、 「運慶の教科書 見てわかる」編 当初 11,000 枚／2 刷 6,000 枚
	製 作	半七写真印刷工業株式会社

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



B1ポスター (よこすか満喫きっぷ)



チケット



A3ポスター



A4チラシ (表)



A4チラシ (裏)

箱根-横須賀連携企画第2弾 アートでつなぐ山と海 響きあう20世紀美術 彫刻の森美術館×横須賀美術館

会 期	2024 年 11 月 16 日（土）～ 12 月 22 日（日） 開催日数 36 日間（休館日を除く）	
休館日	12 月 2 日（月）	
観覧料	一般 1,300 円／高大生・65 歳以上 1,100 円 運慶展との【お得なセット券】 一般 2,000 円／高大生・65 歳以上 1,800 円	
主 催	横須賀美術館	
特別協力	公益財団法人彫刻の森芸術文化財団	
事業概要	箱根地域の美術館と連携する「アートでつなぐ山と海」の第2弾として、彫刻の森美術館と横須賀美術館の所蔵する名品により、20 世紀美術を紹介する展覧会を開催します。 近現代の日本美術からなる横須賀美術館のコレクションに対し、彫刻の森美術館では、開館以来 55 年におよぶ活動を通じ、近現代の彫刻作品を重点とする、西洋と日本にまたがるコレクションを形成しています。本展では、彫刻の森美術館が所蔵するピカソやムーアなどを含む名品およそ 40 点を、横須賀美術館の所蔵品と組み合わせで展示し、響きあいを楽しめます。また、1880 年代から 2000 年代の作品をテーマごとにおよそ時系列にそってまとめ、20 世紀美術が移り変わってゆくようすを概観します。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	12,498	347.2
主な展覧会評等	「2 美術館の作品 ハーモニー堪能 横須賀で企画展」（読売新聞、11 月 16 日） 高橋円「横須賀美術館「響きあう 20 世紀美術」展 2 美術館の作品が共鳴」（神奈川新聞、12 月 2 日） 福沢光一「箱根 × 横須賀 連携第2弾 意外なコラボ 楽しんで 22 日まで・横須賀美術館」（毎日新聞、12 月 7 日） 山根聡「かながわ美の手帖 組み合わせが生む思いがけない感動」（産経新聞、12 月 7 日）	
印刷物	ポスター	B2 判 900 枚／B1 判 60 枚／A3 判 450 枚
	チラシ	A3 判二つ折 40,050 枚
	チケット	一般 10,000 枚／高大生・65 歳以上 5,000 枚／無料 8,000 枚 【セット券】 一般 5,000 枚／高校生・65 歳以上 5,000 枚
	DMハガキ	1,000 枚
	目録	A4 判 8 ページ 10,000 部
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A3二つ折チラシ(表)



DM/ハガキ



A3二つ折チラシ(中)



A3ポスター



チケット



会 期	2025 年 1 月 11 日（土）～ 1 月 27 日（月） 開催日数 17 日間	
休館日	なし	
観覧料	無料	
主 催	横須賀市教育委員会・横須賀美術館・横須賀市造形教育研究会	
事業概要	横須賀市では図工・美術教育において 60 数年にわたり小学校・中学校・高等学校と教育委員会が連携して、意欲的な表現や自分らしい工夫のできる子どもの育成を目指し、研究を深めてきました。毎年その成果の一部である日々の授業の中で制作された作品を「児童生徒造形作品展」として発表しています。市立幼・小・中・高・ろう・養護学校、73 校園より選抜された平面作品（一部半立体）や立体作品、共同作品等約 3,000 点（平面：1,795、立体：736、合計：2,531 点）を展示し、子ども達の夢あふれる作品を保護者の皆様をはじめ、市内外の多くの方々にご紹介します。学校と美術館の教育普及活動の連携をさらに深め、子どもたちへの造形教育・美術館教育を推進する展覧会です。	
観覧者数	実績（人）	一日平均（人）
	15,403	906.1
印刷物	ポスター	B2 判 190 枚
	チラシ	A4 判 28,800 枚
	製作	株式会社千代田プランニング

展示風景



印刷物



B2ポスター



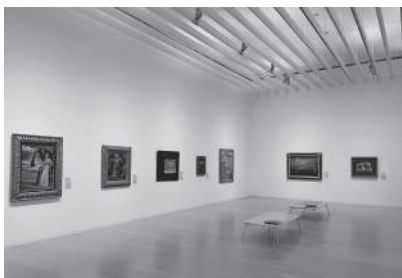
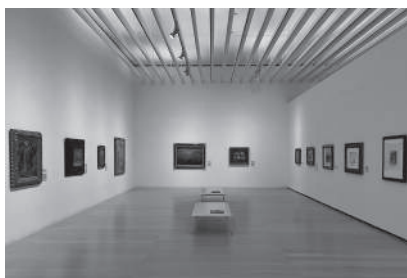
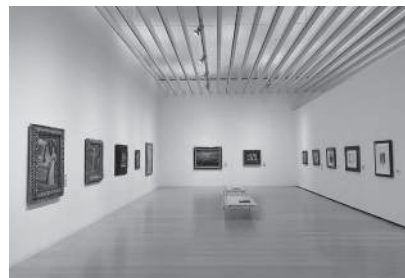
A4チラシ(表)



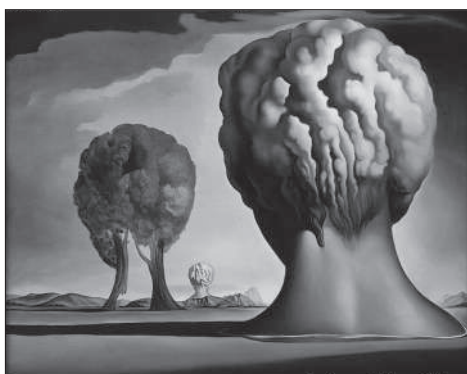
A4チラシ(裏)

会 期	2025 年 2 月 8 日（土）～ 4 月 6 日（日）開催日数 57 日間（休館日を除く）		
休 館 日	3 月 3 日（月）		
観 覧 料	一般 1,400 円／高大生・65 歳以上 1,200 円 ※2 月 16 日（日）は無料観覧日		
主 催	横須賀美術館、NHK プロモーション		
巡 回 館	諸橋近代美術館（2024 年 4 月 20 日～ 9 月 1 日）、秋田市立千秋美術館（2024 年 9 月 14 日～ 11 月 10 日）、大分県立美術館（2024 年 11 月 22 日～ 2025 年 1 月 19 日）、広島県立美術館（2025 年 4 月 15 日～ 6 月 8 日）		
事業概要	サルバドール・ダリ（1904-89）の生誕 120 周年、シュルレアリスム宣言 100 年の記念すべき節目に開催する本展は、世界屈指のダリ・コレクションを形成する諸橋近代美術館の所蔵品を中心にダリの生涯を概観し、ダリの渡米以降の活動にも注目します。ダリが私たち観衆に魅せた「シュルレアリスト・ダリ」とその背景にある「人間・ダリ」の複雑で繊細な内面を探り、世界中で愛されているサルバドール・ダリがいかなる芸術家であったのか、油彩、素描、版画、彫刻のほか、ミロやマグリットなどシュルレアリスムの作家の作品群など約 120 点により明らかにします。		
観 覧 者 数	実績（人）	一日平均（人）	
	49,699	871.9	
主な展覧会評等	高橋円「多様な表現、今もなお サルバドール・ダリ展」（神奈川新聞、3 月 6 日） 山根聡「かながわ美の手帖 横須賀美術館企画展「生誕 120 周年 サルバドール・ダリー天才の秘密ー」（産経新聞、3 月 22 日）		
印 刷 物	図録		
	内容	ごあいさつ / 目次 エリオット・H・キング『私はシュルレアリストではない。私こそがシュルレアリスムなのだ』：ダリ、シュルレアリスム、『シュルレアリスム宣言』100 周年」 大野方子「サルバドール・ダリを『天才』たらしめたもの」 山下寿水「描かれた写真―画家ダリと、写真を巡る試論」 凡例 第 1 章 若き天才のペルソナ 第 2 章 シュルレアリスムの新星 第 3 章 進化と拡張の芸術家、ダリ 梶原麻奈未「ブルトンとダリ」 工藤香澄「デュシャンとダリの交流」 森万由子「パヴァリオン『ヴィーナスの夢』」 作家解説 / サルバドール・ダリ年表（諸橋近代美術館編） / 関連地図（スペイン近郊） / 主要参考文献 Chapter Commentaries Elliott H.King,Ph.D.""I am not a Surrealist; I am Surrealism""：Dali, Surrealism, and the Centennial 出品作品リスト / Copyright Credits/ 謝辞	
	版型／ページ数	A4 変形判 / 200 頁	
	価 格（税込）	2,800 円	
	製作	監修：千足伸行（広島県立美術館館長、美術史家） 執筆：エリオット・H・キング（ワシントンアンドリー大学准教授） 大野方子、梶原麻奈未、木藤野絵、工藤香澄、齋藤まりこ、佐藤芳哉、村田梨沙、森万由子、山下寿水 英文和訳：井口俊（東京外国語大学専任講師） 和文英訳：プライアン・アムスタッツ（アムスタッツ コミュニケーションズ） 編集：公益財団法人諸橋近代美術館、秋田市立千秋美術館、大分県立美術館、横須賀美術館、広島県立美術館、NHK プロモーション、廣川暁生、廣瀬歩（STORK）、古屋歴 アートディレクション：上田英司（シルシ） デザイン：上田英司、叶野夢（シルシ） 印刷・製本：ライブアートブックス 発行：NHK プロモーション	
	その他		
	ポスター	B2 判 900 枚／B1 判 50 枚／A3 判 480 枚	
	チラシ	A4 判 40,000 枚	
	チケット	一般 初刷 20,000 枚、増刷 10,000 枚／高大生・65 歳以上 10,000 枚／無料 22,000 枚	
	DMハガキ	650 枚	
	製作	半七写真印刷工業株式会社	

展示風景



印刷物



B1・B2ポスター



A4チラシ(表)



A4チラシ(裏)



A3ポスター



チケット



DMハガキ

会 期	2024年3月5日(火)～7月7日(日) 開催日数121日間(休館日を除く)
休館日	4月1日(月)、5月13日(月)、6月3日(月)、7月1日(月)
観覧料	無料
主 催	横須賀美術館
展示構成	小特集:朝井閑右衛門が描いた「ドン・キホーテ」を本館2階ギャラリーで開催した。

展示風景



令和6年第1期所蔵品展 出品目録

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)	備考
1	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	14.8×20.5	
2	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	13.7×8.0	
3	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	12.6×5.2	
4	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板に画布	21.5×17.8	
5	朝井閑右衛門	ドン・キホーテE	不詳	油彩・板	23.9×12.3	
6	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	8.7×10.8	
7	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	22.8×9.6	
8	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	1970年頃	油彩・板	12.6×5.4	

■屋外展示作品

9	若林奮	鈴木昭男	1989(平成元)	鉄	305.0×150.0×4586.0	
10	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)	インスタレーション		
11	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)	インスタレーション		
12	鈴木昭男	点音	2013(平成25)	インスタレーション		

会 期	2024年7月13日(土)～10月20日(日) 開催日数97日間(休館日を除く)		
休館日	8月5日(月)、9月2日(月)、10月7日(日)		
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円		
主 催	横須賀美術館		
展示構成	展示室4 特集:生誕100年 芥川紗織 展示室6、7 朝井閑右衛門 電線風景と薔薇 北側ギャラリー、展示室8 特集:新恵美佐子 祈りの花		
観覧者数	実績(人)		一日平均(人)
	28,304		291.8
印刷物	チラシ	A4チラシ 25,000枚	
	DMハガキ	1,000枚	
	図録	B5変形60ページ 800冊	
	製作	ニューカラー写真印刷株式会社	

展示風景



印刷物



A4チラシ(表)

A4チラシ(裏)



DMハガキ

令和6年第2期所蔵品展 出品目録

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1	藤島武二	夢想	1904(明治37)	油彩・画布	45.7×33.4	
2	藤島武二	アッシジ風景	1908-09(明治41-42)	油彩・板	23.3×33.0	
3	赤松麟作	水辺裸婦	不詳	油彩・画布	33.5×45.0	
4	梅原龍三郎	モレー	1911(明治44)	油彩・画布	60.5×73.7	
5	中川紀元	カフェ	1920(大正9)	油彩・画布	115.7×80.0	

■展示室4 特集:生誕100年 芥川紗織

6	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	34.5×24.5	NUKAGA GALLERY
7	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	34.5×24.5	NUKAGA GALLERY
8	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	34.5×24.5	NUKAGA GALLERY
9	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	34.5×24.5	NUKAGA GALLERY
10	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	34.5×24.5	NUKAGA GALLERY
11	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	38.4×29.2	NUKAGA GALLERY
12	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.4×25.4	NUKAGA GALLERY
13	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.4×25.2	NUKAGA GALLERY
14	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.3×26.3	NUKAGA GALLERY
15	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.4×26.6	NUKAGA GALLERY
16	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.5×25.1	NUKAGA GALLERY
17	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.3×26.2	NUKAGA GALLERY
18	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.3×26.2	NUKAGA GALLERY
19	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.4×26.3	NUKAGA GALLERY
20	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	35.2×22.8	個人蔵
21	芥川紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	35.4×27.2	個人蔵
22	芥川紗織	無題(ポートレート)	不詳	油彩・板	45.3×37.3	NUKAGA GALLERY
23	芥川紗織	ヒマワリ	不詳	油彩・カンヴァス	53.0×41.2	NUKAGA GALLERY
24	芥川紗織	影のある物体 I	不詳	油彩・カンヴァス	80.2×60.5	NUKAGA GALLERY
25	芥川紗織	りぼんのある顔	1954(昭和29)	油彩・カンヴァス	90.3×64.7	NUKAGA GALLERY
26	芥川紗織	2人の女Ⅱ	1955(昭和30)	染料・布	130.3×89.5	NUKAGA GALLERY
27	芥川紗織	2人の女Ⅲ	1955(昭和30)	染料・布	130.3×89.5	NUKAGA GALLERY
28	芥川紗織	女Ⅻ	1955(昭和30)	染料・布	130.0×89.0	NUKAGA GALLERY
29	芥川紗織	女B	1954(昭和29)	染料・布	130.3×89.5	NUKAGA GALLERY
30	芥川紗織	民話より	1955(昭和30)	染料・布	133.0×92.0	NUKAGA GALLERY
31	芥川紗織	作品 B	1954(昭和29)	染料・布	130.0×89.0	NUKAGA GALLERY
32	芥川紗織	神話より4(民話より天かける)	1956(昭和31)	染料・布	130.3×162.0	
33	芥川紗織	無題	1963(昭和38)頃	油彩・カンヴァス	117×89.4	NUKAGA GALLERY
34	芥川紗織	スフィンクス	1964(昭和39)	油彩・カンヴァス	130.3×162.0	
35	芥川紗織	赤と黒 B	1965(昭和40)	油彩・カンヴァス	162×130.5	NUKAGA GALLERY
36	芥川紗織	裸婦	不詳	油彩・カンヴァス	72.7×60.6	NUKAGA GALLERY
37	芥川紗織	スーツを着た男 B	1961-62(昭和36-37)	油彩・カンヴァス	88.3×58.1	NUKAGA GALLERY
38	芥川紗織	スケッチブック	—			
39	金沢重治	夏の山門	1929(昭和4)	油彩・画布	130.3×130.3	
40	伊藤久三郎	窓辺	1931(昭和6)	油彩・画布	72.8×90.2	
41	三岸好太郎	金魚	1933(昭和8)頃	油彩・画布	41.2×32.0	
42	北川民次	女の肖像	1931(昭和6)	油彩・ボード	49.7×40.0	
43	菅野圭介	ワルシャワの宿	1939(昭和14)	油彩・画布	40.7×31.8	武田光司氏・ 武田香榮子氏寄贈
44	松本竣介	お濠端	1940(昭和15)	油彩・画布	65.0×90.0	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
45	三岸節子	室内	1941(昭和16)	油彩・画布	162.1×130.3	
46	森芳雄	冬の海岸	1952(昭和27)	油彩・画布	80.5×100.0	
47	山口薫	水と畑と残雪	1952(昭和27)	油彩・画布	80.2×99.8	
48	薮ゑ	クレーンと人	1954(昭和29)	油彩・板	77.3×92.0	
49	村井正誠	四人	1972(昭和47)	油彩・画布	162.2×130.6	
50	磯辺行久	Work 62-18	1962(昭和37)	ミクストメディア(油彩、大理石粉など)	137.0×121.5	
51	オノサト・トシノ	一つの円(作品C-B)	1965(昭和40)	油彩・画布	130.9×162.3	

■展示室6・7 朝井閑右衛門室

52	朝井閑右衛門	バラ(夜明け前の)	1962(昭和37)	油彩・画布	38.5×60.9	
53	朝井閑右衛門	バラ	不詳	油彩・板	10.0×22.7	
54	朝井閑右衛門	薔薇(嘉靖青花唐子紋中壺)〈絶筆〉	1983(昭和58)	油彩・画布	45.5×53.5	
55	朝井閑右衛門	薔薇(未完)	不詳	油彩・板	44.8×53.5	
56	朝井閑右衛門	電線風景 3	1950(昭和25)	油彩・画布	38.0×45.5	
57	朝井閑右衛門	電線風景	1951(昭和26)頃	油彩・画布	31.5×40.5	
58	朝井閑右衛門	電線風景	不詳	油彩・画布	46.0×53.0	
59	朝井閑右衛門	電線風景(トンネル)	1952(昭和27)頃	油彩・画布	45.8×53.1	
60	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)	油彩・画布	45.4×53.4	

61	島田章三	ひまわり	1955(昭和30)	油彩・画布	65.5×53.0	作家寄贈
62	島田章三	ノイローゼ	1957(昭和32)	油彩・画布	162.1×90.0	
63	島田章三	スザンナの部屋	1967(昭和42)	油彩・画布	162.0×130.5	
64	島田章三	林の中	2002(平成14)	油彩・画布	162.0×194.0	
65	島田章三	横須賀	1988(昭和63)	油彩・画布	130.3×193.3	
66	島田鮎子	ロッキングチェアの人	1984(昭和59)	油彩・画布	130.3×162.1	作家寄贈
67	上條陽子	記録'04	2004(平成16)	顔料・紙	155.2×166.2	作家寄贈
68	神谷清和	SAJIMA '95 ゲール1	1995(平成7)	アクリル、染料、綿ロープ、木、金属・キャンバス	176.5×478.0	中村真紀子氏寄贈

北側ギャラリー・展示室8 特集:新恵美佐子 祈りの花

69	新恵美佐子	花	2021(令和3)	岩絵具、墨、胡粉・綿布	340.0×450.0	個人蔵
70	新恵美佐子	花	2021(令和3)	岩絵具、墨・綿布	194.0×130.3	個人蔵
71	新恵美佐子	花	2019(令和元)	岩絵具、墨、胡粉・綿布	194.0×130.3	個人蔵
72	新恵美佐子	あかい花	2024(令和6)	岩絵具、墨、胡粉・綿布	230.0×260.0	個人蔵
73	新恵美佐子	海の揺籃	2019/2024(令和元/6)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	380.0×315.0	個人蔵
74	新恵美佐子	花	2021(令和3)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	190.0×130.0	個人蔵
75	新恵美佐子	花	2020(令和2)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	116.7×116.7	個人蔵
76	新恵美佐子	花	2024(令和6)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	116.7×116.7	個人蔵
77	新恵美佐子	揺籃	2011(平成23)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	220.0×260.0	個人蔵
78	新恵美佐子	花	2024(令和6)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	130.0×162.0	個人蔵
79	新恵美佐子	祈りの花	2024(令和6)	顔料、アクリル、墨・キャンバス	340.0×450.0	個人蔵
80	新恵美佐子	四季 一春一	2023(令和5)	墨・宣紙	72.7×91.0	個人蔵
81	新恵美佐子	拈花一笑	2024(令和6)	墨・宣紙	175.0×1140.0	個人蔵
82	新恵美佐子	四季 一秋一	2023(令和5)	墨・宣紙	各170.0×92.0 (3枚組)	個人蔵
83	新恵美佐子	四季 一夏一	2023(令和5)	墨・宣紙	175.0×95.0	個人蔵
84	新恵美佐子	四季 一冬一	2023(令和5)	墨・宣紙	170.0×272.0	個人蔵
85	新恵美佐子	花	2024(令和6)	墨・宣紙	70.0×67.0	個人蔵
86	新恵美佐子	花	2024(令和6)	墨・宣紙	97.5×66.0	個人蔵

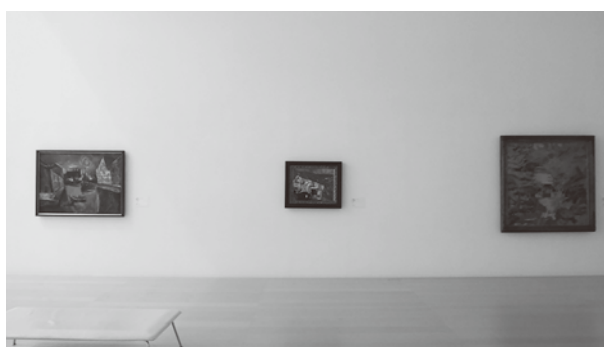
no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
87	新恵美佐子	花	2022(令和4)	墨・宣紙	72.7×50.0	個人蔵
88	新恵美佐子	鳥と花	2022(令和4)	墨・宣紙	41.0×30.8	個人蔵
89	新恵美佐子	呱呱鳥	2022(令和4)	墨・宣紙	27.3×27.3	個人蔵
90	新恵美佐子	呱呱鳥	2022(令和4)	墨・宣紙	27.3×27.3	個人蔵
91	新恵美佐子	花	2022(令和4)	墨・宣紙	45.4×15.8	個人蔵
92	新恵美佐子	花遊	2023(令和5)	墨・宣紙	60.6×41.0	個人蔵

■屋外設置作品

93	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元)	鉄	305.0×150.0 ×4586.0	
94	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)	インスタレーション		
95	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)	インスタレーション		
96	鈴木昭男	点音	2013(平成25)	インスタレーション		

会 期	2024年10月26日(土)～2025年2月16日(日) 開催日数104日間(休館日を除く)	
休館日	11月5日(火)、12月2日(月)、12月29日(日)～2025年1月3日(金)、1月6日(月)、2月3日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※11月3日(日・祝)、2月16日(日)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門 1940年代の水墨画 蘇州風景を中心に 展示室6、7 嶋田しづの版画(会期:2024年12月25日～2025年2月16日) 北側ギャラリー、展示室8 特集:かながわ散歩 ※展示室5、6、7では企画展「運慶展 運慶と三浦一族の信仰」(会期:2024年10月26日～12月22日)を開催した。	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	36,060	346.7

展示風景



令和6年第3期所蔵品展 出品目録

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1	藤田嗣治	ル・アーブルの港	1917(大正6)	油彩・画布	45.8×60.9	
2	海老原喜之助	海と船	1927(昭和2)	油彩・画布	45.0×60.0	
3	青山義雄	ドーヴィル海岸	1924(大正13)	油彩・画布	32.0×41.0	
4	原勝郎	パスツール通り	1938(昭和13)	油彩・画布	53.0×65.0	
5	中川紀元	カフェ	1920(大正9)	油彩・画布	115.7×80.0	

■展示室4 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門 1940年代の水墨画 蘇州風景を中心に

6	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月画稿	1941(昭和16)	紙本墨画	69.2×52.8	
7	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月画稿	1941(昭和16)	紙本墨画	78.5×53.5	
8	朝井閑右衛門	星橋宵月画稿	1944(昭和19)	紙本墨画	73.6×53.1	
9	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月画稿	1941(昭和16)	紙本墨画	39.7×62.3	
10	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月	1941(昭和16)	紙本墨画淡彩	46.0×63.5	
11	朝井閑右衛門	星橋をくぐる	1941(昭和16)	紙本墨画	37.0×62.0	
12	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月	1941(昭和16)	紙本墨画、軸装	69.1×57.0	
13	朝井閑右衛門	蘇州星橋宵月	1941(昭和16)	紙本墨画淡彩、軸装	51.0×62.5	
14	朝井閑右衛門	星橋宵月影	1942(昭和17)	紙本墨画、軸装	128.3×30.4	
15	朝井閑右衛門	童僕撈蝦捕蟹	1941(昭和16)	紙本墨画淡彩、軸装	52.3×55.5	
16	朝井閑右衛門	豊干禪師録	1942(昭和17)	紙本墨画、軸装	47.2×51.2	
17	朝井閑右衛門	豊干入国清寺	1942(昭和17)	紙本墨画、軸装	85.1×40.5	
18	朝井閑右衛門	寒山拾得		紙本墨画、軸装	三幅対右左:139.3×61.0, 中央:129.7×41.0	
19	朝井閑右衛門	寒山拾得	1942(昭和17)頃	紙本墨画淡彩、軸装	135.0×50.7	
20	朝井閑右衛門	陶ものづくり	1942(昭和17)	紙本墨画、軸装	151.0×40.7	
21	朝井閑右衛門	茶館	1941(昭和16)	紙本墨画岩彩、軸装	42.3×31.2	
22	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	紙本墨画	30.7×69.2	
23	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	紙本墨画	30.7×69.1	
24	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	紙本墨画	35.5×69.6	
25	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	紙本墨画	30.3×68.5	
26	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	紙本墨画	29.8×69.3	
27	朝井閑右衛門	蘇州城外月一照	1945(昭和20)	紙本墨画岩彩	94.6×52.7	
28	朝井閑右衛門	蘇州風景	1941(昭和16)	油彩・画布	61.0×72.7	
29	朝井閑右衛門	豊収(誉ノ家族)	1944(昭和19)	油彩・画布	117.0×73.0	
30	鶴岡政男	二人で唄う	1947(昭和52)	油彩・画布	53.0×46.0	
31	小山田二郎	食卓	1954(昭和29)	油彩・画布	116.7×80.3	
32	金山康喜	静物 (コーヒーミルのある静物)	1957(昭和32)	油彩・画布	80.5×100.3	
33	野見山暁司	工事場	1954(昭和29)	油彩・画布	80.7×102.5	
34	島田鮎子	柵の中の風景	1963(昭和38)	油彩・画布	130.0×162.1	
35	須田国太郎	河原	1939(昭和14)	油彩・画布	130.0×162.0	
36	元永定正	無題	1963(昭和38)	エナメル、 アクリル絵具・画布	112.0×146.0	
37	磯辺行久	Work 62-18	1962(昭和37)	ミクストメディア (油彩、大理石粉等)・板	137.0×121.0	
38	堂本尚郎	連続の溶解 # 16	1966	油彩・画布	114.5×147.5	12/25～2/16
39	オノサトシノブ	一つの円(作品C-B)	1965	油彩・画布	130.9×162.3	12/25～2/16
40	植松眞治	イタリー旅行記	1976	油彩・画布	110.0×100.0	12/25～2/16
41	植松眞治	壁	1981	油彩・画布	110.0×100.0	12/25～2/16

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
42	植松眞治	職業図鑑	1980	油彩・画布	100.0×80.5	12/25～2/16

■展示室6

43	嶋田しづ	エーゲ海のノスタルジー	1973(昭和48)	リトグラフ・紙	54.0×74.0	12/25～2/16
44	嶋田しづ	リズムカルなティポグラフィー コスモ・ラ・ヴィ・コティデアヌ	1974(昭和49)	リトグラフ・紙	72.0×56.0	12/25～2/16
45	嶋田しづ	海洋に通ずる路線	1973(昭和48)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
46	嶋田しづ	プロバンスの峰ーマシイフ ノア ただよう雲片	1974(昭和49)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
47	嶋田しづ	砂丘の夢	1974(昭和49)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
48	嶋田しづ	明日は出発	1973(昭和48)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
49	嶋田しづ	時のまがりかど	1974(昭和49)	リトグラフ・紙	65.0×51.0	12/25～2/16
50	嶋田しづ	快調な出会い	1973(昭和48)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
51	嶋田しづ	太陽が一杯	1973(昭和48)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16
52	嶋田しづ	樹木の精	1974(昭和49)	リトグラフ・紙	51.0×65.0	12/25～2/16

■展示室7

53	嶋田しづ	かんぱせの舞	1992(平成4)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	12/25～2/16
54	嶋田しづ	桃色の風車だよりから	1993(平成5)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	12/25～2/16
55	嶋田しづ	真夏の太陽と緑の風車	1993(平成5)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	12/25～2/16
56	嶋田しづ	デゼールと青い木陰	1993(平成5)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	12/25～2/16
57	嶋田しづ	燃える太陽のもとで	1993(平成5)	リトグラフ・紙	45.5×63.0	12/25～2/16
58	嶋田しづ	ナヴィガッション	1993(平成5)	リトグラフ・紙	45.5×63.0	12/25～2/16
59	嶋田しづ	あまかけーピレネーの思い出	1993(平成5)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	12/25～2/16
60	嶋田しづ	糸杉の精よ!	1993(平成5)	リトグラフ・紙	63.0×45.5	
61	嶋田しづ	地平線のかなた	1978(昭和53)	油彩・画布	113.4×161.5	
62	嶋田しづ	行進歌・遥かなる大地より	1998(平成10)	油彩・画布	194.0×162.4	
63	嶋田しづ	オリゾン・ヴェール	1993(平成5)	油彩・画布	194.6×259.2	

■特集:かながわ散歩

64	金沢重治	夏の山門	1929(昭和4)	油彩・画布	130.3×130.3	
65	兵藤和男	本牧風景	1961(昭和36)	油彩・画布	50.0×65.2	
66	島田章三	横浜落日	1955(昭和30)	油彩・画布	97.0×130.3	
67	林敬二	開かれた風景	2009(平成21)	油彩・画布	182.0×227.3	
68	最上壽之	ウワノソラ	1986(昭和61)	松	47.5×218.0×16.0	
69	最上壽之	テレンテクダ	1987(昭和62)	ケヤキ、柿	68.0×200.0×110.0	
70	最上壽之	シリカラテッポウ	1987(昭和62)	ケヤキ、柿	215.0×70.0×70.0	

■展示室8

71	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)	油彩・画布	45.4×53.4	
72	朝井閑右衛門	電線風景(トンネル)	1952(昭和27)頃	油彩・画布	45.8×53.1	
73	青山義雄	浦賀水道・春	1992(平成4)	油彩・画布	60.6×72.7	
74	島田章三	窓(よこすかのうみ)	2002(平成14)	油彩・画布	116.7×90.9	
75	島田章三	窓の外は浦賀水道	2000(平成12)	油彩・画布	90.9×116.7	
76	島田章三	浦賀ドック	1988(昭和63)	インク・紙	10.0×15.0	
77	谷内六郎	ドックの祝日	1976(\$51)年 3月25日号	水彩・厚紙	40.7×30.3	
78	守屋多々志	ペリー浦賀来航	1994(平成6)	紙本着色	145.7×72.9	
79	鈴木竹柏	丘の家	1974(昭和49)	紙本着色	168.0×216.0	
80	吉田多最	黒いトタン屋根	1975(昭和50)	紙本着色	163.0×205.0	
81	朝井閑右衛門	街頭	1951(昭和26)	油彩・画布	72.3×90.2	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
82	島田章三	横須賀	1988(昭和63)	油彩・画布	130.3×193.3	
83	島田章三	よこすか	1995(平成7)	油彩・画布	97.0×130.3	
84	島田章三	ミナトヨコスカ	2007(平成19)	油彩・画布	162.0×194.0	

屋外設置作品

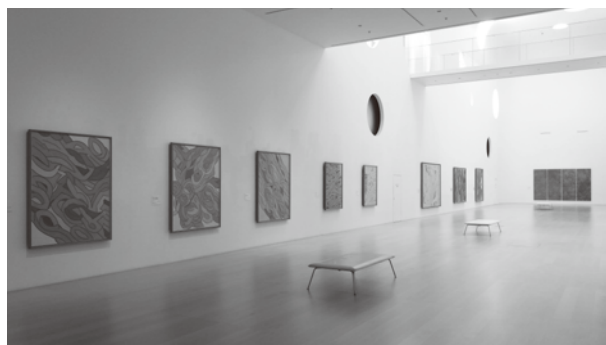
85	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元)	鉄	305.0×150.0×4586.0	
86	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)	インスタレーション		
87	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)	インスタレーション		
88	鈴木昭男	点音	2013(平成25)	インスタレーション		

展覧会名

令和6年度 第4期所蔵品展

会 期	2025年3月1日(土)～5月11日(日) 開催日数70日間(休館日を除く)	
休館日	2025年3月3日(月)、4月7日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
展示構成	展示室4 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門の風景画―大作《大王崎》を中心に 展示室5 休室 展示室6、7、8、北側ギャラリー 特集：新収蔵作品展	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	30,811	440.2

展示風景



no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1	藤島武二	夢想	1904(明治41)	油彩・画布	45.7×33.4	
2	梅原龍三郎	モレー	1911(明治44)	油彩・画布	60.5×73.7	
3	中村彝	少女	1913(大正2)頃	油彩・画布	53.5×45.5	
4	木村荘八	畑(雑司が谷)	1913(大正2)	油彩・画布	61.0×46.3	
5	中川紀元	カフェ	1920(大正9)	油彩・画布	115.7×80.0	

■展示室4 朝井閑右衛門室 朝井閑右衛門の風景画—大作《大王崎》を中心に

6	朝井閑右衛門	ドン・キホーテ	不詳	油彩・板	38.8×26.8	
7	朝井閑右衛門	大王崎	1944(昭和19)	油彩・画布	128.0×203.0	令和5年度寄託
8	朝井閑右衛門	自画像	1930(昭和5)頃	油彩・画布	30.3×24.0	
9	朝井閑右衛門	江ノ浦風景	不詳	油彩・画布	31.8×40.6	
10	朝井閑右衛門	積藁のある風景	1928(昭和3)頃	油彩・板	30.2×45.7	
11	朝井閑右衛門	水車のある風景	1930(昭和5)頃	油彩・厚紙	27.8×44.7	
12	朝井閑右衛門	小田原風景	1930(昭和5)頃	油彩・ブリキ	31.8×39.4	
13	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)頃	油彩・板に画布	27.5×22.3	
14	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1935(昭和10)頃	油彩・画布	22.4×27.5	
15	朝井閑右衛門	東京十二景の内	1936-37(昭和11-12)	油彩・画布	22.4×27.5	
16	朝井閑右衛門	三十間堀雪景	1935(昭和10)頃	油彩・板に厚紙	46.0×38.0	
17	朝井閑右衛門	田浦風景	1947(昭和22)頃	油彩・板	42.3×54.8	
18	朝井閑右衛門	猫の木のある交番	1947(昭和22)頃	油彩・画布	45.4×53.0	
19	朝井閑右衛門	小港	1947(昭和22)	油彩・ボード	33.3×45.8	
20	朝井閑右衛門	電線風景	1950(昭和25)	油彩・画布	45.4×53.4	
21	朝井閑右衛門	電線風景1	1952(昭和27)	油彩・画布に板貼	45.0×52.4	
22	朝井閑右衛門	電線風景(トンネル)	1952(昭和27)頃	油彩・画布	45.8×53.1	
23	朝井閑右衛門	やけ跡	1952(昭和27)	油彩・画布	116.6×90.9	
24	朝井閑右衛門	街頭	1951(昭和26)	油彩・画布	72.3×90.2	
25	朝井閑右衛門	港(帰らぬ船)	1956(昭和31)	油彩・画布	61.0×80.0	

26	青山義雄	廃墟	1923(大正12)	油彩・画布	90.9×116.7	
27	阿部金剛	風景	1933(昭和8)	油彩・画布	46.0×38.0	
28	伊藤久三郎	無題	1933(昭和8)	油彩・画布	72.7×90.9	
29	伊藤久三郎	花	1935(昭和10)	油彩・画布	115.6×90.9	
30	飯田操朗	作品五	1936(昭和11)	油彩・画布	45.5×53.2	
31	霰光	グラジオラス	1942(昭和17)	油彩・板	33.1×23.7	
32	井上長三郎	スエズ	1943(昭和18)	油彩・画布	60.5×80.0	
33	三岸節子	室内	1941(昭和16)	油彩・画布	162.1×130.3	
34	川端実	かごを作る人	1953(昭和28)	油彩・画布	90.8×116.0	
35	霰嘔	クレーンと人	1954(昭和29)	油彩・板	77.3×92.0	
36	島田章三	ノイローゼ	1957(昭和32)	油彩・合板	162.1×90.0	
37	吉岡憲	江戸川暮色	1956(昭和31)	油彩・画布	50.0×72.7	
38	鳥海青児	石の街(インカ)	1961(昭和36)	油彩・画布	91.0×116.0	
39	磯辺行久	Work 62-18	1962(昭和37)	ミクストメディア (油彩、大理石粉など)・板	137.0×121.5	
40	堂本尚郎	連続の溶解 #16	1966(昭和41)	油彩・画布	114.5×147.5	

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
-----	-----	-----	-----	-------	----------	----

特集:新収蔵作品展

■展示室6・7

41	中村光哉	追憶	1975(昭和50)頃	ろう染め	100.0×80.5	令和5年度寄贈
42	中村光哉	雲とさざなみ	1975(昭和50)	ろう染め	16.0×23.0	令和5年度寄贈
43	中村光哉	樹炎	1980(昭和55)	友禅	二曲一隻 :168.0×168.0	
44	中村光哉	宵待ち	1990(平成2)	友禅	60.6×90.9	
45	中村光哉	潮待ち	1991(平成3)	友禅	42.0×81.0	
46	中村光哉	好日	1989(平成元)	友禅	117.0×91.0	
47	中村光哉	潮待ち	1991(平成3)	友禅	四曲一隻 :170.0×340.0	
48	中村光哉	静日	2001(平成13)	友禅	145.0×80.0	

49	島田章三	ガラス器と人	1992(平成4)	油彩・画布	130.0×162.0	令和5年度寄贈
50	島田章三	ロビーにある二つの椅子	1992(平成4)	油彩・画布	162.0×194.0	令和5年度寄贈
51	石川忠一	DUO(two angels)	1988(昭和63)	油彩・画布	162.0×194.0	令和5年度寄贈
52	石川忠一	L'arc en Ciel	2008(平成20)	油彩・画布	181.8×227.3	令和5年度寄贈
53	嶋田しづ	ブルーのシンホニー	1963(昭和38)	油彩・画布	89.4×114.8	令和5年度寄託
54	嶋田しづ	小さい各空間領域での同時性	1973(昭和48)	油彩・画布	130.0×130.0	令和5年度寄託
55	嶋田しづ	モリニーの館に通じる道	1975(昭和50)	油彩・画布	80.0×80.0	令和5年度寄託
56	嶋田しづ	〔題不詳〕	1975(昭和50)	油彩・画布	80.0×80.0	令和5年度寄託
57	嶋田しづ	太陽が一杯	1975(昭和50)	油彩・画布	116.0×89.0	令和5年度寄託
58	嶋田しづ	地平線のかなた	1978(昭和53)	油彩・画布	113.4×161.5	
59	嶋田しづ	8月の華 砂漠の風	1986(昭和61)	油彩・画布	162.1×130.3	令和5年度寄託
60	嶋田しづ	8月の華 罌粟の昇天	1986(昭和61)	油彩・画布	162.1×130.3	令和5年度寄託
61	嶋田しづ	8月の華 水底の恋	1986(昭和61)	油彩・画布	162.1×130.3	令和5年度寄託
62	嶋田しづ	野分き	1990(平成2)	油彩・画布	130.3×89.4	令和5年度寄託
63	嶋田しづ	紫緑の風 呼ぶ春B	1990(平成2)	油彩・画布	130.3×97.0	令和5年度寄託
64	嶋田しづ	オリゾン・ヴェール	1993(平成5)	油彩・画布	194.6×259.2	
65	嶋田しづ	東方の賢人:ランコントロールの歓び	1994(平成6)	油彩・画布	181.8×227.3	
66	嶋田しづ	行進歌・遙かなる大地より	1998(平成10)	油彩・画布	194.0×162.4	

■展示室 8

67	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
68	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
69	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
70	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
71	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
72	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
73	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
74	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
75	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
76	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
77	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
78	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
79	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
80	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
81	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入
82	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバークラウドプリント		令和5年度購入

no.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
83	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度購入
84	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度購入
85	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度購入
86	森山大道	ヨコスカ	1965(昭和40)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度購入
87	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
88	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
89	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
90	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
91	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
92	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
93	森山大道	写真・1970	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
94	森山大道	東京環状・国道16号戦 オン ザ ロード	1969(昭和44)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
95	森山大道	東京環状・国道16号戦 オン ザ ロード	1969(昭和44)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈
96	森山大道	ヨコスカ (もうひとつの国 18)	1970(昭和45)/2024(令和6)プリント	デジタルゼラチンシルバープリント		令和5年度寄贈

97	川田祐子	硯海	2006(平成18)	スクラッチ/ アクリルガッシュ・画布	4点組 各227.0×91.0	令和5年度寄贈
98	川田祐子	内なる自然	2010(平成22)	ハッチング、 アクリルガッシュ・カンヴァス	117.0×97.0	
99	川田祐子	雪波	2008-2013(平成20-25)	ハッチング、 アクリルガッシュ・カンヴァス	162.0×194.0	寄託作品
100	川田祐子	memory of sands	2005(平成17)	スクラッチ、ハッチング、 アクリルガッシュ・カンヴァス	91.0×116.7	
101	川田祐子	氷の誓い	2013(平成25)	ハッチング、 アクリルガッシュ・カンヴァス	72.7×91.0	
102	川田祐子	揺光の花	2015(平成27)	油彩・画布	162.0×130.3	令和5年度寄託

■屋外展示作品

103	若林奮	Valleys(2nd stage)	1989(平成元)	鉄	305.0×150.0 ×4586.0	
104	高田安規子・政子	修復(通路)	2019(平成31)	インスタレーション		
105	高田安規子・政子	修復(中庭)	2019(平成31)	インスタレーション		
106	鈴木昭男	点音	2013(平成25)	インスタレーション		

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 足もとに目をむけると

会 期	2024年4月6日(土)～7月7日(日) 開催日数90日間(休館日を除く)	
休館日	5月13日(月)、6月3日(月)、7月1日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	27,113	301.3

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 足もとに目をむけると 出品目録

no.	作品名	技法・支持体	寸法 (cm)	発行年月日	備考
1	庭の事件	水彩・紙	29.9×21.0	1956(昭和31)年7月23日号	
2	夕立	水彩・紙	30.5×21.8	1957(昭和32)年6月17日号	
3	こおろぎの音	水彩・厚紙	38.2×27.5	1960(昭和35)年9月5日号	
4	朝顔は虫のスピーカー	水彩・厚紙	36.0×26.4	1961(昭和36)年7月24日号	
5	赤い貝 白い貝	水彩・厚紙	38.0×27.0	1960(昭和35)年7月11日号	
6	月夜のスポットライト	水彩・厚紙	36.2×26.8	1961(昭和36)年9月18日号	
7	ひき潮の忘れもの	水彩・厚紙	39.0×27.0	1963(昭和38)年8月19日号	
8	コオロギもフィゴフク	水彩・厚紙	39.0×27.7	1963(昭和38)年9月23日号	★
9	かげに乗る子	水彩・厚紙	39.0×27.9	1963(昭和38)年10月7日号	
10	霜柱の宮殿	水彩・厚紙	39.0×27.5	1964(昭和39)年1月20日号	
11	水面のバレエ	水彩・厚紙	39.2×28.1	1964(昭和39)年5月4日号	
12	ひとりぼっちのスマレ	水彩・厚紙	39.3×27.5	1962(昭和37)年4月9日号	
13	つむじ風の忍者	水彩・厚紙	39.4×27.8	1964(昭和39)年9月28日号	
14	もみじとじゃんけん	水彩・厚紙	39.3×28.7	1964(昭和39)年11月9日号	
15	かたつむりの足跡捜査	水彩・厚紙	39.2×27.2	1965(昭和40)年7月3日号	
16	しずくのフィナーレ	水彩・厚紙	39.0×27.5	1964(昭和39)年11月30日号	
17	葉っぱも注意してる	水彩・厚紙	39.2×27.3	1965(昭和40)年10月30日号	
18	ひき潮がついで行った	水彩・厚紙	38.8×28.7	1966(昭和41)年4月30日号	
19	貝殻燈台	水彩、網・厚紙	39.1×29.1	1966(昭和41)年8月27日号	
20	水面の秋空	水彩・厚紙	39.0×29.0	1966(昭和41)年10月15日号	
21	土の中の話	水彩・厚紙	39.2×28.7	1967(昭和42)年3月11日号	
22	枯葉のラッシュ	水彩・厚紙	40.3×28.4	1968(昭和43)年11月2日号	
23	縁の下のセロひき	水彩・厚紙	39.2×29.0	1967(昭和42)年11月4日号	
24	水面のライト	水彩、毛・厚紙	41.0×29.3	1969(昭和44)年5月3日号	
25	五月の記憶	水彩・厚紙	41.4×29.0	1969(昭和44)年5月10日号	
26	コオロギ鉄道	水彩・厚紙	40.8×30.0	1969(昭和44)年11月1日号	
27	小さな南極探検	水彩・厚紙	40.5×29.7	1970(昭和45)年2月14日号	
28	生れたての夏	水彩・厚紙	40.5×30.0	1970(昭和45)年7月4日号	
29	こっちのチャンネル流れてる	水彩・厚紙	40.9×29.5	1970(昭和45)年8月22日号	
30	昔の風が吹く場所	水彩・厚紙	40.2×28.3	1971(昭和46)年3月27日号	
31	忘れて行った夏の色	水彩・厚紙	40.5×30.5	1971(昭和46)年9月18日号	
32	水はぼくに三重丸をくれた	水彩・厚紙	40.5×29.0	1972(昭和47)年5月13日号	★
33	虫たちもまつり	水彩・厚紙	41.0×30.0	1972(昭和47)年10月7日号	
34	かにの国盗り物語	水彩・厚紙	40.5×30.0	1973(昭和48)年6月14日号	
35	わたしのビニールハウス	水彩・厚紙	40.5×30.5	1973(昭和48)年3月22日号	★
36	西風の音	水彩・厚紙	41.8×30.3	1974(昭和49)年7月11日号	
37	コオロギ町の劇場楽屋入口	水彩・厚紙	41.2×30.3	1975(昭和50)年10月30日号	
38	枯葉は昔のあそびをしてる	水彩・厚紙	41.8×30.0	1975(昭和50)年11月20日号	
39	クラゲの宇宙人	水彩・厚紙	41.0×30.0	1975(昭和50)年9月18日号	★
40	風の床屋さん	水彩・厚紙	40.5×30.4	1976(昭和51)年9月2日号	
41	雪の切り絵	水彩・厚紙	40.5×29.6	1977(昭和52)年2月10日号	
42	蝶のヨットレース	水彩・厚紙	40.4×29.8	1977(昭和52)年4月14日号	
43	枯葉は昔のさみしい島	水彩・厚紙	40.4×29.2	1977(昭和52)年12月8日号	
44	ラッシュアワー	水彩・紙	40.8×29.9	1978(昭和53)年7月20日号	
45	はとのタキ火はもみじの葉	ろうけつ染、着色・布	40.0×30.0	1978(昭和53)年12月7日号	
46	コオロギはお父さんの古賀メロディー	水彩・厚紙	41.8×30.0	1979(昭和54)年9月27日号	
47	影のシロホン	水彩・厚紙	40.2×30.0	1980(昭和55)年5月15日号	
48	苗床の高速道路	水彩・厚紙	40.3×29.7	1980(昭和55)年6月19日号	
49	海から来る風の音	水彩・厚紙	40.5×30.0	1980(昭和55)年6月26日号	
50	雪をはこぶどんぐりのイカダ	水彩・厚紙	40.8×28.4	1980(昭和55)年12月18日号	

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

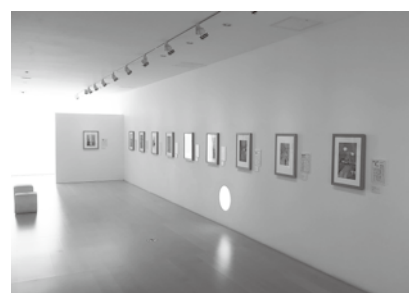
* ★のある号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 奏でる ―楽器の調べ―

会 期	2024年7月13日(土)～10月20日(日) 開催日数97日間(休館日を除く)	
休館日	8月5日(月)、9月2日(月)、10月7日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	16,736	172.5

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 奏でる ―楽器の調べ― 出品目録

no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1	秋のかげろう	水彩・厚紙	39.0×28.0	1963(昭和38)年9月30日号	★
2	月光の曲	水彩・厚紙	38.7×27.5	1962(昭和37)年10月1日号	
3	太鼓の音はおなかにひびく	水彩・厚紙	38.0×28.0	1960(昭和35)年9月12日号	
4	雲の音	水彩・厚紙	39.0×29.3	1964(昭和39)年4月20日号	
5	水面のバレエ	水彩・厚紙	39.2×28.1	1964(昭和39)年5月4日号	
6	夜明の音階	水彩・厚紙	39.0×28.3	1964(昭和39)年6月22日号	
7	波紋の幻想	水彩・厚紙	39.3×27.5	1964(昭和39)年10月12日号	
8	雨だれシンホニー	水彩・厚紙	37.5×26.3	1961(昭和36)年2月27日号	
9	ツバメフィルハーモニー訪日	水彩・紙	32.5×22.0	1958(昭和33)年5月26日号	
10	かげ	水彩・紙	35.0×24.0	1959(昭和34)年3月16日号	
11	ツララの音は高い音	水彩・厚紙	38.7×27.0	1961(昭和36)年1月30日号	
12	貝の夢	水彩・厚紙	36.2×27.5	1961(昭和36)年8月28日号	★
13	スプリングソング	水彩・厚紙	39.0×28.4	1962(昭和37)年2月19日号	★
14	青い曲	水彩、コラージュ・紙	29.5×20.7	1956(昭和31)年6月26日号	
15	春の音	水彩・紙	30.5×21.8	1956(昭和31)年4月8日号	
16	こがらし	水彩・紙	29.1×20.0	1957(昭和32)年11月18日号	
17	若葉もパチパチアンコール	水彩・厚紙	39.0×28.5	1966(昭和41)年5月7日号	
18	わだちのシロホン	水彩・厚紙	39.0×28.3	1962(昭和37)年1月1日号	
19	るす番の日 お母さんの足音	水彩・厚紙	41.6×30.0	1981(昭和56)年4月2日号	
20	色々な雨だれの音がきこえる	水彩・厚紙	40.5×30.0	1977(昭和52)年3月31日号	
21	名曲の店	水彩・紙	29.7×22.2	1956(昭和31)年3月11日号	
22	寒い音	水彩・厚紙	39.2×28.0	1966(昭和41)年1月22日号	
23	川の音 雲の音	水彩・厚紙	42.2×30.0	1981(昭和56)年4月9日号	
24	オーマイパパの歌	水彩・紙	32.5×23.3	1956(昭和31)年2月26日号	
25	月夜のスポットライト	水彩・厚紙	36.2×26.8	1961(昭和36)年9月18日号	
26	帰り道のシロホン	水彩・厚紙	40.8×30.0	1972(昭和47)年9月9日号	
27	月光のハーブ	水彩・厚紙	41.0×30.3	1978(昭和53)年11月16日号	
28	尺八ふいていた	水彩・厚紙	40.4×29.3	1976(昭和51)年9月23日号	
29	シロホン	水彩、コラージュ・紙	30.2×20.9	1957(昭和32)年4月29日号	
30	ひぐらしの音	水彩・厚紙	40.5×30.0	1978(昭和53)年8月31日号	
31	土の中の音 芽の出る音 雨だれの音 雲の音	水彩・厚紙	41.8×29.6	1979(昭和54)年3月8日号	
32	芽	水彩・厚紙	41.0×28.5	1980(昭和55)年3月20日号	
33	影のシロホン	水彩・厚紙	40.2×30.0	1980(昭和55)年5月15日号	
34	アブラ蟬楽団帰り ヒグラシ楽団が来た	水彩・厚紙	40.5×30.1	1973(昭和48)年9月13日号	
35	冬の曲	水彩・厚紙	39.0×27.8	1967(昭和42)年12月23日号	
36	ピアノの音	水彩・厚紙	42.0×30.4	1974(昭和49)年1月31日号	
37	雨だれの春の序曲	水彩・厚紙	39.0×29.0	1968(昭和43)年3月2日号	
38	小川の音	水彩・厚紙	42.0×30.5	1974(昭和49)年6月6日号	
39	未来のドラマー	水彩・厚紙	40.5×28.7	1972(昭和47)年7月8日号	
40	海から来る風の音	水彩・厚紙	40.5×30.0	1980(昭和55)年6月26日号	
41	谷底から来る風の音	水彩・厚紙	41.8×30.0	1979(昭和54)年4月12日号	
42	西風の音	水彩・厚紙	41.8×30.3	1974(昭和49)年7月11日号	
43	縁の下のセロひき	水彩・厚紙	39.2×29.0	1967(昭和42)年11月4日号	
44	オルガンのひびく丘	水彩・厚紙	39.0×27.5	1965(昭和40)年4月5日号	
45	霧笛の音はふるえる	水彩・厚紙	40.5×29.5	1973(昭和48)年3月15日号	
46	風のうた	水彩・厚紙	39.0×28.9	1967(昭和42)年5月27日号	
47	こがらし	水彩・厚紙	40.5×30.3	1971(昭和46)年12月11日号	
48	南風のうた	水彩・厚紙	39.3×28.0	1963(昭和38)年4月8日号	
49	冬への序曲	水彩、コラージュ・厚紙	37.3×26.4	1959(昭和34)年11月30日号	
50	風の音 ドイツにて	水彩・厚紙	40.2×29.0	1977(昭和52)年5月5日号	

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

* ★のある号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 大人たち

会 期	2024年10月26日(土)～2025年2月16日(日) 開催日数104日間(休館日を除く)	
休館日	11月5日(火)、12月2日(月)、12月29日(日)～2025年1月3日(金)、1月6日(月)、2月3日(月)	
観覧料	一般380円／高大生・65歳以上280円 ※11月3日(日・祝)、2月16日(日)は無料観覧日	
主 催	横須賀美術館	
観覧者数	実績(人)	一日平均(人)
	25,245	242.7

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 大人たち 出品目録

no.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	備考
1	郵便やさん	水彩・厚紙	39.0×28.0	1963(昭和38)年9月30日号	
2	トーチランプの音	水彩・厚紙	38.7×27.5	1962(昭和37)年10月1日号	
3	ぼく歯医者さんもうやめた	水彩・厚紙	38.0×28.0	1960(昭和35)年9月12日号	
4	水まき	水彩・厚紙	39.0×29.3	1964(昭和39)年4月20日号	
5	ねむたい始発	水彩・厚紙	39.2×28.1	1964(昭和39)年5月4日号	
6	遠足	水彩・厚紙	39.0×28.3	1964(昭和39)年6月22日号	
7	ちょっと待っとくれ	水彩・厚紙	39.3×27.5	1964(昭和39)年10月12日号	
8	床屋さんの休日	水彩・厚紙	37.5×26.3	1961(昭和36)年2月27日号	
9	ボールとらしてください	水彩・紙	32.5×22.0	1958(昭和33)年5月26日号	
10	ぼく買ったって言はないよ	水彩・紙	35.0×24.0	1959(昭和34)年3月16日号	★
11	お父さんの指	水彩・厚紙	38.7×27.0	1961(昭和36)年1月30日号	
12	お父さんのにおい	水彩・厚紙	36.2×27.5	1961(昭和36)年8月28日号	
13	町の灯	水彩・厚紙	39.0×28.4	1962(昭和37)年2月19日号	
14	新しい羽根 古い羽根	水彩、コラージュ・紙	29.5×20.7	1956(昭和31)年6月26日号	
15	ミシンの音	水彩・紙	30.5×21.8	1956(昭和31)年4月8日号	
16	らせん階段	水彩・紙	29.1×20.0	1957(昭和32)年11月18日号	★
17	かけて	水彩・厚紙	39.0×28.5	1966(昭和41)年5月7日号	
18	寒い日 早く焼けないかなア	水彩・厚紙	39.0×28.3	1962(昭和37)年1月1日号	
19	リモコン	水彩・厚紙	41.6×30.0	1981(昭和56)年4月2日号	
20	お婆さんの空想 子供の空想	水彩・厚紙	40.5×30.0	1977(昭和52)年3月31日号	
21	黒い服	水彩・紙	29.7×22.2	1956(昭和31)年3月11日号	
22	紙芝居	水彩・厚紙	39.2×28.0	1966(昭和41)年1月22日号	
23	流れる景色	水彩・厚紙	42.2×30.0	1981(昭和56)年4月9日号	
24	おっと失礼	水彩・紙	32.5×23.3	1956(昭和31)年2月26日号	
25	電車もライター	水彩・厚紙	36.2×26.8	1961(昭和36)年9月18日号	
26	ひそひそ話し	水彩・厚紙	40.8×30.0	1972(昭和47)年9月9日号	
27	雨やどりの人	水彩・厚紙	41.0×30.3	1978(昭和53)年11月16日号	
28	犬さらいが来た日	水彩・厚紙	40.4×29.3	1976(昭和51)年9月23日号	
29	待とうよ	水彩、コラージュ・紙	30.2×20.9	1957(昭和32)年4月29日号	
30	トウフやは一番星ももって来た	水彩・厚紙	40.5×30.0	1978(昭和53)年8月31日号	
31	海ほおずきの記憶	水彩・厚紙	41.8×29.6	1979(昭和54)年3月8日号	
32	海坊主	水彩・厚紙	41.0×28.5	1980(昭和55)年3月20日号	
33	魚とり	水彩・厚紙	40.2×30.0	1980(昭和55)年5月15日号	
34	ぼくのバケツ	水彩・厚紙	40.5×30.1	1973(昭和48)年9月13日号	
35	町に行く行商のみやげ	水彩・厚紙	39.0×27.8	1967(昭和42)年12月23日号	
36	伊豆の赤ちゃん	水彩・厚紙	42.0×30.4	1974(昭和49)年1月31日号	
37	田んぼもカスリを着てる	水彩・厚紙	39.0×29.0	1968(昭和43)年3月2日号	
38	炭やさん	水彩・厚紙	42.0×30.5	1974(昭和49)年6月6日号	
39	枯葉は旅の芝居のチラシ	水彩・厚紙	40.5×28.7	1972(昭和47)年7月8日号	
40	太鼓の音	水彩・厚紙	40.5×30.0	1980(昭和55)年6月26日号	
41	お正月の服	水彩・厚紙	41.8×30.0	1979(昭和54)年4月12日号	
42	似合う	水彩・厚紙	41.8×30.3	1974(昭和49)年7月11日号	
43	迷い子の風船	水彩・厚紙	39.2×29.0	1967(昭和42)年11月4日号	
44	ひなの表情で降りて来る	水彩・厚紙	39.0×27.5	1965(昭和40)年4月5日号	
45	ママ早く行こう	水彩・厚紙	40.5×29.5	1973(昭和48)年3月15日号	
46	早く行こうよ	水彩・厚紙	39.0×28.9	1967(昭和42)年5月27日号	
47	町で逢ったサンタクロース	水彩・厚紙	40.5×30.3	1971(昭和46)年12月11日号	★
48	暮	水彩・厚紙	39.3×28.0	1963(昭和38)年4月8日号	
49	ツバメもモーニング	水彩、コラージュ・厚紙	37.3×26.4	1959(昭和34)年11月30日号	
50	教会の垣根	水彩・厚紙	40.2×29.0	1977(昭和52)年5月5日号	

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

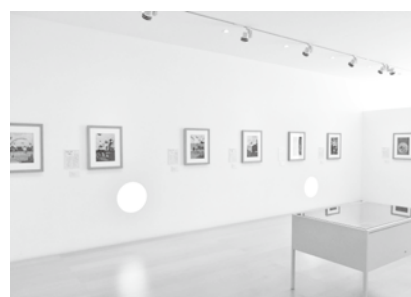
* ★のある号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

展覧会名

谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 ろうけつ染の世界 新収蔵作品を交えて

会 期	2025年3月1日(土)～5月11日(日) 開催日数70日間(休館日を除く)	
休 館 日	2025年3月3日(月)、4月7日(月)	
観 覧 料	一般380円／高大生・65歳以上280円	
主 催	横須賀美術館	
観 覧 者 数	実績(人)	一日平均(人)
	14,677	209.7

展示風景



谷内六郎〈週刊新潮 表紙絵〉展 ろうけつ染の世界 新収蔵作品を交えて 出品目録

no.	作者名	作品名	技法・支持体	寸法	サイズ (cm)	備考
1	谷内六郎	ろうけつ染ハンカチ	ろうけつ染・布	37.5×38.0	1949-57(昭和24-32)年頃	
2	らくだ工房	ろうけつ染ハンカチ	ろうけつ染・布	38.5×37.0	不詳	
3	谷内六郎	ろうけつ染ハンカチ	ろうけつ染・布	38.0×38.0	1949-57(昭和24-32)年頃	
4	らくだ工房	ろうけつ染ハンカチ	ろうけつ染・布	33.5×36.0	不詳	
5	らくだ工房	ろうけつ染ふろしき	ろうけつ染・布	86.0×85.0	不詳	
6	谷内六郎	ろうけつ染風炉先屏風	ろうけつ染・布	51.5×154.0	1956(昭和31)年	
7	谷内六郎	ろうけつ染帯(壺と皿絵)	ろうけつ染・布	351.0×30.5	1949-57(昭和24-32)年頃	
8	谷内六郎	ろうけつ染帯	ろうけつ染・布	336.0×29.5	1949-57(昭和24-32)年頃	
9	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』函原画	ろうけつ染、着色・布	21.6×31.5	1959(昭和34)年	
10	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』表紙原画	ろうけつ染、着色・布	22.5×32.5	1959(昭和34)年	
11	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』扉原画	ろうけつ染、着色・布	9.8×9.5	1959(昭和34)年	
12	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』函原画	ろうけつ染・布	20.8×32.0	1960(昭和35)年	
13	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』表紙原画	ろうけつ染・布	22.0×31.0	1960(昭和35)年	
14	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』扉原画	ろうけつ染・布	22.0×15.0	1960(昭和35)年	
15	獅子文六	『東京の悪口』			1959年、新潮社	
16	源氏鶏太	『鬼課長』			1959年、新潮社	
17	有吉佐和子	『新女大学』			1960年、中央公論社	
18	森繁久弥	『森繁自伝』			1962年、中央公論社	
19	谷内六郎	山の町	ろうけつ染、着色・布	34.7×23.5	1957(昭和32)年7月29日号	
20	谷内六郎	里の春	ろうけつ染、着色・布	32.6×23.0	1958(昭和33)年1月6日号	
21	谷内六郎	そめもの	ろうけつ染、着色・布	22.0×21.5	1958(昭和33)年10月13日号	
22	谷内六郎	染もの屋の子	ろうけつ染、着色、混合技法・布	32.7×23.0	1959(昭和34)年4月20日号	
23	谷内六郎	かすりの少女	ろうけつ染、着色・布	37.0×26.8	1959(昭和34)年10月12日号	
24	谷内六郎	蔵の中	ろうけつ染、着色・布	32.3×22.0	1960(昭和35)年3月7日号	
25	谷内六郎	秋のうた	ろうけつ染、着色・布	37.2×27.6	1960(昭和35)年11月7日号	
26	谷内六郎	田植	ろうけつ染、着色・布	37.7×28.2	1961(昭和36)年6月12日号	
27	谷内六郎	冬の支度	ろうけつ染、着色・布	36.0×27.0	1961(昭和36)年11月20日号	
28	谷内六郎	月見草もついた	ろうけつ染、着色・布	39.5×28.3	1962(昭和37)年9月3日号	
29	谷内六郎	つばめも染もの	ろうけつ染、着色・布	39.0×28.7	1966(昭和41)年5月21日号	
30	谷内六郎	笹舟	ろうけつ染、着色・布	40.0×28.6	1969(昭和44)年6月14日号	
31	谷内六郎	海の夕焼	ろうけつ染、着色・布	40.8×29.0	1969(昭和44)年8月2日号	★
32	谷内六郎	船板の家	ろうけつ染、着色・布	40.5×30.0	1970(昭和45)年3月14日号	
33	谷内六郎	押し花	ろうけつ染、着色・布	40.5×29.5	1971(昭和46)年5月22日号	★
34	谷内六郎	傘の花	ろうけつ染、着色・布	40.5×29.0	1971(昭和46)年6月26日号	
35	谷内六郎	早春	ろうけつ染、着色・布	41.0×30.2	1972(昭和47)年1月8・15日合併号	
36	谷内六郎	蝶が鐘を打つ	ろうけつ染、着色・布	40.5×30.0	1972(昭和47)年3月18日号	
37	谷内六郎	春	ろうけつ染、着色・布	40.5×29.0	1973(昭和48)年1月4日号	★
38	谷内六郎	花びらの模様	ろうけつ染、着色・布	42.2×30.5	1974(昭和49)年3月28日号	
39	谷内六郎	かま場の子	ろうけつ染、着色・布	41.0×30.0	1973(昭和48)年6月7日号	
40	谷内六郎	葉やのくれた風船	ろうけつ染、着色・布	41.0×30.0	1973(昭和48)年5月10日号	
41	谷内六郎	夕映え	ろうけつ染、着色・布	41.5×30.6	1974(昭和49)年5月23日号	
42	谷内六郎	一番星だけ釣れた	ろうけつ染、着色・布	41.5×30.5	1974(昭和49)年8月22日号	★
43	谷内六郎	遠い日	ろうけつ染、着色・布	42.0×30.5	1974(昭和49)年11月7日号	
44	谷内六郎	まゝごとあそび	ろうけつ染、着色・布	40.6×30.0	1975(昭和50)年4月10日号	
45	谷内六郎	みなと	ろうけつ染、着色・布	40.3×29.5	1975(昭和50)年7月31日号	
46	谷内六郎	梅林	ろうけつ染、着色・布	41.2×30.2	1976(昭和51)年2月19日号	
47	谷内六郎	もみじも手を洗ってる	ろうけつ染、着色・布	40.6×30.0	1976(昭和51)年10月21日号	
48	谷内六郎	二月の記憶	ろうけつ染、着色・布	40.5×30.2	1977(昭和52)年2月17日号	
49	谷内六郎	夏	ろうけつ染、着色・布	43.3×30.4	1977(昭和52)年8月4日号	
50	谷内六郎	カエルの遊園地	ろうけつ染、着色・布	40.5×30.0	1979(昭和54)年5月10日号	
51	谷内六郎	鳥も親子連れ	ろうけつ染、着色・布	40.0×30.0	1979(昭和54)年2月8日号	
52	谷内六郎	しずくも提灯	ろうけつ染、着色・布	41.7×29.8	1979(昭和54)年8月23日号	
53	谷内六郎	はとのタキ火はもみじの葉	ろうけつ染、着色・布	40.0×30.0	1978(昭和53)年12月7日号	
54	谷内六郎	佐渡	ろうけつ染、着色・布	41.2×30.0	1980(昭和55)年5月22日号	
55	谷内六郎	虹のくれたりボンとレイ	ろうけつ染、着色・布	40.3×29.8	1980(昭和55)年8月28日号	
56	谷内六郎	冬の日	ろうけつ染、着色・布	41.1×29.8	1981(昭和56)年2月19日号	

* 谷内六郎表紙絵作品および雑誌資料は、すべて横須賀美術館所蔵です。

* 出品リストの順番は、発行年月日でなく、展示順に従っています。

* 作品名は、作家による作品への書き入れに従っています。そのため、作品脇に展示している「表紙の言葉」パネルと作品名が異なっている場合があります。

* ★のある号の『週刊新潮』をケース内に展示しています。

1-2 教育普及事業

横須賀美術館令和6年度教育普及事業および関連するその他の事業について、下記の分類に基づき掲載する。

- 1-2-1 展覧会関連の教育普及事業
- 1-2-2 単独開催の教育普及事業
- 1-2-3 学校等との連携
- 1-2-4 ボランティアの活動
- 1-2-5 託児サービス

凡例) 場所／ A：展示室、B：ワークショップ室、C：エントランスホール、D：海の広場、E：山の広場、F：情報スペース

参加方法／ a. 当日自由参加、b. 当日先着制、c. 事前申込制

参加料／※印：要観覧券

1-2-1 展覧会関連の教育普及事業(展覧会ごと)

展覧会名 鈴木敏夫とジブリ展

no.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 ①4月13日(土) ②4月14日(日)	10:00～17:00	崖の上のポニョ ふわふわくらげ	—	D	①448 ②433	3歳以上 ～小学生	無料	b
2	2024年 5月1日(水) 5月2日(木)	①10:00～12:30 ②14:00～16:30 ③10:00～12:30	アニメーション美術の技法で 「青空に浮かぶ雲」を描く	渡邊洋一 (アニメーション美術)	B	①12 ②13 ③12	中学生以上	5,500円※	c

展覧会名 驚異の細密表現展

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 ①4月21日(日) ②5月12日(日) ③6月2日(日) ④6月9日(日) ⑤6月16日(日) ⑥6月23日(日)	14:00 ～15:00	ギャラリートークボランティア によるギャラリートーク	当館ボランティア	A	①47 ②10 ③15 ④15 ⑤30 ⑥6	一般	無料※	a
2	2024年 5月16日(木) 21日(火)24日(金)	—	「じっくり観察して描いて みよう!つくってみよう!」	—	A、B	15	市立走水小 5年生・ チャレンジ級	—	—
3	2024年 5月30日(木)	—	「驚異の細密表現展」 アウトリーチ活動	川田祐子 (出品作家)	横須賀学院 高等学校	7	高校生	—	—

展覧会名 エドワード・ゴッリーを巡る旅

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 8月4日(日)	①10:30～12:30 ②14:00～16:00	「空白を埋めて物語をつくる :パラパラブックワークショップ」	もうひとつの研究所	B	①26 ②15	①小学生、 その保護者 ②18歳以上	1,000円	c

展覧会名 瑛九—まなざしのその先に—

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 9月14日(土)	13:30～14:30	開幕記念講演会 「瑛九の眼」	小林美紀 (宮崎県立美術館 学芸主査)	B	29	一般	無料※	c
2	2024年 ①9月29日(日) ②10月13日(日)	11:00～11:30	学芸員による ギャラリートーク	当館学芸員	A	①3 ②26	一般	無料※	a
3	2024年 10月14日(月・祝)	10:30～16:30	ワークショップ 感光性樹脂版で 「フォト・デッサン」を体験しよう!	藤田修(版画家)	B	9	18歳以上	2,000円	c

展覧会名 運慶展 運慶と三浦一族の信仰

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 11月4日(月・休)	14:00～15:30	てらこや運慶塾 「美術史の授業《浄楽寺 の運慶仏を読みとく》」	瀬谷貴之 (神奈川県立金沢 文庫主任学芸員)	B	52	一般	無料※	c
2	2024年 11月9日(土)	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	てらこや運慶塾「美術の時間 田中ひろみの仏像なぞり描き 講座」	田中ひろみ (イラストレーター)	A、B	①17 ②20	18歳以上	2,500円※	c
3	2024年 12月8日(日)	①10:30～12:00 ②14:00～15:30	てらこや運慶塾「手芸の時間 洋輔先生によるビーズ刺繍 のブローチづくり講座」	洋輔(手芸家)	B	①15 ②9	18歳以上	7,000円	c
4	2025年 2月3日(月)	①10:00～12:00 ②14:00～16:00 ③16:00～18:00	高校生のための 仏像スケッチ・デー	—	A	①6 ②8 ③14	高校生	無料	c



空白を埋めて物語をつくる:パラパラブックワークショップ



感光性樹脂版で「フォト・デッサン」を体験しよう!

展覧会名 響きあう20世紀美術 彫刻の森美術館×横須賀美術館

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 11月16日(土)	14:00～15:30	ギャラリートーク 「美術ものがたり ー20 世紀の流れ」	黒河内卓郎(彫刻の森 美術館主任学芸員)、 当館学芸員	A	11	一般	無料※	c
2	2024年 ①11月24日(日) ②12月8日(日)	11:30～12:00	学芸員による ギャラリートーク	当館学芸員	A	①2 ②7	一般	無料※	a
3	2024年 11月30日(土)	①10:30～12:00 ②13:30～15:00	おやこワークショップ 「分身彫刻と海を見よう!」	對木裕里(彫刻家)	B	①6 ②5	小中学生 その保護者	1組 1,500円	c

展覧会名 生誕 120 周年 サルバドール・ダリ展

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	出演者・講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2025年 2月8日(土)	①11:00～12:30 ②14:00～15:30	講演会 「天才サルバドール・ダリ の秘密」	大野方子 (諸橋近代美術館学芸課長)	B	①53 ②47	一般	無料※	c
2	2025年 ①2月24日(月・休) ②3月8日(土)	14:00～14:30	学芸員による ギャラリートーク	当館学芸員	A	①20 ②23	一般	無料※	b
3	2025年 3月15日(土)	18:30～19:30	コンサート 「ダリを想って～影響し影響 された音楽」	下園理恵(メゾソプラノ) 白井源太(フルート) 荒井一穂(ギター)	C	63	一般	無料※	c

展覧会名 令和6年度第2期所蔵品展 「新恵美佐子 祈りの花」

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 9月7日(土)	①10:15～12:15 ②14:30～16:30	ワークショップ 「墨で自由に絵を描こう ／水墨画を描く」	新恵美佐子 (日本画家)	B	18 21	小学生 中学生以上	1,000円※	c

展覧会名 令和6年度第2期所蔵展 生誕100年 芥川紗織

No.	日にち・公開日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数 (人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 9月22日(日)	14:00～15:00	「生誕100年 芥川紗織」 トーク&レクチャー	芥川麻実子 (芥川紗織長女)、 当館学芸員	B	21	一般	無料※	c



てらこや運慶塾 美術史の授業《浄楽寺の運慶仏を読みとく》



おやこワークショップ「分身彫刻と海を見よう!」



コンサート「ダリを想って〜影響し影響された音楽」



ワークショップ「墨で自由に絵を描こう／水墨画を描く」

1-2-2 単独開催の教育普及事業

◆ワークショップ

No.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年7月14日(日)	①10:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	オトナ・ワークショップ 「ガラスのおさらをつくりましょう」	9 3 5 硝子堂 (ガラス職人)	B	①10 ②10	18歳以上	5,000円	c
2	2024年11月10日(日)	11:00 ～16:00	オトナ・ワークショップ 「九谷焼大皿絵付け」	伊藤由紀子 (陶芸家)	B	13	18歳以上	6,500円	c
3	2024年11月24日(日)	①10:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	おやこワークショップ 「干支の絵付け教室(へび)」	五十嵐祐輔 (張子人形職人)	B	①18 ②19	小学生以上の 親子	2,000円	c
4	2025年3月9日(日)	①10:30 ～12:00 ②13:30 ～15:00	こどもワークショップ 「陶とガラスのレリーフづくり」	オガサワラマサコ (造形作家)	B	①9 ②8	小学生	1,000円	c

◆福祉関連事業

No.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年10月4日(金)	①10:30 ～12:00 ②13:30 ～15:00	福祉とアートが出あうとき 「みんなでつくる大きな海のタペストリー」	YARUCA creators (デザインユニット)	B	①35 ②14	障害のある 方が利用する 施設や団体 (支援施設・ 作業所・放 課後デイス ービスなど)、 障害のある 方を含む家 族(個人)	無料	c
	2024年10月5日(土)	③10:30 ～12:00 ④13:30 ～15:00				③21 ④56			
2	2025年2月9日(日)	①10:15 ～12:15 ②14:00 ～16:00	アートに触れる鑑賞プログラム "スカビでおしゃべり"「さんぽ」	大高幸 (アート・エデュ ケーター)	A、B	①9 ②6	小学生以上 (視覚障害者 含む)	無料※	c

◆障害がある子どものためのワークショップ みんなのアトリエ2024

No.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年7月20日(土)	14:00 ～15:00	いろいろな画材で絵を描こう	後藤敦史 (造形作家)	B	157 (51組)	個別支援学 級や特別支 援学校など に通う障害 のある子ども、 きょうだい や保護者	無料	c
2	2024年8月17日(土)	14:00 ～15:00	えのぐのえ! みんなで描く大きな絵	後藤敦史 (造形作家)	B				
3	2024年9月21日(土)	14:00 ～15:00	探検!くんくん美術館① 美術館のにおいを集めよう	井上尚子 (美術家)	B				
4	2024年10月19日(土)	14:00 ～15:00	探検!くんくん美術館② 美術館のにおいを集めよう	井上尚子 (美術家)	B				
5	2024年11月17日(日)	14:00 ～15:00	さわって楽しいおうちをつくろう	ゆにここ (現代美術作家)	B				
6	2024年12月21日(土)	14:00 ～15:00	おもしろ楽器でライブ!音の出る工作 をしよう	後藤敦史 (造形作家)	B				
7	2025年1月18日(土)	14:00 ～15:00	ゴムだらけの部屋をつくろう	後藤敦史 (造形作家)	B				
8	2025年2月15日(土)	14:00 ～15:00	手で読む絵本をつくろう	ゆにここ (現代美術作家)	B				
9	2025年3月15日(土)	14:00 ～15:00	みんなでつくる大きな工作	後藤敦史 (造形作家)	B				

◆その他

No.	開催日	時間	タイトル	講師等	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 8月6日(火)～9月30日(月) (募集:6月10日～7月31日)	10:00 ～18:00	横須賀美術館観覧者200万人達成 記念キャンペーン [横須賀美術館の思い出]展示	—	F	127	どなたでも	無料	c
2	2024年7月1日(月)	10:00 ～16:00	山本理顕氏プリツカー賞受賞記念 横須賀美術館 無料開放	—	全館	818	どなたでも	無料	a
3	2024年7月31日(水)	14:00 ～16:00	先生のための美術館活用講座2024 「対話による美術鑑賞体験」	—	A、B	31	教員、 教育関係者	無料	c
4	2024年 8月10日(土)、8月11日(日)、 8月12日(月・祝)、8月13日(火) 8月14日(水)、8月15日(木)	13:30 ～14:00	中学生のための美術鑑賞教室 & 鑑賞ガイド2024	当館学芸員	F	中学生 22 保護者 32	中学生 (保護者も 参加可)	無料	a
5	2024 年 10月26日(土) ～12月15日(日)	10:00 ～18:00	「SENSE ISLAND/ LAND 感覚の島と 感覚の地 2024」展示 松原 茉莉(TOKYO PHOTOGRAPHIC RESEARCH)《記憶は土にねむる》	横須賀市、 Sense Island 実行委員会 (横須賀集客 促進・魅力発 信実行委員 会、株式会社 アブストラク トエンジン、 株式会社トラ イアングル)	F	—	どなたでも	無料	a
6	2024年 ①11月9日(土) ②11月10日(日)	①10:00 ～15:00 ②10:00 ～14:00	KOYART プロジェクト ～小屋とアートと地域の新鮮野菜 に出会う～	KOYART 実行 委員会、 協力:横須賀 市経済部農水 産業振興課	D	—	どなたでも	無料 (各店舗 で支払)	a
7	2025年3月8日(土)	13:00 ～15:00	トークショー 「建築とサインデザイン ～横須賀美術館の実例から考える～」	廣村正彰 (グラフィック デザイナー)、 色部義昭 (グラフィック デザイナー)、 ファシリテ ーター:齋藤精 一(パノラマ ティクス主宰)	B	54	一般	無料※	c



オトナ・ワークショップ「ガラスのおさらをつくりましょう」



こどもワークショップ「陶とガラスのレリーフづくり」



福祉とアートが出あうとき「みんなでつくる大きな海のタペストリー」



スカビでおしゃべり「さんぽ」



みんなのアトリエ「探検!くんくん美術館」



KOYART プロジェクト



トークショー「建築とサインデザイン」



冬のシネマパーティー

■シネマパーティー

No.	開催日・公開日	時間	タイトル	企画・出演	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年 ①8月31日(土) ②9月1日(日)	18:30 ～20:05	夏の野外シネマパーティー2024 『ディリリとパリの時間旅行』	キノ・イグラー (移動映画館)	B	①22 ②11	どなたでも	無料	c
2	2025年 ①2月1日(土) ②2月2日(日)	18:00 ～19:40	冬のシネマパーティー 2025 in 横須賀美術館『枯れ葉』	キノ・イグラー (移動映画館)、 トサカムリフーズ (ケータリング)	C	①30 ②30	どなたでも	2,000円 (フード代)	c

※8/31、9/1とも台風のため室内開催

◆ボランティアイベント

No.	開催日	時間	タイトル	講師	場所	参加者数(人)	対象	参加料	参加方法
1	2024年6月30日(日)	①11:00 ～12:00 ②13:00 ～14:00 ③15:00 ～16:00	美術館ボランティア すかび隊presents 「飛ばそう!シャボン玉 2024」	—	D	①45 ②42 ③33	どなたでも	無料	a
2	2024年10月27日(日)	①10:00 ～12:00 ②13:00 ～15:00	美術館ボランティア すかび隊presents 「ダンボールアートのミニワークショップ & ハロウィンフォトスポット」	—	B、D	①76 ②39	どなたでも	無料	a
3	2024年12月15日(日)	①10:00 ～11:30 ②13:00 ～14:30 ③15:00 ～16:30 点灯式17:00	美術館ボランティア すかび隊presents 海の広場のメリークリスマス2024 「光るプチハウスをつくろう!」	—	B、D	①30 ②31 ③39 点灯式 40	どなたでも	無料	c



飛ばそう!シャボン玉



ダンボールアートのミニワークショップ



光るプチハウスをつくろう!

1-2-3 学校との連携

横須賀美術館では、2007年(平成19年)の開館当初から、教育普及活動の一環として、学校連携の取り組みを積極的にすすめている。以下に、市立小・中学校をはじめとする学校等を対象とした事業について記載する。

令和6年度は小学校鑑賞会で学芸員、ボランティアによる引率を行った。学芸員によるガイダンスは行わず、教員による事前下見と来館前の事前学習(YouTube 動画の視聴)で対応した。

■小学生美術鑑賞会の受け入れ(平成19年度からの継続事業)

学芸員によるガイダンス、館内案内およびワークシートを用いた補助プログラムほか、鑑賞の前に、児童・生徒
 〈内容〉 向けパンフレットを配付し鑑賞マナーについて啓発を行う。平成20年度から始めたボランティアと学芸員との
 連携による児童の誘導および展示室での対話鑑賞に取り組む。

実施状況

No.	実施日	来館時間	学校名	クラス数	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2024年9月17日(火)	13:45～15:00	走水小学校	1	4	2	6
2	2024年9月19日(木)	13:00～14:45	諏訪小学校	2	52	5	57
3	2024年9月20日(金)	13:00～14:45	浦賀小学校	2	68	3	71
4	2024年9月27日(金)	13:00～14:30	小原台小学校	2	55	4	59
5	2024年10月17日(木)	10:30～13:00	夏島小学校	2	73	5	78
6	2024年11月18日(月)	13:00～14:20	岩戸小学校	2	49	4	53
7	2024年11月19日(火)	10:00～11:30	沢山小学校	1	16	2	18
8	2024年11月21日(木)	13:00～14:30	大塚台小学校	2	79	3	82
9	2024年11月22日(土)	10:00～11:30	荻野小学校	1	25	3	28
10	2024年11月22日(土)	13:00～14:45	大楠小学校	3	85	5	90
11	2024年11月26日(火)	12:30～14:30	森崎小学校	4	113	6	119
12	2024年11月27日(水)	10:10～11:40	逸見小学校	1	17	3	20
13	2024年11月27日(水)	13:00～14:45	神明小学校	3	97	6	103
14	2024年11月28日(木)	13:00～14:45	根岸小学校	3	94	5	99
15	2024年11月29日(金)	13:00～14:40	田戸小学校	2	64	4	68
16	2024年12月5日(木)	10:00～11:30	追浜小学校	1	19	2	21
17	2024年12月6日(金)	13:30～14:10	鶴久保小学校	2	76	4	80
18	2024年12月11日(水)	10:00～11:40	池上小学校	3	95	6	101
19	2024年12月12日(木)	10:00～11:40	野比東小学校	2	51	3	54
20	2024年12月13日(金)	13:00～14:40	公郷小学校	4	128	6	134
21	2024年12月17日(火)	13:00～14:30	山崎小学校	2	52	4	56
22	2024年12月18日(水)	13:00～14:30	大津小学校	2	53	4	57
23	2024年12月19日(木)	10:00～11:30	津久井小学校	2	64	3	67
24	2024年12月20日(金)	10:00～11:40	汐入小学校	1	13	2	15
25	2024年12月20日(金)	13:30～14:45	北下浦小学校	2	44	4	48
26	2025年1月14日(火)	10:00～11:20	衣笠小学校	2	73	4	77
27	2025年1月14日(火)	13:15～14:45	長浦小学校	1	30	2	32
28	2025年1月15日(水)	10:15～11:45	桜小学校	2	49	3	52
29	2025年1月15日(水)	13:10～14:40	城北小学校	3	76	4	80
30	2025年1月16日(木)	10:00～11:40	久里浜小学校	3	104	6	110
31	2025年1月16日(木)	13:30～14:50	富士見小学校	1	37	3	40
32	2025年1月17日(金)	10:00～11:10	武山小学校	2	68	4	72
33	2025年1月17日(金)	10:00～11:40	ろう学校	1	9	13	22
34	2025年1月17日(金)	13:00～14:40	大矢部小学校	2	58	4	62
35	2025年1月20日(月)	10:00～11:20	長井小学校	2	41	4	45
36	2025年1月21日(火)	10:00～11:30	船越小学校	2	59	4	63
37	2025年1月21日(火)	13:30～15:10	豊島小学校	2	41	3	44
38	2025年1月22日(水)	10:00～11:40	馬堀小学校	2	57	5	62
39	2025年1月23日(木)	10:00～11:40	浦郷小学校	4	126	5	131
40	2025年1月23日(木)	13:30～15:10	高坂小学校	2	55	4	59
41	2025年1月24日(金)	10:00～11:10	粟田小学校	2	53	3	56
42	2025年1月24日(金)	13:00～14:00	野比小学校	3	84	5	89
43	2025年1月27日(月)	10:00～11:30	鴨居小学校	3	50	3	53
44	2025年2月10日(月)	9:45～11:15	鷹取小学校	2	48	3	51
45	2025年2月12日(水)	10:00～11:40	明浜小学校	3	106	4	110
46	2025年2月14日(金)	13:45～15:00	望洋小学校	2	44	3	47
47	2025年2月21日(金)	13:00～14:40	田浦小学校	1	22	3	25
合計				99	2776	190	2966

■第77回児童生徒造形作品展団体来館(小学生美術鑑賞会以外)

No.	実施日	来館時間	学校名	児童数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2025年1月14日(火)	10:30～11:30	うわまち幼稚園	51	10	61
2	2025年1月14日(火)	10:50～11:30	走水小学校3、4年	6	2	8
3	2025年1月16日(木)	10:30～11:30	横須賀幼稚園	30	6	36
4	2025年1月16日(木)	10:40～11:30	走水小学校1、2年	9	2	11
5	2025年1月20日(月)	10:00～10:50	鴨居小学校3年	42	3	45
6	2025年1月20日(月)	10:55～11:30	鴨居小学校1、2年	76	4	80
7	2025年1月21日(火)	10:30～11:30	うわまち幼稚園	51	10	61
8	2025年1月21日(火)	14:00～15:00	走水小学校5年	14	1	15
9	2025年1月23日(木)	10:30～11:30	横須賀幼稚園	38	12	50
10	2025年1月24日(金)	10:15～11:30	横須賀幼稚園	43	8	51
合計				360	58	418

■その他の学校等対応(ガイダンスその他の鑑賞支援を実施した学校等)

no.	実施日	来館時間	学校名	児童・生徒数(人)	教諭数(人)	合計(人)
1	2024年7月25日(木)	10:00～11:30	横須賀市立大楠中学校	22	1	23
2	2024年8月23日(金)	10:30～12:30	放課後児童デイ りあん	16	5	21
3	2024年10月1日(火)	10:00～14:10	藤沢市立羽鳥小学校5年	156	5	161
4	2024年10月10日(木)	10:30～14:00	東京都立港特別支援学校 職能開発科	20	8	28
5	2024年10月11日(金)	10:15～11:30	東京都立隅田特別支援学校	26	16	42
6	2024年11月7日(木)	12:00～11:30	横浜市立汐見台小学校5年	110	10	120
7	2024年11月19日(火)	10:10～14:20	聖坂支援学校	9	5	14
8	2024年11月29日(金)	10:00～15:00	茅ヶ崎市立梅田小学校	141	9	150
9	2025年2月6日(木)	10:00～15:30	茅ヶ崎市教育センター あすなろ教室	6	6	12
合計				506	65	571

■保育園鑑賞会

平成 24 年度から、保育課(現・子育て支援課)との連携により、市立保育園の年中・年長児に対する鑑賞支援活動を始めた。作品をパネル化した教材をもって学芸員が保育園に出向く「出前」活動と、その後、保育園児が来館して対話鑑賞を行う「遠足」活動とをセットにして実施している。令和 6 年度は「出前」活動は希望する園にのみ実施した。

〈内容〉 出前＝作品を使ったパズルやゲームなど(令和 6 年度は希望する園にのみ実施した)
遠足＝対話鑑賞をベースとした学芸員によるギャラリートツアー。展示作品を基にしたクイズを出題。

No.	実施日	実施時間	園名	内容	内容	人数(人)
1	2024年7月16日(火)	10:00～12:00	ハイランド保育園	年長・年中	出前	21
2	2024年7月17日(水)	10:00～12:00	ハイランド保育園	年長	遠足	14
3	2024年9月17日(火)	10:00～12:00	森崎保育園	年長	遠足	18
4	2024年9月24日(火)	10:00～12:00	追浜保育園①	年長	遠足	12
5	2024年9月25日(水)	10:00～12:00	船越保育園	年長	遠足	16
6	2024年9月26日(木)	13:00～15:00	追浜保育園②	年長	遠足	16
7	2024年12月26日(木)	10:00～12:00	武山保育園	年長・年中	出前	28
8	2025年1月8日(水)	10:00～12:00	中央こども園①	年長	遠足	12
9	2025年1月8日(水)	13:00～15:00	中央こども園②	年長	遠足	11
10	2025年1月28日(火)	10:00～12:00	津久井保育園	年長・年中	出前	22
11	2025年1月30日(木)	10:00～12:00	津久井保育園	年長	遠足	13
12	2025年2月18日(火)	10:00～12:00	武山保育園	年長	遠足	11
合計				全8園・12回		194

■中学生のための美術鑑賞教室

例年、夏休み中の中学生を対象とした「中学生のための鑑賞教室」を開催している。美術館についての説明と展示室での自由鑑賞を中心に実施する。

〈内容〉 令和 6 年度の「中学生のための美術鑑賞教室」は当日自由参加で開催した。「中学生のための横須賀美術館鑑賞ガイド」(P.67)を美術館受付で配布し、あわせて美術館 HP、ツイッター、Facebook に PDF を掲載した。

No.	実施日	時間	講師	人数(人)		
				中学生	その他(先生・保護者)	合計
1	2024年8月10日(土)	13:30 ～ 14:00	当館学芸員	3	3	6
2	2024年8月11日(日)	13:30 ～ 14:00		5	9	14
3	2024年8月12日(月、休)	13:30 ～ 14:00		6	6	12
4	2024年8月13日(火)	13:30 ～ 14:00		3	2	5
5	2024年8月14日(水)	13:30 ～ 14:00		3	7	10
6	2024年8月15日(木)	13:30 ～ 14:00		2	4	6
合計				22	31	53

■中学生職場(職業)体験の受入れ

例年、横須賀市立中学校からの依頼にもとづき、2年生の職場(職業)体験の受け入れを行っている。
なお例年同様令和6年度も、受け入れ態勢を計画的に整備する必要上、前年度末に教育委員会を通して受け入れ希望校を集約することとした。受け入れ生徒数は1日6名以内(1校2名)で、美術に関心のある生徒に限定して受け入れる旨も、あらかじめ各校に伝えた。

実施状況

No.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	2024年6月25日(火)～27日(木)	3	田浦中学校	2
2	2024年11月7日(火)～8日(水)	2	公郷中学校	2
3	2024年11月20日(水)～21日(木)	2	野比中学校	1
4	2024年11月13日(水)～14日(木)	2	北下浦中学校	2
5	2024年11月13日(水)～14日(木)	2	大楠中学校	2
6	2024年12月5日(木)	1	池上中学校(1年)*	オンライン
7	2025年1月15日(水)～16日(木)	2	不入斗中学校	2
8	2025年1月23日(木)～24日(金)	2	鴨居中学校	2
合計		16		13

* 総合的な学習として美術館についてインタビューを受けた

■高校生インターンシップの受入れ

例年、神奈川県内の高等学校からの依頼にもとづき、高校生インターンシップの受け入れを行っている。

実施状況

No.	実施日	日数	学校名	人数(人)
1	2024年8月7日(水)、8日(木)	2	神奈川県立海洋科学高等学校	1
			神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校	1

■博物館実習の受入れ

実施日	日数	所属大学・専攻	人数(人)
2024年7月23日(火)～25日(木)、 7月30日(火)～8月1日(木) 10時～17時	6	東海大学教養学部芸術学科美術学課程	8
		青山学院大学文学部比較芸術学科西洋美術専攻	
		東京家政大学家政学部造形表現学科住環境ゼミ	
		武蔵野美術大学造形学部彫刻学科ミクストメディア専攻	
		関東学院大学国際文化学部比較文化学科	
		法政大学文学部哲学科フランス現代思想	
		中央大学文学部人文社会学科フランス語文学文化専攻美術史美術館コース	
		金沢美術工芸大学美術工芸学部工芸科染織コース	

■教員向け研修

例年、学校教員を対象とした、美術館活用促進のための講座「先生のための美術館活用講座」を開催し、美術館が提供する教材や、その所蔵作品情報を積極的に活用して学校生活を充実させる試みについて、実践例を紹介している。令和 6 年度は、「対話による美術鑑賞体験会」を開催した。

実施状況

No.	実施日	日数	内容	人数(人)
1	2024年7月31日 14:00～16:00	1	小学生美術鑑賞会で導入しはじめた、ボランティアとの「対話による美術鑑賞」を先生方にも体験していただき、その意義や効果について共に考える機会とした。 3 グループ(各グループ 10 名程度)に分かれて「対話による美術鑑賞」を体験し、体験を振り返りながら美術館での学びについて意見交換した。	31(教員 10、ボランティア 13、学芸員実習生 8)

■アートカードの貸出

横須賀市立小・中学校の有志の先生方と美術館学芸員が 1 年以上の時間をかけて制作した「横須賀美術館アートカード」は、所蔵作品のうち 64 点がカード教材になっている。また、アートカードと同時に制作を行った指導案集には、学習指導要領に応じた学習のめあてや評価基準などがまとめられている。
横須賀市立小・中学校にはアートカード、指導案集、指導記録 DVD が教材セットとして配布され、授業等で活用されている。その他教育機関等の要望に応じて貸出も行っており、令和 6 年度は 1 件 10 セットの貸出を行った。

また、一般公開していた Web 版アートカードは、サーバーを管理している国立情報学研究所のセキュリティ強化対策により令和 4 年 9 月より一時停止としている。現在、希望する学校等には、認証付ブラウザを案内し対応している。令和 6 年度は 2 件の利用があった。

令和6年度の実績

アートカード 1件

No.	貸出日	貸出先	貸出数(セット)
1	2024年 9月3日(火)	藤沢市立羽鳥小学校	10

Web版アートカード 2件

No.	利用申込日	利用者
1	2024年 8月24日(土)	あーとネットとちぎ サマーミーティング2024 もう困らない!「鑑賞の時間」アートカード活用術(栃木県立美術館)
2	2024年 12月9日(月)	中能登町立烏屋小学校

1-2-4 ボランティアの活動

横須賀美術館では、平成 18 年度から始まった「開館記念イベント企画実施ボランティア」の活動を基盤として、開館後は新たに「サポートボランティア」「プロジェクトボランティア」の 2 種のボランティアを募集した。

平成 25 年度に、ボランティアの活動実態と要望に合わせて、活動内容の見直しを行った。その結果、平成 26 年度から、次の 5 つの内容で活動を行うこととした。

1. ギャラリートークボランティア
2. 小学生鑑賞会ボランティア
3. みんなのアトリエボランティア
4. プロジェクトボランティア
5. プロジェクト当日ボランティア

以下に、それぞれの活動内容を掲載する。

■ギャラリートークボランティアの活動

- ①活動内容 --- 所蔵品展のギャラリートークを行う
- ②活動日時 --- ギャラリートークは毎週日曜日 14 時～ 15 時
研修は毎月 1 回、日曜日 10:30 ～ 12:00
- ③活動条件 --- 資格：日曜日に活動できること
- ④募集 --- 隔年 4 ～ 5 月
- ⑤研修 --- あり
- ⑥研修内容 --- 所蔵品展レクチャー 4 回 + 新規ボランティアメンバー向けのレクチャー 7 回
+ 館外研修 1 回(日曜日とは限らない) 計 12 回(年)
- ⑦任期 --- 1 年間(更新有)

所蔵品展ギャラリートーク

No.	年月日	時間	内容	参加人数(人)	
				ボランティア	一般参加者
1	2024年4月21日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	5	47
2	2024年5月12日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	6	10
3	2024年6月2日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	6	15
4	2024年6月9日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	5	15
5	2024年6月16日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	7	30
6	2024年6月23日(日)	14:00～	「細密表現展」ギャラリートーク	6	50
7	2024年8月25日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	20
8	2024年9月1日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	20
9	2024年9月8日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	20
10	2024年9月15日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	50
11	2024年9月16日(月・祝)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	20
12	2024年9月22日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	39
13	2024年9月23日(月・祝)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	25
14	2024年9月29日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	30
15	2024年10月6日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	41
16	2024年10月13日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	17
17	2024年10月14日(月・祝)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	20
18	2024年10月20日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	45
19	2024年11月10日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	24
20	2024年11月17日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	46
21	2024年11月24日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	50
22	2024年12月1日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	40
23	2024年12月8日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	32
24	2024年12月15日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	20
25	2024年12月22日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	45
26	2025年1月12日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	25
27	2025年1月13日(月・祝)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	29
28	2025年1月19日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	37
29	2025年1月26日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	84
30	2025年2月2日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	6	90
31	2025年2月9日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	2	15
32	2025年2月11日(火・祝)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	55
33	2025年3月2日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	3	40
34	2025年3月9日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	60
35	2025年3月16日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	4	80
36	2025年3月23日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	98
37	2025年3月30日(日)	14:00～	所蔵品展ギャラリートーク	5	60
合計				157	1444

研修の記録

No.	年月日	時間	内容	参加人数(人)
1	2024年4月25日(木)	14:00 ~ 15:00	説明会 「細密表現展でのギャラリートークについて」	6
2	2024年5月9日(木)	14:00 ~ 16:00	研修「細密表現展ギャラリートークの練習」	7
3	2024年5月16日(木)	14:00 ~ 16:00	研修「細密表現展ギャラリートークの練習」	7
4	2024年6月13日(木)	14:00 ~ 16:00	「細密表現展」レクチャー	15
5	2024年7月18日(木)	14:00 ~ 16:00	「第2期所蔵品展」レクチャー	14
6	2024年8月22日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 1	15
7	2024年9月12日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 2	11
8	2024年9月26日(木)	14:00 ~ 16:00	「瑛九展」レクチャー	10
9	2024年10月17日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 3	15
10	2024年10月24日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 4	17
11	2024年11月14日(木)	14:00 ~ 16:00	「第3期所蔵品展」レクチャー	17
12	2024年11月28日(木)	15:00 ~ 16:30	「響きあう20世紀美術」レクチャー	16
13	2024年12月12日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 5	14
14	2024年12月21日(土)	13:15 ~ 17:00	関東学院大学校外授業補助	2
15	2025年1月16日(木)	15:00 ~ 16:30	学芸員による連続講座 6・7	13
16	2025年2月13日(木)	14:00 ~ 16:00	「ダリ展」レクチャー	6
17	2025年2月20日(木)	14:00 ~ 16:00	学芸員による連続講座 8	13
18	2025年3月13日(木)	14:00 ~ 16:00	「第4期所蔵品展」レクチャー	15
19	2025年3月27日(木)	14:00 ~ 16:00	建築案内	14
合計				227

■小学生美術鑑賞会ボランティアの活動

- ①活動内容 --- 小学生美術鑑賞会で来館する小学6年生の受入、鑑賞補助
- ②活動日時 --- 6月～翌年3月の各小学校が希望した日時(原則として平日)
- ③活動条件・資格 --- 平日に活動できること 事前研修に参加できること 最低月1回は活動できること
- ④募集 --- 毎年4～5月
- ⑤研修 --- あり
- ⑥研修内容 --- 企画展レクチャー6回+事前レクチャー4回
- ⑦任期 --- 1年間(更新有)

小学生鑑賞会ボランティアの記録

No.	日時	学校名	参加人数(人)
1	2024年9月17日(火) 13:35～15:00	走水小学校	1
2	2024年9月19日(木) 13:00～14:45	諏訪小学校	10
3	2024年9月20日(金) 11:30～14:45	浦賀小学校	6
4	2024年9月27日(金) 13:00～14:45	小原台小学校	5
5	2024年10月17日(木) 10:30～13:45	夏島小学校	4
6	2024年11月18日(月) 13:00～14:20	岩戸小学校	7
7	2024年11月19日(火) 10:00～11:30	沢山小学校	2
8	2024年11月21日(木) 13:00～14:30	大塚台小学校	6
9	2024年11月22日(金) 10:00～11:30	荻野小学校	2
10	2024年11月22日(金) 13:00～14:45	大楠小学校	2
11	2024年11月26日(火) 12:30～14:30	森崎小学校	7
12	2024年11月27日(水) 10:10～11:40	逸見小学校	4
13	2024年11月27日(水) 13:00～14:45	神明小学校	3
14	2024年11月28日(木) 13:00～14:45	根岸小学校	2
15	2024年11月29日(金) 13:00～14:40	田戸小学校	5
16	2024年12月5日(木) 10:00～11:30	追浜小学校	2
17	2024年12月6日(金) 13:30～14:10	鶴久保小学校	5
18	2024年12月11日(水) 10:00～11:40	池上小学校	4
19	2024年12月12日(木) 10:00～11:40	野比東小学校	3
20	2024年12月13日(金) 13:00～14:40	公郷小学校	6
21	2024年12月17日(火) 13:00～14:30	山崎小学校	4
22	2024年12月18日(水) 13:00～14:30	大津小学校	4
23	2024年12月19日(木) 10:00～11:30	津久井小学校	3
24	2024年12月20日(金) 10:00～11:40	汐入小学校	2
25	2024年12月20日(金) 13:30～14:45	北下浦学校	3
26	2025年1月14日(火) 10:00～11:20	衣笠小学校	3
27	2025年1月14日(火) 13:15～14:45	長浦小学校	3
28	2025年1月15日(水) 10:15～11:45	桜小学校	3
29	2025年1月15日(水) 13:10～14:40	城北小学校	4
30	2025年1月16日(木) 10:00～11:40	久里浜小学校	4
31	2025年1月16日(木) 13:30～14:50	富士見小学校	3
32	2025年1月17日(金) 10:00～11:10	武山小学校	3
33	2025年1月17日(金) 13:00～14:40	大矢部小学校	2
34	2025年1月20日(月) 10:00～11:20	長井小学校	3
35	2025年1月21日(火) 10:00～11:30	船越小学校	4
36	2025年1月21日(火) 13:30～15:10	豊島小学校	2
37	2025年1月22日(水) 10:00～11:40	馬堀小学校	3
38	2025年1月23日(木) 10:00～11:40	浦郷小学校	5
39	2025年1月23日(木) 13:30～15:10	高坂小学校	3
40	2025年1月24日(金) 10:00～11:10	粟田小学校	2
41	2025年1月24日(金) 13:00～14:00	野比小学校	3
42	2025年1月27日(月) 10:00～11:30	鴨居小学校	4
43	2025年2月10日(月) 9:45～11:15	鷹取小学校	4
44	2025年2月12日(水) 10:00～11:40	明浜小学校	5
45	2025年2月14日(金) 13:45～15:00	望洋小学校	5
46	2025年2月21日(金) 13:00～14:40	田浦小学校	3
合計			173

研修の記録

No.	日時	内容	参加人数(人)
1	2024年6月13日(木)	「細密表現展」レクチャー	5
2	2024年7月11日(木)	「教師のための美術館活用講座の準備2」	14
3	2024年7月18日(木)	「第2期所蔵品展」レクチャー	5
4	2024年7月25日(木)	「教師のための美術館活用講座の準備3」	10
5	2024年7月31日(水)	「教師のための美術館活用講座」	13
6	2024年8月22日(水)	学芸員による連続講座1	1
7	2024年9月12日(木)	学芸員による連続講座2	2
8	2024年9月26日(木)	「瑛九展」レクチャー	13
9	2024年10月1日(火)	藤沢市立羽鳥小対応	2
10	2024年10月3日(木)	福祉 WS 補助	3
11	2024年10月5日(土)	福祉 WS 補助	1
12	2024年10月10日(木)	都立港特別支援学校対応	4
13	2024年10月24日(木)	学芸員による連続講座5	2
14	2024年11月14日(木)	「第3期所蔵品展」レクチャー	5
15	2024年11月28日(木)	「響きあう21世紀美術」レクチャー	2
16	2024年12月12日(木)	学芸員による連続講座6	3
17	2024年12月21日(土)	関東学院大学校外授業補助	9
18	2025年1月9日(木)	「対話による鑑賞」ふりかえり	16
19	2025年2月11日(火)	「ダリ展」レクチャー	17
20	2025年2月20日(木)	学芸員による連続講座7	1
21	2025年3月13日(木)	「第4期所蔵品展」レクチャー	5
22	2025年3月27日(木)	建築案内	1
合計			134

■みんなのアトリエボランティアの活動

- ①活動内容 --- 障害児者向けワークショップ「みんなのアトリエ」の補助
- ②活動日時 --- 毎月第3土曜日 13:00～16:00
- ③活動条件・資格 --- 18歳以上(高校生は不可)
土曜日の活動に参加できること。
- ④募集 --- 随時
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- 1年間(更新有)

ワークショップ補助活動の記録

No.	年月日	時間	内容	参加人数(人)
1	2024年7月20日(土)	14:00～15:00	いろいろな画材で絵を描こう	1
2	2024年8月17日(土)	14:00～15:00	えのぐのえ!みんなで描く大きな絵	6
3	2024年9月21日(土)	14:00～15:00	探検!くんくん美術館①	2
4	2024年10月19日(土)	14:00～15:00	探検!くんくん美術館②	3
5	2024年11月17日(土)	14:00～15:30	さわって楽しいおうちをつくろう	5
6	2024年12月21日(土)	14:00～15:00	おもしろ楽器でライブ!音の出る工作をしよう	4
7	2025年1月18日(土)	14:00～15:00	ゴムだらけの部屋をつくろう	4
8	2025年2月15日(土)	14:00～15:00	手で読む絵本をつくろう	4
9	2025年3月15日(土)	14:00～15:00	みんなでつくる大きな工作	4
合計				33

■プロジェクトボランティアの活動

- ①活動内容 --- ボランティアイベントの企画・準備・実施
- ②活動日時 --- 原則として、毎月第2・4土曜日 14:00～16:00。 ※ただし、この限りではない。
イベント前日および開催日
- ③活動条件・資格 --- 18歳以上(高校生は不可)、土曜日の活動に参加できること。
ボランティアイベントの当日ボランティアを一度経験すること。
- ④募集 --- 随時
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- 1年間(更新有)

■プロジェクト当日ボランティアの活動

- ①活動内容 --- プロジェクトボランティアが企画したボランティアイベントの補助
- ②活動日時 --- 年3回程度(春・秋・冬)
- ③活動条件・資格 --- 15歳以上(中学生は不可)
- ④募集 --- ボランティアイベントごと
- ⑤研修 --- なし
- ⑥任期 --- ボランティアイベント当日のみ

活動の記録

No.	年月日	時間	活動内容	参加者数(人)	
				プロジェクトボランティア	プロジェクト当日ボランティア
1	2024年4月13日	14:00～16:00	冬イベント作業(プラダンカット)	9	—
2	2024年4月27日	14:00～16:00	冬イベント作業(プラダンカット)	6	—
3	2024年5月11日	14:00～16:00	冬イベント作業(プラダンカット)、シャボン玉道具実験	7	—
4	2024年5月25日	14:00～16:00	冬イベント作業(プラダンカット)、シャボン玉道具実験	9	—
5	2024年6月8日	14:00～16:00	シャボン玉道具制作、実験	8	—
6	2024年6月22日	14:00～16:00	イベント実施要項読み合わせ、道具確認	7	—
7	2024年6月29日	14:00～16:00	イベント前日準備	7	—
8	2024年6月30日	10:00～17:00	イベント実施「飛ばそう!シャボン玉」	12	3
9	2024年7月13日	14:00～16:00	イベント振り返り、冬イベント作業(プラダン印付けとカット)	8	—
10	2024年7月27日	14:00～16:00	冬イベント作業(プラダン印付けとカット、プラ板の貼り付け)	6	—
8月は活動休止					
11	2024年9月14日	14:00～16:00	「まぼり秋まつり」相談、カラベラ切り出し	11	—
12	2024年9月28日	14:00～16:00	カラベラのペイント	9	—
13	2024年10月5日	12:00～16:00	「まぼり秋まつり」～馬堀小学校	8	—
14	2024年10月12日	14:00～16:00	カラベラ追加制作、フォトスポットオブジェ制作	7	—
15	2024年10月26日	13:00～16:00	イベント前日準備	6	—
16	2024年10月27日	9:00～17:00	イベント実施「ダンボールアートのミニワークショップ＆ハロウィンフォトスポット」	11	1
17	2024年11月9日	14:00～16:00	イベント振り返り、プラダンパーツ加工	9	—
18	2024年11月23日	14:00～16:00	プラダンパーツ加工	7	—
19	2024年12月14日	14:00～16:00	イベント前日準備	12	—
20	2024年12月15日	8:40～17:15	イベント実施「光るプチハウスをつくろう!」	9	—
21	2024年12月23日	10:00～11:00	海の広場作品撤収	3	—
22	2025年1月11日	14:00～16:00	イベント振り返り、プチハウス処分、道具の清掃	7	—
23	2025年1月25日	14:00～16:00	春イベントの相談、ガリバーキャンパス白布計測	10	—
24	2025年2月8日	14:00～16:00	白布縫製	12	—
25	2025年2月22日	14:00～16:00	白布縫製	9	—
26	2025年3月1日	14:00～16:00	ガリバーオブジェ土台制作	4	—
27	2025年3月8日	14:00～16:00	ガリバーオブジェ土台制作	10	—
28	2025年3月22日	14:00～16:00	ガリバーオブジェ仕上げ	7	—
合計				230	4

■1-2-5 託児サービス

横須賀美術館では、講演会・ワークショップ等の参加者向けの託児サービスと、企画展ごとの定例託児サービスを実施している。いずれの場合も対象は1歳から未就学児、事前申込制(各回5名まで)、無料。

令和6年度の実施状況は次のとおり、12回募集し、2回実施した。

令和5年度からグループ託児(3～5名のグループ利用の場合、利用者の希望にあわせて日程調整を行う形態)の募集を試行で開始した。令和6年度は申込がなかった。

活動の記録

No.	月日	種別/催事名	時間数(時間)	受託児数(人)
1	2024年7月14日	オトナ・ワークショップ「ガラスのおさらをつくりましょう」	5	2
2	2024年8月4日	「エドワード・ゴッリー展」関連イベント	—	—
3	2024年8月20日	定例託児(エドワード・ゴッリー展)	—	—
4	2024年9月7日	第2期所蔵品展関連ワークショップ	—	—
5	2024年10月18日	定例託児(瑛九展)	—	—
6	2024年11月16日	「響きあう20世紀美術展」ギャラリートーク	—	—
7	2024年11月24日	「響きあう20世紀美術展」学芸員ギャラリートーク	—	—
8	2024年11月30日	「響きあう20世紀美術展」関連ワークショップ	—	—
9	2024年12月8日	「運慶展」関連講座	—	—
10	2024年12月10日	定例託児(響きあう20世紀美術展)	—	—
11	2025年2月9日	アートに触れる鑑賞プログラム“スカビでおしゃべり”	—	—
12	2025年3月7日	定例託児(サルバドール・ダリ展)	1.5	2
合計			6.5	4

1-3 広報関連事業

美術館への来館を促進する広報活動の一環として、イベントを開催した。

■コンサート

no.	実施日	時間	タイトル	講師・演者	場所	参加者数(人)
1	2024年 7月17日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in July 2024	甲斐麻紗子(第1ヴァイオリン)、 永田美智子(第2ヴァイオリン)、 米納真妃子(ヴィオラ)、安藤葉月(チェロ)、 千木良縁(コントラバス)	地階 所蔵品展 北側展示 ギャラリー	70
2	2024年 8月24日(土)	18:30 ～19:30	横須賀美術館 サマーコンサート 2024*	渡邊達徳(ヴァイオリン)、 白井源太(フルート)、 荒井一穂(ギター)	エントランス ホール	73
3	2024年 9月18日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in September 2024	下園理恵(メゾソプラノ)、 清岡優子(ヴァイオリン)、 飯田彰子(ピアノ)	谷内六郎館	42
4	2024年 10月16日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in October 2024	永田美智子(ヴァイオリン)、 石橋麻菜美(フルート)、 荒井一穂(ギター)	地階 所蔵品展 北側展示 ギャラリー	85
5	2024年 11月20日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in November 2024	甲斐麻紗子(第1 ヴァイオリン) 永田美智子(第2 ヴァイオリン) 飯田絢子(ヴィオラ)、安藤葉月(チェロ)	地階 所蔵品展 北側展示 ギャラリー	80
6	2024年 12月14日(土)	18:30 ～19:30	"横須賀美術館 クリスマスコンサート 2024*	木下郁子(ポジティブ(小型可搬型パイプオルガン))、 寺崎里菜(ソプラノ)、下園理恵(メゾソプラノ)、 持齋寛匡(テノール)、大塚雄太(バリトン)、 永田美智子(ヴァイオリン)、白井源太(フルート)	エントランス ホール	90
7	2025年 1月15日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in January 2025	甲斐麻紗子(第1 ヴァイオリン)、 永田美智子(第2 ヴァイオリン)、 飯田絢子(ヴィオラ)、安藤葉月(チェロ)	地階 所蔵品展 北側展示 ギャラリー	82
8	2025年 2月19日(水)	11:00 ～11:30	"横須賀美術館 Monthly Welcome Music" in February 2025	下園理恵(メゾソプラノ)、 白井源太(フルート)、 荒井一穂(ギター)	地階 所蔵品展 北側展示 ギャラリー	89
9	2025年 3月15日(土)	18:30 ～19:30	「生誕120周年 サルバド ール・ダリ展」関連事業 コンサート「ダリを想って～ 影響し影響された音楽」*	下園理恵(メゾソプラノ)、 白井源太(フルート)、 荒井一穂(ギター)	エントランス ホール	63
*一般財団法人シティサポートよこすかの共催					合計	674

■その他

no.	実施日	時間	タイトル	内容	場所	参加者数(人)
1	2024年 10月6日(日)	12:00 ～17:00	筆ロック 東西大会FINAL	"即興アートバトル 1対1の対戦「1 on 1」、2対2の対戦 「2 on 2」のほか、5時間作品を制作し 続ける「ライブペイント」"	海の広場	350

*一般財団法人筆WORKとの共催

2 刊行物

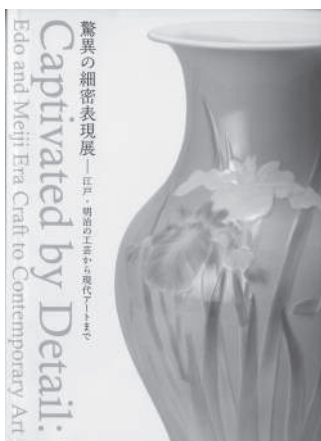
令和6年度に発行した刊行物は下記のとおりである。

2-1 出版物

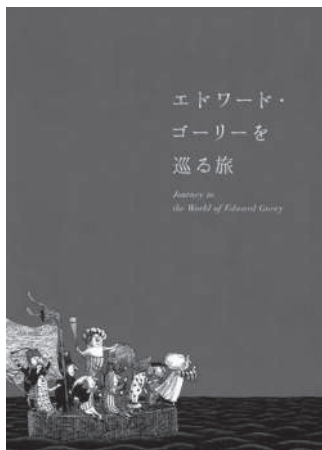
■ 展覧会図録

no.	図録の名称	発行年月日	販売価格(円)	発行	発行部数(部)
1	驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで	2024年4月	1,500	横須賀美術館	700
2	エドワード・ゴッリーを巡る旅	2023年4月	2,750	株式会社イデッフ	1,423
3	瑛九—まなざしのその先に—	2024年9月	2,200	横須賀美術館	800
4	運慶と鎌倉	2024年11月	2,420	株式会社吉川弘文館	812
5	生誕120年 サルバドール・ダリ —天才の秘密—	2024年4月	2,800	株式会社NHKプロモーション	2,361
6	新恵美佐子 祈りの花	2024年7月	1,200	横須賀美術館	600

*2、4、5については取り扱い部数とする



1



2



3



4



5

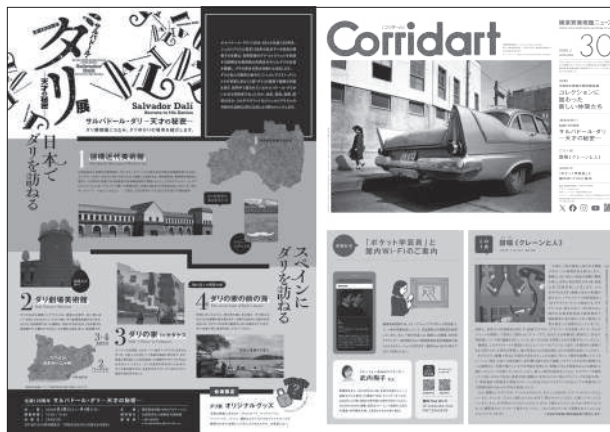


6

2-2 配布物

■横須賀美術館ニュース「Corridart(コリダール)」

図録の名称	発行年月	内容
■横須賀美術館ニュース 「Corridart Vol.30」	2025年2月	<p>○特集 令和6年度第4期所蔵品展 コレクションに加わった新しい仲間たち</p> <p>1 森山大道 飛躍のきっかけとなった横須賀の風景</p> <p>2 川田祐子 対面して感じる緻密な美</p> <p>3 中村光哉 独自の表現に向き合った「黒の時代」</p> <p>4 谷内六郎 知られざるろうけつの作品</p>
		<p>○展覧会情報 令和6年度第4期所蔵品展</p>
		<p>○展覧会紹介 サルバドール・ダリ—天才の秘密 「日本でダリを訪ねる・スペインにダリを訪ねる」</p> <p>1 諸橋近代美術館</p> <p>2 ダリ劇場美術館</p> <p>3 ダリの家inカダケス</p> <p>4 ダリを家の前の海</p>
		<p>会場限定 ダリ展オリジナルグッズ</p>
		<p>○この1点 震嘔《クレーンと人》</p>
		<p>○お知らせ 「ポケット学芸員」と館内Wi-Fiのご案内</p>



A2四つ折(表面)



(中面)

■中学生のための鑑賞教室 鑑賞ガイド2024(2024年7月)



A3二つ折り(表面)



(中面)

■「運慶展 運慶と三浦一族の信仰」 てらこや運慶塾公式テキスト「運慶の教科書 読んで知る編」(2024年10月)

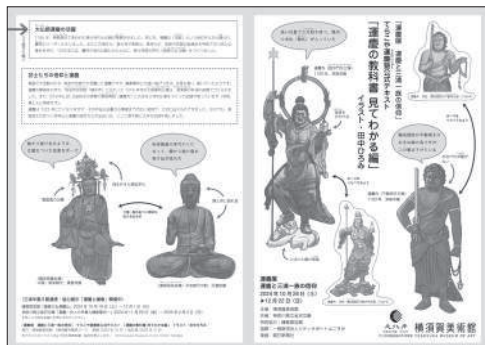


A4巻二つ折り(表面)



(中面)

■「運慶展 運慶と三浦一族の信仰」 てらこや運慶塾公式テキスト「運慶の教科書 見てわかる編」(2024年10月)



A4巻二つ折り(表面)



(中面)

■年間スケジュール(2025年3月)



A4巻三つ折(表面)



(中面)

3 調査・研究活動

令和6年度は、2. 刊行物に掲載した通り、展覧会図録のほか、『横須賀美術館ニュース Corridart』等の刊行物を発行した。このなかで成果を発表した学芸員による調査・研究活動について以下に掲載する。

3-1 論文等

■展覧会図録

図録および横須賀美術館の印刷物等で発表した論文、執筆した解説等は次のとおりである。

執筆者	内容	タイトル	掲載誌など
富田康子	解説等	章解説、作品解説	『驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで』横須賀美術館、2024年4月
	解説等	「運慶の教科書 見てわかる編」	「運慶展 運慶と三浦一族の信仰」てらこや運慶塾公式テキスト「運慶の教科書 見てわかる編」2024年10月
	構成・文責	「運慶の教科書 読んで知る編」	「運慶展 運慶と三浦一族の信仰」てらこや運慶塾公式テキスト「運慶の教科書 読んで知る編」2024年10月
	コラム	『三浦一族の信仰』から見る三浦半島	『運慶と鎌倉』吉川弘文館、2024年11月
工藤香澄	解説等	章解説、作品解説	『驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで』横須賀美術館、2024年4月
	コラム	「デュシャンとダリの交流」	『生誕120年 サルバドール・ダリ―天才の秘密』NHKプロモーション、2024年4月
	コラム	展覧会紹介・サルバドール・ダリ―天才の秘密 「日本でダリを訪ねる・スペインにダリを訪ねる」	横須賀美術館ニュース・Corridart Vol.30
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
日野原清水	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
中村貴絵	インタビュー／構成	ダニ・トゥレン 金のりんご賞受賞作家インタビュー 「映画的手法を応用し、読者の心を揺さぶる試み」 荒井良二 インタビュー 「自分らしさを裏切った先に、新しい自分の絵本がある」 きくちちき インタビュー 「黒×黒によって生まれた、あざやかな世界」	『ブラチスラバからやってきた!世界の絵本パレード』横須賀美術館他、2024年
	レポート	バルセロナ取材レポート	『ブラチスラバからやってきた!世界の絵本パレード』横須賀美術館他、2024年
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
立浪佐和子	論文	『「新恵美佐子 祈りの花」に寄せて』	『新恵美佐子 祈りの花』横須賀美術館、2024年7月
	論文	「横須賀美術館の谷内六郎コレクション：その成立と充実」	『横須賀美術館年報 令和5年度版』横須賀美術館、2024年12月
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
沓沢耕介	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」
栗林陵	解説等	作品解説	『驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで』横須賀美術館、2024年4月
	論文	「《デッサン(セロファン)》について」	『瑛九―まなざしのその先に―』横須賀美術館、2024年9月
	解説等	章解説、作品解説、略年譜	『瑛九―まなざしのその先に―』横須賀美術館、2024年9月
	解説等	この1点・囁く《クレーンと人》	横須賀美術館ニュース・Corridart Vol.30
	解説等	作品解説、作家略歴	ミュージアム展示ガイドアプリ「ポケット学芸員」

4 収集・管理

4-1 作品収集

令和6年度の新収蔵品は、次のとおりである。

(1) 寄贈

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
1	油彩	高間惣七	アトリエの一部	1931(昭和6)年	油彩・画布	65.3×91.2
2	油彩	田中佐一郎	二裸女	1934(昭和9)年	油彩・画布	162.0×130.0
3	油彩	田中佐一郎	虚空	1967(昭和42)年	油彩・画布	194.0×130.5
4	油彩	佐藤泰生	赤い室内	1979(昭和54)年	油彩・画布	162.0×162.0
5	油彩	佐藤泰生	緑のテラス	1980(昭和55)年	油彩・画布	162.0×162.0
6	油彩	佐藤泰生	ヴェニス 水と焰	1998(平成10)年	油彩・画布	194.0×162.0
7	油彩	佐藤泰生	アトリエ 走馬灯(アリスと私)	2016(平成28)年	油彩・画布	181.8×227.3
8	油彩	滝波重人	Untitled 93-P-9	1993(平成5)年	油彩、テンペラ・画布	205.0×480.0
9	油彩	滝波重人	汽水域04-C-8	2004(平成16)年	油彩、テンペラ・画布	163.0×163.0 ×61.0
10	油彩	滝波重人	汽水域06-P-9	2006(平成18)年	油彩、テンペラ・画布	227.0×364.0
11	素描	芥川(間所) 紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	38.2×29.2
12	素描	芥川(間所) 紗織	無題	不詳	オイルパステル・紙	36.0×25.2
13	素描	谷内六郎	〔フグと少年〕	1960(昭和35)年頃	フェルトペン、水彩・紙	62.5×87.5
14-1	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年	水彩・紙	27.0×19.0
14-2	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年	水彩・紙	26.2×14.0
14-3	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年	水彩・紙	18.2×15.5
14-4	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	17.7×12.0
14-5	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	31.5×21.0
14-6	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	32.0×21.3
14-7	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	17.2×29.7
14-8	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	26.0×17.2
14-9	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	28.6×21.0
14-10	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	28.2×19.0
14-11	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	19.0×23.5
14-12	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	18.0×31.5
14-13	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	30.8×18.0
14-14	素描	谷内六郎	『奇蹟クラブ』原画	1964(昭和39)年頃	水彩・紙	28.7×18.6
15-1	水彩	谷内六郎	信州	1941(昭和16)年	水彩・紙	10.9×12.4
15-2	水彩	谷内六郎	みかん	1945(昭和20)年	水彩・紙	11.6×8.9
15-3	水彩	谷内六郎	雨の糸魚川	1945(昭和20)年	水彩・紙	12.1×13.7
15-4	水彩	谷内六郎	晩秋	1945(昭和20)年	水彩・紙	13.5×18.0
15-5	水彩	谷内六郎	房総	1945(昭和20)年	水彩・紙	12.8×14.9
15-6	水彩	谷内六郎	北蟹谷村	1945(昭和20)年9月	水彩・紙	11.9×13.5
15-7	水彩	谷内六郎	魚津の夜	1945(昭和20)年	水彩・紙	8.6×11.4
15-8	水彩	谷内六郎	北蟹谷村	1945(昭和20)年	水彩・紙	6.9×9.2
15-9	水彩	谷内六郎	月夜の海	1945(昭和20)年	水彩・紙	12.9×17.7

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
15-10	水彩	谷内六郎	船のかげ	1945(昭和20)年	水彩・紙	11.3×8.8
15-11	素描	谷内六郎	雨の外房州	1946(昭和21)年6月	鉛筆・紙	36.2×52.0
15-12	水彩	谷内六郎	雲	1946(昭和21)年	水彩・紙	13.2×11.0
15-13	水彩	谷内六郎	鯨肉の配給	1947(昭和22)年	水彩・紙	38.5×53.0
15-14	素描	谷内六郎	るすばん(るすばんの夕方)	1949-50(昭和24-25)年	鉛筆、色鉛筆・紙	15.5×12.0
15-15	素描	谷内六郎	じふてりあで死んだ子	1949(昭和24)年	パステル・紙	20.5×19.1
15-16	水彩	谷内六郎	雪	1949(昭和24)年	水彩・紙	35.0×29.5
15-17	水彩	谷内六郎	熱におびえる子	1949(昭和24)年	水彩・紙	38.5×27.0
15-18	水彩	谷内六郎	海の上の赤い月(月の出)	1950-51(昭和25-26)年	水彩・紙	17.5×15.0
15-19	水彩	谷内六郎	救命丸の色	1950(昭和25)年	水彩・紙	10.5×13.2
15-20	水彩	谷内六郎	校庭	1950(昭和25)年	水彩・紙	39.0×54.0
15-21	水彩	谷内六郎	かいり灰の町	1950(昭和25)年	水彩・紙	11.7×12.3
15-22	素描	谷内六郎	病院にて	1950(昭和25)年	パステル、鉛筆・紙	30.9×42.3
15-23	水彩	谷内六郎	月の病棟	1950(昭和25)年	水彩、インク・紙	39.5×27.3
15-24	水彩	谷内六郎	西洋館	1950(昭和25)年	水彩・紙	26.5×15.8
15-25	水彩	谷内六郎	病気のネオン	1950(昭和25)年	水彩・紙	16.0×23.0
15-26	水彩	谷内六郎	月の病棟(月の夜)	1951(昭和26)年11月	水彩、インク・紙	31.0×24.0
15-27	水彩	谷内六郎	自殺者	1951(昭和26)年	水彩・紙	25.6×32.0
15-28	水彩	谷内六郎	坂道で逢った子	1951(昭和26)年	水彩・紙	17.8×12.3
15-29	水彩	谷内六郎	波のピアノ	1951(昭和26)年	水彩・紙	37.8×48.8
15-30	水彩	谷内六郎	迷い子(迷子)	1951(昭和26)年	水彩・紙	22.9×19.1
15-31	水彩	谷内六郎	フィルムの中の二挺拳銃	1951(昭和26)年	水彩・紙	26.0×36.3
15-32	水彩	谷内六郎	海の上の月	1951(昭和26)年	水彩・紙	27.2×39.5
15-33	水彩	谷内六郎	月の海辺	1951(昭和26)年	水彩・紙	15.1×22.1
15-34	水彩	谷内六郎	ポンポンじょう気	1951(昭和26)年	水彩・紙	27.0×39.8
15-35	水彩	谷内六郎	病院の池 熱海国立病院にて	1951(昭和26)年	水彩・紙	33.7×25.5
15-36	水彩	谷内六郎	毛虫の鉄道	1950-52(昭和25-27)年	水彩・紙	38.0×54.0
15-37	水彩	谷内六郎	どろぼうやんまの来た晩	1952(昭和27)年	水彩・紙	23.4×38.0
15-38	水彩	谷内六郎	熱海の夜	1952(昭和27)年	水彩・紙	23.0×32.0
15-39	水彩	谷内六郎	多摩墓地	1952(昭和27)年	水彩・紙	27.0×38.0
15-40	水彩	谷内六郎	雨の駄菓子屋	1952(昭和27)年	水彩・紙	38.2×32.7
15-41	水彩	谷内六郎	赤いチラシ	1953(昭和28)年	水彩・紙	36.1×25.8
15-42	水彩	谷内六郎	ひぐらし	1953(昭和28)年	水彩、インク・紙	42.4×33.1
15-43	水彩	谷内六郎	割切の時間	1953(昭和28)年	水彩・紙	36.5×46.5
15-44	水彩	谷内六郎	テレビ	1954(昭和29)年	水彩・紙	30.9×41.5
15-45	水彩	谷内六郎	町工場	1954(昭和29)年	水彩、インク・紙	39.0×50.5
15-46	水彩	谷内六郎	タイトルなし	1954(昭和29)年	水彩・紙	24.3×30.6
15-47	水彩	谷内六郎	電車の家	1955(昭和30)年	水彩・紙	19.4×32.7
15-48	水彩	谷内六郎	ふくろう	1955(昭和30)年	水彩・紙	32.3×22.0
15-49	水彩	谷内六郎	討入りのありそうな夜	1955(昭和30)年	水彩・紙	30.7×20.6
15-50	水彩	谷内六郎	悲しい心	1955(昭和30)年	水彩・紙	27.5×24.5
15-51	水彩	谷内六郎	とこや	1955(昭和30)年	水彩・紙	33.5×23.2
15-52	水彩	谷内六郎	まつりで買ったじしゃくの人形	1955(昭和30)年	水彩・紙	40.9×30.5
15-53	水彩	谷内六郎	正月	1950-55(昭和25-30)年	水彩・紙	31.0×22.0
15-54	水彩	谷内六郎	田舎のお嫁さん	1956(昭和31)年頃	水彩・紙	31.2×22.0
15-55	水彩	谷内六郎	まつげの食事は青葉	不詳	水彩・紙	30.8×21.6
15-56	水彩	谷内六郎	富山の葉売り	不詳	水彩・紙	10.6×18.6

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
15-57	素描	谷内六郎	TOGO SAN像	1950(昭和25)年 5月11日	鉛筆・紙	34.5×24.5
15-58	水彩	谷内六郎	母の像	1950年代 (昭和25-34)	水彩・紙	25.0×16.2
15-59	素描	谷内六郎	ノイローゼで皿を破る	1955(昭和30)年頃	鉛筆・紙	27.5×20.4
15-60	素描	谷内六郎	ガード	1955(昭和30)年頃	墨・紙	18.8×24.0
15-61	素描	谷内六郎	映画 浮雲より	1955(昭和30)年頃	鉛筆・紙	25.2×35.5
15-62	素描	谷内六郎	熱のある日	1951(昭和26)年	鉛筆・紙	23.8×18.2
16-1	油彩	谷内六郎	雨の夜	1950(昭和25)年1月	油彩・キャンバス	53.0×45.4
16-2	油彩	谷内六郎	ビール会社の坂道	1950(昭和25)年 2月27日	油彩・板	33.5×24.0
16-3	油彩	谷内六郎	西風の日かげんごろう	1950(昭和25)年 3月14日	油彩・板	33.4×23.8
16-4	油彩	谷内六郎	焼あとの子	1950(昭和25)年4月	油彩・板	21.0×27.0
16-5	油彩	谷内六郎	びんの中の景色	1950(昭和25)年9月	油彩・キャンバス	45.0×53.0
16-6	油彩	谷内六郎	月見草を灯す人	1950(昭和25)年9月	油彩・キャンバス	53.0×45.0
16-7	油彩	谷内六郎	沼の音は低い音	1950(昭和25)年	油彩・板	33.4×24.2
16-8	油彩	谷内六郎	夜明の海辺	1950(昭和25)年	油彩・板	15.7×22.6
16-9	油彩	谷内六郎	ヨコハマ	1950(昭和25)年	油彩・板	15.7×22.8
16-10	油彩	谷内六郎	房州の夜汽車	1950(昭和25)年	油彩・板	24.1×33.5
16-11	油彩	谷内六郎	沼の中のB29	1951(昭和26)年	油彩・ボード	26.4×18.5
17	工芸	谷内六郎	上総の町	1947(昭和22)年	ろうけつ染・布	52.5×56.2
18-1	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (風)	1971(昭和46)年 1月2日号	水彩・紙	42.3×109.5
18-2	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (こいのぼり)	1971(昭和46)年 5月8日号	水彩・紙	42.7×109.0
18-3	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (かまくらとやきもち)	1972(昭和47)年 1月1日	水彩・ボード	36.3×102.5
18-4	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (雲の飛行機)	1972(昭和47)年 5月31日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-5	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (汽車)	1972(昭和47)年 5月6日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-6	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (アクアラング)	1972(昭和47)年 8月19日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-7	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (北斗七星と花火2)	1972(昭和47)年 8月26日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-8	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (雲の汽車)	1973(昭和48)年 5月10日	水彩・ボード	26.2×102.7
18-9	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 虫のハイウェイ	1973(昭和48)年 8月23日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-10	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (すいか割り)	1973(昭和48)年 8月9日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-11	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (スキー)	1974(昭和49)年 1月10・17日	水彩・ボード	36.3×103.0
18-12	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 羽根	1974(昭和49)年 1月3日	水彩・ボード	36.4×102.7

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
18-13	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (雲の楽器)	1974(昭和49)年 5月19日号	水彩・ボード	36.3×102.8
18-14	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (5月の記憶)	1974(昭和49)年 5月2日号	ろうけつ、水彩・布	36.3×102.7
18-15	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (かき氷)	1974(昭和49)年 8月22日	水彩・ボード	36.2×102.7
18-16	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 足をさらう波の気分	1974(昭和49)年 8月8日	水彩・ボード	36.3×102.8
18-17	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (うさぎのかまくら)	1975(昭和50)年 1月9・16日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-18	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 こぼれ陽の映画館	1975(昭和50)年 5月1日	水彩・ボード	36.3×102.8
18-19	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (水泳)	1975(昭和50)年 8月14日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-20	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (花火)	1975(昭和50)年 8月28日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-21	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (お正月)	1976(昭和51)年 1月1日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-22	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (カルタ取り)	1976(昭和51)年 1月8・15日	水彩・ボード	36.2×103.0
18-23	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 雨後若葉も泳ぐ	1976(昭和51)年 5月6日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-24	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (うちわの水族館)	1976(昭和51)年 8月19日	水彩・ボード	36.4×102.7
18-25	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 風の音 ドイツにて	1977(昭和52)年 5月5日	水彩・ボード	36.4×102.8
18-26	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 シャボン玉の夢	1977(昭和52)年 8月25日	水彩・ボード	36.3×102.7
18-27	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (富士山と新年)	1978(昭和53)年 1月5日号	水彩・ボード	36.3×102.8
18-28	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 ぼく的の真ん中にあてたよ	1978(昭和53)年 5月4日号	水彩・ボード	36.3×102.8
18-29	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 走る雲のかげ 静岡浜岡大砂丘にて	1978(昭和53)年 8月10日	水彩・ボード	36.4×102.9
18-30	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 羽根の花	1979(昭和54)年 1月4日	水彩・ボード	36.3×102.8
18-31	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (お正月)	1980(昭和55)年 1月3日	水彩・紙	32.0×36.2
18-32	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (正月、日の出)	不詳	水彩・ボード	36.3×102.8
18-33	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (北斗七星と花火1)	不詳	水彩・ボード	36.4×102.5
18-34	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (パンダの雪だるま)	不詳	水彩・ボード	36.2×102.7
18-35	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 UFOだ	不詳	水彩・ボード	36.3×103.0

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
18-36	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (シャボン玉)	不詳	水彩・ボード	36.2×102.7
18-37	水彩	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (うみ)	不詳	水彩・ボード	40.0×103.0
18-38	資料	谷内六郎	『週刊新潮』中吊り広告原画 (夏の海)	不詳	水彩・ボード	36.6×103.0
19-1	水彩	谷内六郎	壁画用ラフスケッチ (ロクロービル)	1971(昭和46)年頃	水彩・紙	24.7×109.5
19-2	水彩	谷内六郎	大雅堂書店 看板原画	不詳	水彩・紙	39.2×193.7
19-3	水彩	谷内六郎	書店「文悠」(神楽坂) ・横浜相鉄構内看板原画	不詳	水彩・紙	14.8×87.5
20-1	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	13.5×9.0
20-2	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	26.8×3.9
20-3	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	4.7×8.6
20-4	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	11.1×15.0
20-5	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	8.2×6.7
20-6	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	11.2×18.0
20-7	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』挿絵	1968(昭和43)年	墨・紙	12.0×11.7
20-8	素描	谷内六郎	『成城っ子'68 No.14』 『成城っ子'69 No.17』挿絵	1968(昭和43)年／ 1969(昭和44)年	墨・紙	4.8×4.4 5.7×4.4
20-9	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.35』 『成城っ子'69 No.17』 『成城っ子'69 No.17』 『成城っ子'68 No.14』 挿絵	1975(昭和50)年／ 1969(昭和44)年／ 1968(昭和43)年	墨・紙	7.5×6.6 5.1×6.8 5.6×4.5 4.5×4.7
20-10	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	8.7×12.4
20-11	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.3×8.0
20-12	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	13.1×9.7
20-13	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.9×8.8
20-14	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	11.4×6.6
20-15	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	7.9×9.5
20-16	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	6.5×7.8
20-17	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	8.0×7.9
20-18	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.5×8.2
20-19	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.5×7.6
20-20	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	6.5×12.5
20-21	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.16』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.7×8.6
20-22	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 『成城っ子'69 No.16』挿絵	不詳／1969(昭和44)年	墨・紙	6.8×9.6 7.0×9.5
20-23	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	15.3×7.4
20-24	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	12.7×11.3
20-25	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	10.9×15.8
20-26	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	11.7×10.5
20-27	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	11.1×15.5
20-28	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	11.5×8.9
20-29	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	10.8×8.3
20-30	素描	谷内六郎	『成城っ子'69 No.17』挿絵	1969(昭和44)年	墨・紙	9.5×10.0

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
20-31	水彩	谷内六郎	『成城っ子'69 No.18』 表紙原画	1969(昭和44)年	水彩・紙 (ボードに貼付)	29.3×21.0
20-32	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』 『成城っ子'68 No.14』挿絵	1972(昭和47)年/ 1968(昭和43)年	墨・紙	12.5×8.3 10.0×7.8
20-33	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』挿絵	1972(昭和47)年	墨・紙	11.4×14.0
20-34	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』挿絵	1972(昭和47)年	墨・紙	8.8×11.5
20-35	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』挿絵	1972(昭和47)年	墨・紙	13.3×9.0
20-36	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』挿絵	1972(昭和47)年	墨・紙	14.0×9.8
20-37	素描	谷内六郎	『成城っ子'72 No.26』挿絵	1972(昭和47)年	墨・紙	13.2×9.2
20-38	水彩	谷内六郎	『成城っ子'73 No.28』表紙原画	1973(昭和48)年	水彩・紙	25.5×18.8
20-39	水彩	谷内六郎	『成城っ子'73 No.30』表紙原画	1973(昭和48)年	水彩・紙	26.8 ×19.2
20-40	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	9.8×8.2
20-41	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	13.5×10.7
20-42	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	8.3×12.3
20-43	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	9.8 ×6.2
20-44	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	7.9×7.3
20-45	素描	谷内六郎	『成城っ子'74 No.33』挿絵	1974(昭和49)年	墨・紙	13.1×15.0
20-46	水彩	谷内六郎	『成城っ子'73 No.34』表紙原画	1975(昭和50)年	水彩・紙	27.5×19.2
20-47	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.34』挿絵ほか	1975(昭和50)年／不詳	墨・紙	27.4×18.7
20-48	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.34』挿絵ほか	1975(昭和50)年／不詳	墨・紙	26.7×18.8
20-49	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.35』挿絵	1975(昭和50)年	墨・紙	7.1×7.1
20-50	水彩	谷内六郎	『成城っ子'75 No.35』表紙原画	1975(昭和50)年	水彩・紙	27.0×18.6
20-51	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.35』挿絵	1975(昭和50)年	墨・紙	8.3×8.4
20-52	素描	谷内六郎	『成城っ子'75 No.35』 『成城っ子'76 No.38』挿絵 ほか	1975(昭和50)年、 1976(昭和51)年／不詳	墨・紙	6.9×6.6 6.4×4.2 9.3×6.0
20-53	水彩	谷内六郎	『成城っ子'76 No.39』表紙原画	1976(昭和51)年	水彩・紙	37.9×27.0
20-54	水彩	谷内六郎	『成城っ子'77 No.40』表紙原画	1977(昭和52)年	水彩・紙	27.3×19.1
20-55	水彩	谷内六郎	『成城っ子 創立60周年記念 特別号'77 No.41』表紙 原画	1977(昭和52)年	水彩・紙	30.0×42.5
20-56	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.8×9.8
20-57	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.6×12.7
20-58	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.0×13.5
20-59	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	17.0×8.0
20-60	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	14.5×10.9
20-61	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.5×9.5
20-62	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.3×8.9
20-63	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.8×14.0
20-64	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.0×11.5
20-65	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.4×11.8
20-66	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	19.6×9.5
20-67	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	14.0×10.5
20-68	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.7×11.0 8.2×13.1
20-69	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	12.7×10.8
20-70	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	19.0×27.0

no.	分類	作家名	作品名	制作年	材質技法	寸法(cm)
20-71	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.0×13.9
20-72	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.2×11.0
20-73	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	12.0×18.3
20-74	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.0×9.0
20-75	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.1×13.3
20-76	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.0×9.5
20-77	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨、水彩・紙	18.6×11.2
20-78	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.4×9.4
20-79	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.2×8.5
20-80	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	12.7×11.2
20-81	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.1×8.5
20-82	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.2×8.1
20-83	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.8×7.7
20-84	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	6.2×9.8
20-85	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	4.5×37.9
20-86	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.5×14.8
20-87	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	16.2×10.9
20-88	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.0×18.6
20-89	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.0×12.9
20-90	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.0×8.9
20-91	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.0×4.5
20-92	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	6.6×9.0
20-93	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.4×8.5
20-94	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	16.5×12.4
20-95	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.0×9.0
20-96	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.6×8.0
20-97	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.7×12.0
20-98	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.6×7.5
20-99	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨、鉛筆・紙	15.0×18.4
20-100	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.4×6.6
20-101	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.2×12.9
20-102	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.4×6.5
20-103	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.9×9.0
20-104	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	8.4×16.8
20-105	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	13.4×9.1
20-106	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.1×7.0
20-107	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.0×5.4
20-108	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.3×7.6
20-109	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	9.0×7.5
20-110	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	7.5×6.9
20-111	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨、水彩・紙	11.5×15.3
20-112	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	11.3×8.8
20-113	素描	谷内六郎	『成城っ子』関連 挿絵	不詳	墨・紙	10.0×11.0

<p>no.1</p>  <p>高間惣七 アトリエの一部 1931(昭和6)年、65.3×91.2 寄贈 油彩 油彩・画布</p>	<p>no.2</p>  <p>田中佐一郎 二裸女 1934(昭和9)年 162.0×130.0 油彩・画布 油彩</p>	<p>no.3</p>  <p>田中佐一郎 虚空 1967(昭和42)年 194.0×130.5 油彩・画布 油彩</p>
<p>no.4</p>  <p>佐藤泰生 赤い室内 1979(昭和54)年、162.0×162.0 寄贈 油彩 油彩・画布</p>	<p>no.5</p>  <p>佐藤泰生 緑のテラス 1980(昭和55)年、162.0×162.0 寄贈 油彩 油彩・画布</p>	<p>no.6</p>  <p>佐藤泰生 ヴェニス 水と焰 1998(平成10)年 194.0×162.0 寄贈 油彩 油彩・画布</p>
<p>no.7</p>  <p>佐藤泰生 アトリエ 走馬灯(アリスと私) 1931(昭和6)年、65.3×91.2 寄贈 油彩 油彩・画布</p>	<p>no.8</p>  <p>滝波重人 Untitled 93-P-9 1993(平成5)年、205.0×480.0 寄贈 油彩 油彩、テンペラ・画布</p>	<p>no.9</p>  <p>滝波重人 汽水域04-C-8 2004(平成16)年、163.0×163.0×61.0 寄贈 油彩 油彩、テンペラ・画布</p>
<p>no.10</p>  <p>滝波重人 汽水域06-P-9 2006(平成18)年、227.0×364.0 寄贈 油彩 油彩、テンペラ・画布</p>	<p>no.11</p>  <p>芥川(間所)紗織 無題 不詳 38.2×29.2 寄贈 素描 オイルパステル・紙</p>	<p>no.12</p>  <p>芥川(間所)紗織 無題 不詳 36.0×25.2 寄贈 素描 オイルパステル・紙</p>
<p>no.13</p>  <p>谷内六郎 [フグと少年] 1960(昭和35)年頃、62.5×87.5 寄贈 素描 フェルトペン、水彩・紙</p>	<p>no.14-1</p>  <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画 1964(昭和39)年 27.0×19.0 寄贈 素描 水彩・紙</p>	<p>no.14-2</p>  <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画 1964(昭和39)年 26.2×14.0 寄贈 素描 水彩・紙</p>

<p>no.14-3</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年 18.2×15.5 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-4</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 17.7×12.0 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-5</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 31.5×21.0 寄贈 素描 水彩・紙</p> 
<p>no.14-6</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 32.0×21.3 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-7</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃、17.2×29.7 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-8</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 26.0×17.2 寄贈 素描 水彩・紙</p> 
<p>no.14-9</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 28.6×21.0 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-10</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 28.2×19.0 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-11</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃、19.0×23.5 寄贈 素描 水彩・紙</p> 
<p>no.14-12</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃、18.0×31.5 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-13</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 30.8×18.0 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.14-14</p> <p>谷内六郎 『奇蹟クラブ』原画</p> <p>1964 (昭和39) 年頃 28.7×18.6 寄贈 素描 水彩・紙</p> 
<p>no.15-1</p> <p>谷内六郎 信州</p> <p>1941 (昭和16) 年、10.9×12.4 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-2</p> <p>谷内六郎 みかん</p> <p>1945 (昭和20) 年 11.6×8.9 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-3</p> <p>谷内六郎 雨の糸魚川</p> <p>1945 (昭和20) 年 12.1×13.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 

<p>no.15-4</p> <p>谷内六郎 晩秋</p> <p>1945 (昭和20) 年 13.5×18.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-5</p>  <p>谷内六郎 房総 1945 (昭和20) 年、12.8×14.9 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-6</p>  <p>谷内六郎 北蟹谷村 1945 (昭和20) 年9月、11.9×13.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.15-7</p>  <p>谷内六郎 魚津の夜 1945 (昭和20) 年、8.6×11.4 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-8</p>  <p>谷内六郎 北蟹谷村 1945 (昭和20) 年 6.9×9.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-9</p>  <p>谷内六郎 月夜の海 1945 (昭和20) 年 12.9×17.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.15-10</p>  <p>谷内六郎 船のかげ 1945 (昭和20) 年 11.3×8.8 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-11</p>  <p>谷内六郎 雨の外房州 1946 (昭和21) 年6月、36.2×52.0 寄贈 素描 鉛筆・紙</p>	<p>no.15-12</p>  <p>谷内六郎 雲 1946 (昭和21) 年 13.2×11.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.15-13</p>  <p>谷内六郎 鯨肉の配給 1947 (昭和22) 年、38.5×53.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-14</p>  <p>谷内六郎 るすばん (るすばんの夕方) 1949-50 (昭和24-25) 年 15.5×12.0 寄贈 素描 鉛筆、色鉛筆・紙</p>	<p>no.15-15</p>  <p>谷内六郎 じふてりあで死んだ子 1949 (昭和24) 年、20.5×19.1 寄贈 素描 パステル・紙</p>
<p>no.15-16</p>  <p>谷内六郎 雪 1949 (昭和24) 年 35.0×29.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-17</p>  <p>谷内六郎 熱におびえる子 1949 (昭和24) 年 38.5×27.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.15-18</p>  <p>谷内六郎 海の上の赤い月 (月の出) 1950-51 (昭和25-26) 年、 17.5×15.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p>

<p>no.15-19</p> <p>谷内六郎 救命丸の色</p> <p>1950 (昭和25) 年 10.5×13.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-20</p> <p>谷内六郎 校庭</p> <p>1950 (昭和25) 年、39.0×54.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-21</p> <p>谷内六郎 かいろ灰の町</p> <p>1950 (昭和25) 年、11.7×12.3 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-22</p> <p>谷内六郎 病院にて</p> <p>1950 (昭和25) 年、30.9×42.3 寄贈 素描 パステル、鉛筆・紙</p> 	<p>no.15-23</p> <p>谷内六郎 月の病棟</p> <p>1950 (昭和25) 年 39.5×27.3 寄贈 水彩 水彩、インク・紙</p> 	<p>no.15-24</p> <p>谷内六郎 西洋館</p> <p>1950 (昭和25) 年 26.5×15.8 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-25</p> <p>谷内六郎 病気のネオン</p> <p>1950 (昭和25) 年、16.0×23.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-26</p> <p>谷内六郎 月の病棟 (月の夜)</p> <p>1951 (昭和26) 年11月 31.0×24.0 寄贈 水彩 水彩、インク・紙</p> 	<p>no.15-27</p> <p>谷内六郎 自殺者</p> <p>1951 (昭和26) 年、25.6×32.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-28</p> <p>谷内六郎 坂道で逢った子</p> <p>1951 (昭和26) 年 17.8×12.3 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-29</p> <p>谷内六郎 波のピアノ</p> <p>1951 (昭和26) 年、37.8×48.8 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-30</p> <p>谷内六郎 迷い子 (迷子)</p> <p>1951 (昭和26) 年 22.9×19.1 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-31</p> <p>谷内六郎 フィルムの中の二挺拳銃</p> <p>1951 (昭和26) 年 26.0×36.3 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-32</p> <p>谷内六郎 海の上の月</p> <p>1951 (昭和26) 年 27.2×39.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-33</p> <p>谷内六郎 月の海辺</p> <p>1951 (昭和26) 年 15.1×22.1 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 

no.15-34



谷内六郎 ポンポンじょう気
1951 (昭和26) 年、27.0×39.8
寄贈 水彩 水彩・紙

no.15-35

谷内六郎
病院の池 熱海国立
病院にて

1951 (昭和26) 年、
33.7×25.5
寄贈 水彩
水彩・紙



no.15-36



谷内六郎 毛虫の鉄道
1950-52 (昭和25-27) 年、38.0×54.0
寄贈 水彩 水彩・紙

no.15-37



谷内六郎 どろぼうやんまの来た晩
1952 (昭和27) 年、23.4×38.0
寄贈 水彩 水彩・紙

no.15-38



谷内六郎 熱海の夜
1952 (昭和27) 年、23.0×32.0
寄贈 水彩 水彩・紙

no.15-39



谷内六郎 多摩墓地
1952 (昭和27) 年、27.0×38.0
寄贈 水彩 水彩・紙

no.15-40

谷内六郎
雨の駄菓子屋

1952 (昭和27) 年
38.2×32.7
寄贈 水彩
水彩・紙



no.15-41

谷内六郎
赤いチラシ

1953 (昭和28) 年
36.1×25.8
寄贈 水彩
水彩・紙



no.15-42

谷内六郎
ひぐらし

1953 (昭和28) 年
42.4×33.1
寄贈 水彩
水彩、インク・紙



no.15-43

谷内六郎 割切の時間
1953 (昭和28) 年、36.5×46.5
寄贈 水彩 水彩・紙



no.15-44

谷内六郎 テレビ
1954 (昭和29) 年、30.9×41.5
寄贈 水彩 水彩・紙



no.15-45

谷内六郎 町工場
1954 (昭和29) 年、39.0×50.5
寄贈 水彩 水彩、インク・紙



no.15-46

谷内六郎 タイトルなし
1954 (昭和29) 年、24.3×30.6
寄贈 水彩 水彩・紙



no.15-47

谷内六郎 電車の家
1955 (昭和30) 年、19.4×32.7
寄贈 水彩 水彩・紙



no.15-48
















谷内六郎
ふくろう

1955 (昭和30) 年
32.3×22.0
寄贈 水彩
水彩・紙






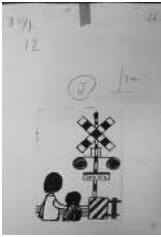









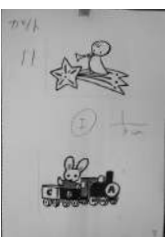

<p>no.15-49</p> <p>谷内六郎 討入りのありそうな夜</p> <p>1955 (昭和30) 年 30.7×20.6 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-50</p> <p>谷内六郎 悲しい心</p> <p>1955 (昭和30) 年 27.5×24.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-51</p> <p>谷内六郎 とこや</p> <p>1955 (昭和30) 年 33.5×23.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-52</p> <p>谷内六郎 まつりで買った じしゃくの人形</p> <p>1955 (昭和30) 年 40.9×30.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-53</p> <p>谷内六郎 正月</p> <p>1950-55 (昭和25-30) 年 31.0×22.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-54</p> <p>谷内六郎 田舎のお嫁さん</p> <p>1956 (昭和31) 年頃 31.2×22.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.15-55</p> <p>谷内六郎 まつげの食事は青葉</p> <p>不詳、30.8×21.6 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-56</p> <p>谷内六郎 富山の薬売り</p> <p>不詳、10.6×18.6 寄贈 水彩 水彩、インク・紙</p> 	<p>no.15-57</p> <p>谷内六郎 TOGO SAN像</p> <p>1950 (昭和25) 年 5月11日 34.5×24.5 寄贈 素描 鉛筆・紙</p> 
<p>no.15-58</p> <p>谷内六郎 母の像</p> <p>1950年代 (昭和25-34) 25.0×16.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.15-59</p> <p>谷内六郎 ノイローゼで皿を破る</p> <p>1955 (昭和30) 年頃 27.5×20.4 寄贈 素描 鉛筆・紙</p> 	<p>no.15-60</p> <p>谷内六郎 ガード</p> <p>1955 (昭和30) 年頃、18.8×24.0 寄贈 素描 墨・紙</p> 
<p>no.15-61</p> <p>谷内六郎 映画浮雲より</p> <p>1955 (昭和30) 年頃、25.2×35.5 寄贈 素描 鉛筆・紙</p> 	<p>no.15-62</p> <p>谷内六郎 熱のある日</p> <p>1951 (昭和26) 年 23.8×18.2 寄贈 素描 鉛筆・紙</p> 	<p>no.16-1</p> <p>谷内六郎 雨の夜</p> <p>1950 (昭和25) 年1月 53.0×45.4 寄贈 油彩 油彩・キャンバス</p> 

<p>no.16-2</p> <p>谷内六郎 ビール会社の坂道</p> <p>1950 (昭和25) 年2月27日 33.5×24.0 寄贈 油彩 油彩・板</p> 	<p>no.16-3</p> <p>谷内六郎 西風の日のげんごろう</p> <p>1950 (昭和25) 年3月14日 33.4×23.8 寄贈 油彩 油彩・板</p> 	<p>no.16-4</p>  <p>谷内六郎 焼あとの子</p> <p>1950 (昭和25) 年4月、21.0×27.0 寄贈 油彩 油彩・板</p>
<p>no.16-5</p>  <p>谷内六郎 びんの中の景色</p> <p>1950 (昭和25) 年9月、45×53 寄贈 油彩 油彩・キャンバス</p>	<p>no.16-6</p> <p>谷内六郎 月見草を灯す人</p> <p>1950 (昭和25) 年9月 53.0×45.0 寄贈 油彩 油彩・キャンバス</p> 	<p>no.16-7</p> <p>谷内六郎 沼の音は低い音</p> <p>1950 (昭和25) 年 33.4×24.2 寄贈 油彩 油彩・板</p> 
<p>no.16-8</p>  <p>谷内六郎 夜明の海辺</p> <p>1950 (昭和25) 年、15.7×22.6 寄贈 油彩 油彩・板</p>	<p>no.16-9</p>  <p>谷内六郎 ヨコハマ</p> <p>1950 (昭和25) 年、15.7×22.8 寄贈 油彩 油彩・板</p>	<p>no.16-10</p>  <p>谷内六郎 房州の夜汽車</p> <p>1950 (昭和25) 年、24.1×33.5 寄贈 油彩 油彩・板</p>
<p>no.16-11</p> <p>谷内六郎 沼の中のB29</p> <p>1951 (昭和26) 年 26.4×18.5 寄贈 油彩 油彩・ボード</p> 	<p>no.17</p>  <p>谷内六郎 上総の町</p> <p>1947 (昭和22) 年、52.5×56.2 寄贈 工芸 ろうけつ染・布</p>	<p>no.18-1</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (風)</p> <p>1971 (昭和46) 年1月2日号、42.3×109.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.18-2</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (こいのぼり)</p> <p>1971 (昭和46) 年5月8日号、42.7×109.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.18-3</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (かまくらとやきもち)</p> <p>1972 (昭和47) 年1月1日、36.3×102.5 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-4</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (雲の飛行機)</p> <p>1972 (昭和47) 年5月31日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>

<p>no.18-5</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(汽車) 1972(昭和47)年5月6日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-6</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(アクアラング) 1972(昭和47)年8月19日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-7</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (北斗七星と花火2) 1972(昭和47)年8月26日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-8</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(雲の汽車) 1973(昭和48)年5月10日、26.2×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-9</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 虫のハイウェイ 1973(昭和48)年8月23日、36.3×102.7 寄贈 原画 水彩・ボード</p>	<p>no.18-10</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(すいか割り) 1973(昭和48)年8月9日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.18-11</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(スキー) 1974(昭和49)年1月10・17日、36.3×103.0 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-12</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 羽根 1974(昭和49)年1月3日、36.4×102.7 寄贈 水彩 水彩・インク・紙</p>	<p>no.18-13</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(雲の楽器) 1974(昭和49)年5月19日号、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-14</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(5月の記憶) 1974(昭和49)年5月2日号、36.3×102.7 寄贈 水彩 ろうけつ、水彩・布</p>	<p>no.18-15</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(かき氷) 1974(昭和49)年8月22日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-16</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 足をさらう波の気分 1974(昭和49)年8月8日、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-17</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (うさぎのかまくら) 1975(昭和50)年1月9・16日 36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.18-18</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 こぼれ陽の映画館 1975(昭和50)年5月1日 36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-19</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(水泳) 1975(昭和50)年8月14日 36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p>

<p>no.18-20</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (花火) 1975 (昭和50) 年8月28日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-21</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (お正月) 1976 (昭和51) 年1月1日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-22</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (カルタ取り) 1976 (昭和51) 年1月8・15日、36.2×103.0 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-23</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 雨後若葉も泳ぐ 1976 (昭和51) 年5月6日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-24</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (うちの水族館) 1976 (昭和51) 年8月19日、36.4×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-25</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 風の音 ドイツにて 1977 (昭和52) 年5月5日、36.4×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-26</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 シャボン玉の夢 1977 (昭和52) 年8月25日、36.3×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-27</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (富士山と新年) 1978 (昭和53) 年1月5日号、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-28</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 ぼく的の真ん中にあてたよ 1978 (昭和53) 年5月4日号、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-29</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 走る雲のかげ 静岡浜岡大砂丘にて 1978 (昭和53) 年8月10日、36.4×102.9 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-30</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 羽根の花 1979 (昭和54) 年1月4日、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-31</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (お正月) 1980 (昭和55) 年1月3日、32.0×36.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.18-32</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (正月、日の出) 不詳、36.3×102.8 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-33</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (北斗七星と花火1) 不詳、36.3×102.5 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-34</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 (パンダの雪だるま) 不詳、36.2×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>

<p>no.18-35</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画 UFOだ 不詳、36.3×103.0 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-36</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(シャボン玉) 不詳、36.2×102.7 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>	<p>no.18-37</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(うみ) 不詳、40.0×103.0 寄贈 水彩 水彩・ボード</p>
<p>no.18-38</p>  <p>谷内六郎 『週刊新潮』中吊り広告原画(夏の海) 不詳、36.6×103.0 寄贈 資料 水彩・ボード</p>	<p>no.19-1</p>  <p>谷内六郎 壁画用ラフスケッチ(ロクロービル) 1971(昭和46)年頃、24.7×109.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.19-2</p>  <p>谷内六郎 大雅堂書店 看板原画 不詳、39.2×193.7 寄贈 水彩 水彩・紙</p>
<p>no.19-3</p>  <p>谷内六郎 書店「文悠」(神楽坂)・横浜相鉄構内 看板原画 不詳、14.8×87.5 寄贈 水彩 水彩・紙</p>	<p>no.20-1</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』 挿絵 1968(昭和43)年 13.5×9.0 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-2</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』挿絵 1968(昭和43)年 26.8×3.9 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-3</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』挿絵 1968(昭和43)年、4.7×8.6 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-4</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』挿絵 1968(昭和43)年、11.1×15.0 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-5</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』 挿絵 1968(昭和43)年 8.2×6.7 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-6</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』挿絵 1968(昭和43)年、11.2×18.0 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-7</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』挿絵 1968(昭和43)年、12.0×11.7 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-8</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'68 No.14』(左) 『成城っ子'69 No.17』(右) 挿絵 1968(昭和43)年／1969(昭和44)年 4.8×4.4(左) 5.7×4.4(右) 寄贈 素描 墨・紙</p>

<p>no.20-9</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.35』(左上)『成城っ子'69 No.17』(右上) 『成城っ子'69 No.17』(左下)『成城っ子'68 No.14』(右下)挿絵 1975(昭和50)年/1969(昭和44)年/1968(昭和43)年 7.5×6.6(左上) 5.1×6.8(右上) 5.6×4.5(左下) 4.5×4.7(右下) 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-10</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 8.7×12.4 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-11</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 12.3×8.0 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-12</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 13.1×9.7 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-13</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 12.9×8.8 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-14</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 11.4×6.6 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-15</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵 1969(昭和44)年、7.9×9.5 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-16</p>  <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵 1969(昭和44)年、6.5×7.8 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-17</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 8.0×7.9 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-18</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 12.5×8.2 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-19</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 12.5×7.6 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-20</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 6.5×12.5 寄贈 素描 墨・紙</p>
<p>no.20-21</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.16』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 12.7×8.6 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-22</p> <p>谷内六郎 『成城っ子』関連(上) 『成城っ子'69 No.16』(下)挿絵</p>  <p>不詳(上)/1969(昭和44)年(下) 6.8×9.6(上)/7.0×9.5(下) 寄贈 素描 墨・紙</p>	<p>no.20-23</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'69 No.17』挿絵</p>  <p>1969(昭和44)年 15.3×7.4 寄贈 素描 墨・紙</p>

no.20-24



谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵
1969(昭和44)年、12.7×11.3
寄贈 素描 墨・紙

no.20-25



谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵
1969(昭和44)年、10.9×15.8
寄贈 素描 墨・紙

no.20-26



谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵
1969(昭和44)年、11.7×10.5
寄贈 素描 墨・紙

no.20-27



谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵
1969(昭和44)年、11.1×15.5
寄贈 素描 墨・紙

no.20-28

谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵

1969(昭和44)年
11.5×8.9
寄贈 素描
墨・紙



no.20-29

谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵

1969(昭和44)年
10.8×8.3
寄贈 素描
墨・紙



no.20-30



谷内六郎
『成城っ子'69 No.17』挿絵
1969(昭和44)年、9.5×10.0
寄贈 素描 墨・紙

no.20-31

谷内六郎
『成城っ子'69 No.18』表紙原画

1968(昭和43)年
29.3×21.0
寄贈 素描
水彩・紙(ボードに貼付)



no.20-32



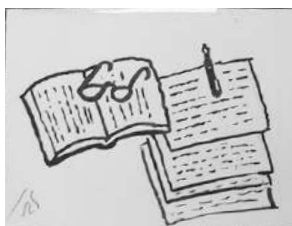
谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』(左)
『成城っ子'68 No.14』(右)挿絵
1972(昭和47)年/1968(昭和43)年
12.8×8.3(左) 10.0×7.8(右)
寄贈 素描 墨・紙

no.20-33



谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』挿絵
1972(昭和47)年、11.4×14.0
寄贈 素描 墨・紙

no.20-34



谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』挿絵
1972(昭和47)年、8.8×11.5
寄贈 素描 墨・紙

no.20-35

谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』挿絵

1972(昭和47)年
13.3×9.0
寄贈 素描
墨・紙



no.20-36

谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』挿絵

1972(昭和47)年
14.0×9.8
寄贈 素描
墨・紙



no.20-37

谷内六郎
『成城っ子'72 No.26』挿絵

1972(昭和47)年
13.2×9.2
寄贈 素描
墨・紙



no.20-38

谷内六郎
『成城っ子'73 No.28』表紙原画

1973(昭和48)年
25.5×18.8
寄贈 水彩
水彩・紙



<p>no.20-39</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'73 No.30』 表紙原画</p> <p>1973 (昭和48) 年 26.8×19.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.20-40</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』 挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年 9.8×8.2 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-41</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』 挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年 13.5×10.7 寄贈 素描 墨・紙</p> 
<p>no.20-42</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年、8.3×12.3 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-43</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』 挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年 9.8×6.2 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-44</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年、7.9×7.3 寄贈 素描 墨・紙</p> 
<p>no.20-45</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'74 No.33』挿絵</p> <p>1974 (昭和49) 年、13.1×15.0 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-46</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'73 No.34』 表紙原画</p> <p>1975 (昭和50) 年 27.5×19.2 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 	<p>no.20-47</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.34』 (上、右下)挿絵 ほか</p> <p>1975 (昭和50) 年／不詳 27.4×18.7 寄贈 素描 墨・紙</p> 
<p>no.20-48</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.34』 (左上、左下、右下) 挿絵 ほか</p> <p>1975 (昭和50) 年／不詳 26.7×18.8 寄贈 素描 水彩・紙</p> 	<p>no.20-49</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.35』挿絵</p> <p>1975 (昭和50) 年、7.1×7.1 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-50</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.35』 表紙原画</p> <p>1975 (昭和50) 年 27.0×18.6 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 
<p>no.20-51</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.35』挿絵</p> <p>1975 (昭和50) 年、8.3×8.4 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-52</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'75 No.35』(中) 『成城っ子'76 No.38』(下) 挿絵 ほか</p> <p>不詳(上)／1975 (昭和50) 年(中)、 1976 (昭和51) 年(下) 6.9×6.6(上)／6.4×4.2(中) ／9.3×6.0(下) 寄贈 素描 墨・紙</p> 	<p>no.20-53</p> <p>谷内六郎 『成城っ子'76 No.39』 表紙原画</p> <p>1976 (昭和51) 年 37.9×27.0 寄贈 水彩 水彩・紙</p> 

no.20-54

谷内六郎
『成城っ子'77 No.40』
表紙原画

1977(昭和52)年
27.3×19.1
寄贈 水彩
水彩・紙



no.20-55

谷内六郎
『成城っ子 創立60周年記念特別号'77 No.41』
表紙原画
1977(昭和52)年、30.0×42.5
寄贈 水彩 水彩・紙



no.20-56

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
10.8×9.8
寄贈 素描
墨・紙



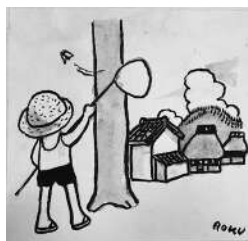
no.20-57

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、11.6×12.7
寄贈 素描 墨・紙



no.20-58

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、13.0×13.5
寄贈 素描 墨・紙



no.20-59

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

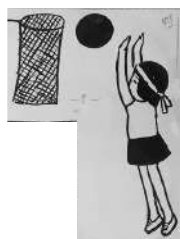
不詳
17.0×8.0
寄贈 素描
墨・紙



no.20-60

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
14.5×10.9
寄贈 素描
墨・紙



no.20-61

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、9.5×9.5
寄贈 素描 墨・紙



no.20-62

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、8.3×8.9
寄贈 素描 墨・紙



no.20-63

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、7.8×14.0
寄贈 素描 墨・紙



no.20-64

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、11.0×11.5
寄贈 素描 墨・紙



no.20-65

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、9.4×11.8
寄贈 素描 墨・紙



no.20-66

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳、19.6×9.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-67

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
14.0×10.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-68

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、7.7×11.0(左)/8.2×13.1(右)
寄贈 素描 墨・紙



no.20-69

谷内六郎
『成城っ子』関連挿絵

不詳
12.7×10.8
寄贈 素描
墨・紙



no.20-70

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、19.0×27.0
寄贈 素描 墨・紙



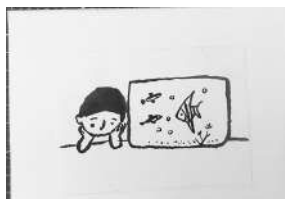
no.20-71

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、9.0×13.9
寄贈 素描 墨・紙



no.20-72

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、8.2×11.0
寄贈 素描 墨・紙



no.20-73

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、12.0×18.3
寄贈 素描 墨・紙



no.20-74

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
13.0×9.0
寄贈 素描
墨・紙



no.20-75

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

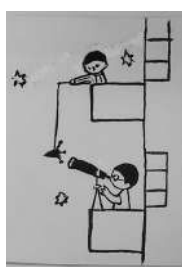
不詳
9.1×13.3
寄贈 素描
墨・紙



no.20-76

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
13.0×9.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-77

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
18.6×11.2
寄贈 素描
墨、水彩・紙



no.20-78

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
13.4×9.4
寄贈 素描
墨・紙



no.20-79

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
10.2×8.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-80

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、12.7×11.2
寄贈 素描 墨・紙



no.20-81

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
10.1×8.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-82

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
10.2×8.1
寄贈 素描
墨・紙



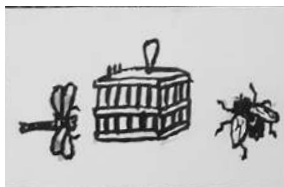
no.20-83

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
9.8×7.7
寄贈 素描
墨・紙



no.20-84



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、6.2×9.8
寄贈 素描 墨・紙

no.20-85



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、4.5×37.9
寄贈 素描 墨・紙

no.20-86



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、10.5×14.8
寄贈 素描 墨・紙

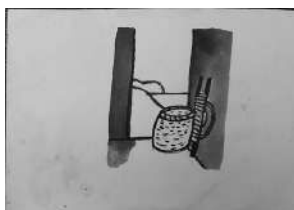
no.20-87

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
16.2×10.9
寄贈 素描
墨・紙



no.20-88



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、13.0×18.6
寄贈 素描 墨・紙

no.20-89



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、7.0×12.9
寄贈 素描 墨・紙

no.20-90



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、8.0×8.9
寄贈 素描 墨・紙

no.20-91

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
9.0×4.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-92



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、6.6×9.0
寄贈 素描 墨・紙

no.20-93



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、7.4×8.5
寄贈 素描 墨・紙

no.20-94

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
16.5×12.4
寄贈 素描
墨・紙



no.20-95



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、9.0×9.0
寄贈 素描 墨・紙

no.20-96

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
8.6×8.0
寄贈 素描
墨・紙



no.20-97



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、11.7×12.0
寄贈 素描 墨・紙

no.20-98

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳
8.6×7.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-99



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、15.0×18.4
寄贈 素描 墨、鉛筆・紙

no.20-100

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
7.4×6.6
寄贈 素描
墨・紙



no.20-101



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、7.2×12.9
寄贈 素描 墨・紙

no.20-102

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳、11.4×6.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-103

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳、7.9×9.0
寄贈 素描 墨・紙



no.20-104



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、8.4×16.8
寄贈 素描 墨・紙

no.20-105

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
13.4×9.1
寄贈 素描
墨・紙



no.20-106

谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵

不詳、7.1×7.0
寄贈 素描 墨・紙



no.20-107

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
11.0×5.4
寄贈 素描
墨・紙



no.20-108

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
11.3×7.6
寄贈 素描
墨・紙



no.20-109

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
9.0×7.5
寄贈 素描
墨・紙



no.20-110

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
7.5×6.9
寄贈 素描
墨・紙



no.20-111



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、11.5×15.3
寄贈 素描 墨、水彩・紙

no.20-112

谷内六郎
『成城っ子』関連
挿絵

不詳
11.3×8.8
寄贈 素描
墨・紙



no.20-113



谷内六郎
『成城っ子』関連 挿絵
不詳、10.0×11.0 寄贈 素描 墨・紙

4-2 保存・修復

4-2-1 保存

作品保存の観点から、収蔵・展示施設内の環境調査を年2回実施した。

期間	第1回	第2回
	5月20日～6月17日	7月10日～8月8日
①昆虫類調査	各展示室を除き、昆虫類の影響は少ない。「文化財害虫」の捕獲は確認されなかった。各展示室、閉架書庫では多数の不fast害虫の侵入がある。	各展示室を除き、昆虫類の影響は少ない。本館1階展示室外でジンサンシバンムシ1頭の捕獲を確認したが、直ちに被害の出るおそれはない。各展示室、閉架書庫では不快害虫の侵入が第1回より増加。各展示室でチャタテムシの捕獲が増加。
②菌類調査	浮遊菌は収蔵庫、前室では採取なし。保管庫ではわずかにあり、温湿度管理の徹底、定期的な清掃が望まれる。	浮遊菌は収蔵庫では採取なし。前室、保管庫ではわずかにあり、温湿度管理の徹底、定期的な清掃が望まれる。
③気相調査	すべての測定箇所良好。	収蔵庫のタンス内で若干の変色を確認。

①昆虫類調査

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
粘着式 トラップ (歩行性昆虫)	設置箇所	18	12	3	4	3
	第1回	コバ I 1	捕獲なし	コバ I 2 / ケ 2 チャタテムシ 2 / コバ I 1	ケ 1 不明 1	ゴミシ 5 / アリ 3 その他 4
	第2回	捕獲なし	チャタテムシ 2 ゲジゲジ 1	チャタテムシ 5 ゲジゲジ 1	チャタテムシ 7 コバ I 1	チャタテムシ 37 / コバ I 2 コバ I 2
		1F展示室(1～3)	1Fギャラリー(1～3)	BF展示室(4～8)	BFギャラリー(南)	BFギャラリー(西)
	設置箇所	8	4	6	4	3
	第1回	コバ I 7 / リ 1	コバ I 3 / チャタテムシ 2 ヤスデ 2 / その他 3	チャタテムシ 7 その他 2	コバ I 2 / チャタテムシ 2 その他 4	コバ I 1 ケ 1
	第2回	チャタテムシ 12 その他 4	コバ I 6 / コバ I 2 チャタテムシ 2 ジンサンシバンムシ 1 / アリ 1	チャタテムシ 15 / コバ I 3 アリ 3 / ヤスデ 2 その他 4	チャタテムシ 24 / コバ I 3 ケ 2 / アリ 1	チャタテムシ 20 / コバ I 4 アリ 2 / その他 3
		BFギャラリー(北)	谷内館展示室1	谷内館展示室2	閉架書庫1	閉架書庫2
	設置箇所	4	4	1	3	3
	第1回	ゴミシ 20 / コバ I 6 ケ 3 / コバ I 3 / アリ 3 ヤスデ 2 / ゲジゲジ 1	コバ I 17 / ヤスデ 2 コバ I 7 / リ 2 / アリ 2 その他 3	コバ I 7 / リ 2	コバ I 23 / ケ 4 ゴミシ 3 / コバ I 7 / リ 3 アリ 2 / チャタテムシ 1	ケ 3 その他 2
	第2回	チャタテムシ 21 / コバ I 13 アリ 7 / コバ I 3 / ケ 2 ゴミシ 2 / コバ I 2	アリ 10 / チャタテムシ 7 コバ I 5 / ケ 3 コバ I 7 / リ 2	コバ I 7 / リ 3	ヤスデ 3 / ケ 2 / アリ 2 チャタテムシ 2 / その他 3	ケ 4 / アリ 2 チャタテムシ 2

		収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
フェロモントラップ (タバコシバンムシ・ ジンサンシバンムシ・ カツオブシムシ類)	設置箇所	3種×2	3種×2	—	3種	—
	第1回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—
	第2回	捕獲なし	捕獲なし	—	捕獲なし	—

②菌類調査(空中浮遊菌)

	調査箇所	収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫	荷解室
		4	3	1	1	1
第1回	一般真菌	0	0	0	1	7
	好稠性真菌	0	0	0	0	6
第2回	一般真菌	0	0	1	1	2
	好稠性真菌	0	0	2	1	2

※数値は、一定時間空気に曝露したサンプル(アガーストリップ)に付着した菌の数 ※好稠性真菌:乾燥を好む種類の真菌(カビ)

③気相調査

	測定箇所	収蔵庫1	収蔵庫2	収蔵庫前室	保管庫
		5	3	1	1
第1回	有機酸	変色なし	変色なし	変色なし	変色なし
	アンモニア	変色なし	変色なし	変色なし	変色なし
第2回	有機酸	タンス内でやや変色	変色なし	変色なし	変色なし
	アンモニア	変色なし	変色なし	変色なし	変色なし

※パッシブインジケータ72時間曝露

4-2-2 修復・額装

令和5年度に寄贈を受けた島田章三作品2点(No.1、2)について、突き傷、剥落部分の修復および裏板の追補を行った(修復後、令和6年度第4期所蔵品展で展示)。

令和6年度に寄贈を受けた高間惣七作品(No.3)、および田中佐一郎作品2点(No.4、5)について、作品の保全や映り込みの解消を目的として、新規額装を施した(新規額装後、令和7年度第1期所蔵品展で展示)。

令和5年度、6年度に寄贈を受けた谷内六郎作品のうち、23点(No.6～28)について、栃木県立美術館での展示のため、また、6点(No.29～34)について、第4期谷内六郎展での展示のために、新規にマット装を施した。

経年によりマットへの固定状態が悪化していた谷内六郎作品9点について、作品保護のためマット装の調整を行った。

No.	内容	作家名	作品名	制作年	作品種別
1	修復	島田章三	ロビーにある二つの椅子	1992年	油彩
2	修復	島田章三	ガラス器と人	1992年	油彩
3	新規額装	高間惣七	アトリエの一部	1900年	油彩
4	新規額装	田中佐一郎	二裸女	1952年	油彩
5	新規額装	田中佐一郎	虚空	不詳	油彩
6	新規マット装	谷内六郎	中村武志著『目白三平の日日』表紙原画	1958年	水彩
7	新規マット装	谷内六郎	赤い風船(青山 山陽堂書店 初代モザイク)	1963年(壁画完成年)	水彩
8	新規マット装	谷内六郎	壺井栄著『二十四の瞳』表紙原画	1965年	水彩
9	新規マット装	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』表紙原画	1967年	水彩
10	新規マット装	谷内六郎	北杜夫著『マンボウおもちゃ箱』(文庫版)表紙原画	1977年	水彩
11	新規マット装	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』表紙原画	1976年	水彩
12	新規マット装	谷内六郎	北杜夫著『マンボウ周遊券』目次挿絵原画	1976年	素描
13	新規マット装	谷内六郎	宮沢賢治著「どんぐりと山ねこ」(『どんぐりと山ねこ』)挿絵5原画	1968年	水彩
14	新規マット装	谷内六郎	宮沢賢治著「雪渡り」(『宮沢賢治童話集4 雪渡り／いちょうの実』)挿絵2原画	1971年	水彩
15	新規マット装	谷内六郎	榎屋製菓CM原画 秋冬編	1970年代後半	水彩
16	新規マット装	谷内六郎	『びんのそら』扉絵原画	1972年	水彩
17	新規マット装	谷内六郎	『びんのそら』挿絵8原画	1972年	水彩
18	新規マット装	谷内六郎	「あまだれ ぽとぽと」表紙・挿絵11原画	1970年	水彩
19	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」鉛の兵隊	1975年	水彩
20	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」早くお家へ帰ろう	1975年	水彩
21	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 オモチャの映画	1975年	水彩
22	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 陽なた	1975年	水彩
23	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 雪の精が帰る	1975年	水彩
24	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 アラビアンナイト	1975年	水彩
25	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画	1975年	水彩
26	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画	1975年	水彩
27	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画 瓦は昔々の波なの	1975年	水彩
28	新規マット装	谷内六郎	『遠い日の絵本 谷内六郎画集』写真構成「遠い星」関連原画	1975年	水彩
29	新規マット装	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』函原画	1959年	工芸
30	新規マット装	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』表紙原画	1959年	工芸
31	新規マット装	谷内六郎	獅子文六著『東京の悪口』扉原画	1959年	工芸
32	新規マット装	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』函原画	1960年	工芸
33	新規マット装	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』表紙原画	1960年	工芸
34	新規マット装	谷内六郎	源氏鶏太著『鬼課長』扉原画	1960年	工芸
35	マット装調整	谷内六郎	公園	1956年	水彩
36	マット装調整	谷内六郎	秋の子	1957年	水彩
37	マット装調整	谷内六郎	赤とんぼ	1964年	水彩
38	マット装調整	谷内六郎	通り雨	1962年	水彩
39	マット装調整	谷内六郎	霧のしづく	1961年	水彩
40	マット装調整	谷内六郎	じしゃくの夢	1956年	水彩
41	マット装調整	谷内六郎	沢蟹は花びらから生れたの	1978年	水彩
42	マット装調整	谷内六郎	寒い日 早く焼けないかなア	1980年	水彩
43	マット装調整	谷内六郎	汽笛	1961年	水彩

4-3 作品の貸出

所蔵作品について、下記のとおり 6 件、19 点の貸出を行った。

no.	作品	点数	展覧会	会場(会期)
1	内田あぐり《分水界》	1	内田あぐり 汎 Fluxes	浜松市秋野不矩美術館 (4月27日～6月23日)
2	白髪一雄《作品Ⅲ》《天敗星活閻羅》	2	生誕100年 白髪一雄展 行為にこそ総てをかけて	尼崎市総合文化センター (7月27日～9月23日)
3	谷内六郎《湖》《月の出》《北国幻想》 《早春譜》《屋外映画会》《聖火の見える道》 《波止場》《ひなの季節》 《雨のメリーゴーラウンド》《七月の埠頭》	10	谷内六郎のタイル絵 —伊奈製陶のPR誌を飾った 昭和の四季—	INAXライブミュージアム (9月7日～12月3日)
4	中村彝《少女》《落合のアトリエ》	2	没後100年記念 中村彝展 アトリエから世界へ	茨城県近代美術館 (11月10日～2025年1月13日)
5	梅原龍三郎《モレー》《静浦風景》	2	生誕130年 青山義雄とその時代展	茅ヶ崎市美術館 (12月14日～2025年2月24日)
6	岡鹿之助《魚》 高崎剛《サーカス》	2	藤田嗣治 7つの情熱	パラミタミュージアム (2025年2月1日～3月30日) SOMPO美術館 (2025年4月12日～6月22日) 神戸市立小磯記念美術館 (2025年6月29日～9月15日) 鹿児島市立美術館 (2025年10月3日～11月9日) ふくやま美術館 (2026年1月24日～3月29日)

5 図書室

5-1 図書室

日本近代美術史研究者として知られる匠秀夫氏（1924～1994）から寄贈を受けた旧蔵書をもとに、美術専門の図書室として一般に公開している。美術に関する図書資料を収集、整理、保存、公開することを活動の目的とする。

5-1-1 所蔵資料数

図書室の所蔵資料数及び令和6年度の受入登録数は次の通りである。

■図書・カタログ登録冊数

	受入登録数(冊)			収蔵総数(冊)		
	図書	和書	363	19,702	和書	19,051
		洋書	7		洋書	651
カタログ	399	和書	398	15,973	和書	15,551
		洋書	1		洋書	422
合計	769			35,675		

■逐次刊行物タイトル数

	受入登録数(誌)	収蔵総数(誌)
雑誌	5	552
年報・紀要類	3	261

■他所蔵点数

	受入登録数(点)	収蔵総数(点)
AV資料 (DVD、CD)	0	115

5-1-2 利用統計

年月	開室日数(日)	入室者数(人)	コピー機利用(枚)
2024年4月	29	2,615	66
5月	30	3,132	35
6月	29	3,067	46
7月	29	2,726	24
8月	30	2,918	50
9月	29	1,684	40
10月	30	1,371	42
11月	29	1,620	113
12月	27	1,195	132
2025年1月	27	1,062	23
2月	27	2,514	57
3月	30	2,603	55
令和6年度合計	346	26,507	683

6 記録

6-1 組織

6-1-1 外部組織

■運営評価委員会

横須賀美術館の運営・事業計画および実績が適切なものであるかについて評価し、適正化を図るため、平成19年度より横須賀美術館評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館運営評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館運営評価委員会」と改めた。

令和6年度の委員は次の通りである。

【委員名簿】

委員長	小林 照夫(関東学院大学名誉教授)
委員長職務代理者	菊池 匡文(横須賀商工会議所専務理事)
委員	柏木 智雄(横浜美術館副館長)
委員	関口 洋輔(ラビスタ横須賀観音崎テラス支配人)
委員	三浦 匡(横須賀市立根岸小学校校長)
委員	倉田 睦(市民委員)
委員	前波 美雪(市民委員)

■美術品評価委員会

本市における美術品取得について、適正かつ円滑な選定評価を行うため、美術品選定評価委員会を設置していた。平成25年4月1日から、横須賀美術館美術品評価委員会条例を施行し、名称を「横須賀美術館美術品評価委員会」と改めた。

令和6年度の委員は次の通りである。

【委員名簿】

委員長	新畑 泰秀(石橋財団アーティゾン美術館教育普及部長)
委員	小泉 淳一(豊島区立熊谷守一美術館館長)
委員	長門 佐季(神奈川県立近代美術館館長)
委員	光田 由里(多摩美術大学教授)
委員	山梨 絵美子(千葉市美術館館長)

6-1-2 委員会の開催記録

■運営評価委員会

令和6年度第1回会議

日時:2024年8月1日(木)14:00~15:45

場所:横須賀美術館 ワークショップ室

令和6年度第2回会議

書面にて開催

令和6年度第3回会議

日時:2025年3月19日(水)10:00~11:30

場所:横須賀美術館 ワークショップ室

■美術品評価委員会

令和6年度会議

日時:2025年2月12日(水)14:00~17:00

場所:横須賀美術館 会議室/収蔵庫

6-1-3 職員等

令和6年度のおもな美術館職員は次の通りである。

【名簿】					
館長	倉林 孝英	学芸担当課長	富田 康子	図書スタッフ	北峰 直美
美術館運営課長	岡本 剛彦	学芸員(主査)	工藤 香澄		嘉山 久美子
総務係長(課長補佐)	下田 哲央	学芸員(主任)	日野原 清水		立花 恵子
主任	安陪 萌菜美		中村 貴絵		中原 直子
	下田 優美		立浪 佐和子		河本 静
	二本木 佑輔		杳沢 耕介		
広報スタッフ	池田 早苗(～12月)	学芸スタッフ	林田 ゆみ子		
	甲斐 琴子(令和7年1月～)		栗林 陵		
管理事務スタッフ	秋田 正司				

6-2 開館日数・観覧者数

令和6年度の美術館開館日数、観覧者数は次の通りである。

開館日数 348日

観覧者数 301,086人(うち有料216,223人、無料84,863人)

6-3 歳入・歳出

令和6年度の美術館に関わる歳入・歳出は次の通りである。

6-3-1 歳入

美術館観覧料	331,972,980円
美術館駐車場使用料	19,917,040円
特別利用料	144,900円
文化芸術振興費補助	721,317円
美術品等取得基金収入	27,026円
美術館展覧会事業指定寄附	500,000円
美術品等取得基金事業指定寄附	431,029円
美術品等取得基金繰入金	0円
図録売払代等雑入	32,385,969円
(計)	386,100,261円

6-3-2 歳出

給与費	131,076,322円
美術館展覧会事業費	313,442,604円
美術館教育普及事業費	4,196,665円
美術品収集管理保管事業費	5,074,077円
美術館運営事業費	6,510,754円
美術館管理事業費	300,067,331円
美術品等取得基金	16,852,016円
(計)	777,219,769円

7 資料

7-1 条例等

7-1-1 美術館条例

平成18年6月14日
条例第35号
改正 平成25年12月17日条例第76号
令和元年9月25日条例第11号
令和3年12月17日条例第74号

美術館条例をここに公布する。

美術館条例

(設置)

第1条 美術を通じたさまざまな交流の機会を提供し、市民の美術に対する理解と親しみを深め、もって文化の向上を図るため、本市に博物館法(昭和26年法律第285号)に基づく美術館を設置する。

(位置及び名称)

第2条 美術館の位置及び名称は、次のとおりとする。

位置 横須賀市鴨居4丁目1番地

名称 横須賀美術館

(休館日等)

第3条 美術館の休館日等は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術館棟

ア 毎月の第1月曜日(その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日にあたるものを除く。)

イ 12月29日から翌年の1月3日までの日

(2) 屋上広場及び駐車場 無休

2 市長は、特に必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に美術館棟の休館日を変更し、若しくは設け、又は屋上広場若しくは駐車場の休場日を設けることができる。

3 臨時に休館し、又は休場するときは、その都度美術館前にその旨を掲示するものとする。

(令3条例74・一部改正)

(開館時間等)

第4条 美術館の開館時間及び開場時間は、次に掲げるとおりとする。ただし、市長において特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(1) 美術館棟

ア 1月から5月まで(4月29日から5月5日までの日を除く。)及び10月から12月まで 午前10時から午後6時まで

イ 6月から9月まで(土曜日を除く。) 午前10時から午後7時まで

ウ 6月から9月までの土曜日及び4月29日から5月5日までの日 午前10時から午後8時まで

(2) 屋上広場 午前9時から午後9時30分まで

(3) 駐車場 午前8時から午後10時まで

(令3条例74・一部改正)

(観覧料及び使用料)

第5条 展示室に展示する美術作品又は美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を観覧しようとする者は、観覧料を納付しなければならない。

2 駐車場を使用しようとする者は、使用料を納付しなければならない。

3 観覧料及び使用料の額は、別表のとおりとする。

4 前項の規定にかかわらず、市制施行記念日(その日が日曜日以外の日に当たるときは、その日に最も近い日曜日)又は国民の祝日に関する法律第2条に規定する文化の日に美術作品等を観覧する場合は、観覧料を無料とする。

5 観覧料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

6 市長は、特別の理由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用許可)

第6条 美術館に収蔵されている美術作品等の営利を目的とした模写、模造若しくは撮影又は当該美術作品等の写真の原版若しくは電磁的記録の使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、管理上必要があると認めるときは、特別利用の許可について条件を付することができる。

3 市長は、管理上支障があると認めるときは、特別利用の許可を取り消し、特別利用を制限し、又は特別利用の停止を命じなければならない。

(令3条例74・一部改正)

(特別利用料)

第7条 特別利用の許可を受けた者については、1点1回につき2,100円の特別利用料を徴収する。

2 特別利用料は、市長が特別の理由があると認めるもののほか、前納しなければならない。

3 市長は、特別の理由があると認めるときは、特別利用料を減免することができる。

(平25条例76・令元条例11・令3条例74・一部改正)

(観覧料等の還付)

第 8 条 既納の観覧料及び特別利用料は、還付しない。ただし、観覧又は特別利用をする者の責めによらない理由により観覧又は特別利用ができない場合は、その全部又は一部を還付することができる。

(行為の禁止)

第 9 条 美術館においては、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 物品の販売、寄付金の募集その他これらに類する行為 (市長の許可を受けたときを除く。)
- (2) その他市長において管理上支障があると認める行為

(令 3 条例 74 ・ 一部改正)

(入館の禁止)

第 10 条 次に掲げる者は、入館することができない。

- (1) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物品を携帯する者
- (2) 他人に迷惑を及ぼし、又は秩序を乱すおそれのある者
- (3) その他市長において管理上支障があると認める者

(令 3 条例 74 ・ 一部改正)

(その他の事項)

第 11 条 この条例に定めるもののほか、美術館の管理について必要な事項は、市長が定める。

(令 3 条例 74 ・ 一部改正)

附 則

この条例の施行期日は、規則で定める。

(平成 19 年 4 月 25 日規則第 64 号により平成 19 年 4 月 28 日から施行)

附 則 (平成 25 年 12 月 17 日条例第 76 号) 抄

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和元年 9 月 25 日条例第 11 号) 抄

1 この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号) 抄

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

1 観覧料

区分		観覧料	
常設展		個人	20人以上の団体
	15歳以下の都高校生を除く。	0円	0円
	高校生、大学生及び65歳以上の者	280円	220円
	一般	380円	300円
企画展	15歳以下の都高校生を除く。	0円	0円
	上記以外の者	その都度市長が定める額	

備考

1 企画展の観覧料には、常設展の観覧料を含むものとする。

2 次に掲げる者の観覧料は、無料とする。

(1) 規則で定める障害者及びその者を介助する者 (障害者 1 人につき 1 人を限度とする。)

(2) 本市の区域内に住所を有する高校生

(3) 本市の区域内に存する高校に在学する者

2 使用料

区分		使用料	
普通自動車	1 回 1 時間まで	320円	1 回 1 時間を超えた場合は、320 円に 1 時間を超えた時間 30 分までごとに 160 円を加算する。ただし、1,600 円を超えるときは、1,600 円とする。
自動二輪車及び原動機付自転車	1 回につき		210円
上記以外の自動車	1 回につき		1,570円

備考

1 普通自動車とは、道路交通法 (昭和 35 年法律第 105 号) 第 3 条に規定する普通自動車をいう。

2 自動二輪車とは、道路交通法第 3 条に規定する大型自動二輪車及び普通自動二輪車をいう。

3 原動機付自転車とは、道路交通法第 2 条第 1 項第 10 号に規定する原動機付自転車をいう。

7-1-2 美術館条例施行規則

令和 4 年 4 月 1 日

規則第 25 号

美術館条例施行規則を次のように定める。

美術館条例施行規則

(休館日、開館時間等の変更)

第 1 条 美術館条例 (平成 18 年横須賀市条例第 35 号。以下「条例」という。) 第 3 条第 2 項に規定する特に必要があると認めるとき及び条例第 4 条ただし書に規定する特別の理由があると認めるときは、次のとおりとする。

- (1) 美術館の施設の維持管理に係る行為を行うとき。
- (2) 美術館に展示する美術作品又は美術に関する資料 (以下「美術作品等」という。) の展示替えを行うとき。
- (3) その他教育委員会が必要と認めるとき。

(観覧の手続)

第 2 条 市長は、条例第 5 条の規定による観覧料の手続を経た者に対して、観覧券を交付するものとする。

2 前項の規定により観覧券の交付を受けた者がその日に再入館する場合は、美術館の入口において前項の観覧券を提示するものとする。

(使用の手続)

第 3 条 市長は、駐車場を使用しようとする者が駐車場に入場する際に、駐車券を交付するものとする。

2 前項の駐車券の交付を受けた者は、駐車場を使用した後、駐車場を出場する際に当該駐車券に使用料を添えて、提出しなければならない。

(高校生)

第 4 条 条例別表第 1 項の表に規定する高校生とは、次項に規定する高校に在学する者をいう。

2 条例別表第 1 項の表備考に関する部分第 2 項第 3 号に規定する高校とは、次に掲げるものをいう。

- (1) 学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。) 第 1 条に規定する高等学校
- (2) 法第 1 条に規定する中等教育学校の後期課程
- (3) 法第 1 条に規定する高等専門学校
- (4) 法第 1 条に規定する特別支援学校の高等部
- (5) 法第 124 条に規定する専修学校の高等課程
- (6) 法第 134 条に規定する各種学校のうち高等学校に相当するもの
- (7) その他高等学校に相当する教育施設

(大学生)

第 5 条 条例別表第 1 項の表に規定する大学生とは、法第 1 条に規定する大学、法第 124 条に規定する専修学校 (高等課程を除く。)、法第 134 条に規定する各種学校 (高等学校に相当するものを除く。) 又はこれらに相当する教育施設に在学する者をいう。

(障害者)

第 6 条 条例別表第 1 項の表備考に関する部分第 2 項第 1 号に規定する規則で定める障害者は、次に掲げる者とする。

- (1) 身体障害者福祉法 (昭和 24 年法律第 283 号) 第 15 条第 4 項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者
- (2) 療育手帳制度要綱 (昭和 48 年厚生省発児第 156 号) の規定による療育手帳の交付を受けている者
- (3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (昭和 25 年法律第 123 号) 第 45 条第 2 項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者

(観覧料及び使用料の減免)

第 7 条 条例第 5 条第 6 項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免の割合又は額は、次のとおりとする。

(1) 学校等 (次に掲げるものをいう。以下同じ。) の職員又はこれに準ずる者が当該学校等の教育活動として当該学校等に在学し、又は在籍する者を引率して観覧するとき 観覧料及び使用料の 10 割

ア 法第 1 条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、幼稚園又はこれらに相当する教育施設

イ 法第 1 条に規定する中等教育学校の前期課程

ウ 法第 1 条に規定する特別支援学校の小学部、中学部又は幼稚部

エ 本市の区域内に存する第 4 条第 2 項に規定する高校

オ 児童福祉法 (昭和 22 年法律第 164 号) 第 7 条第 1 項に規定する児童福祉施設

(2) 前条各号のいずれかに該当する者が駐車場を使用するとき 使用料の 10 割

(3) 観覧券の交付を受けた者 (前条各号のいずれかに該当する者を除く。) が駐車場を使用するとき。

ア 普通自動車 320 円

イ 自動二輪車及び原動機付自転車 使用料の 10 割

(4) その他市長が特に必要と認めたとき 市長が定める割合

(観覧料及び使用料の減免手続)

第 8 条 条例第 5 条第 6 項の規定による観覧料の減免を受けようとする者は、観覧料減免申請書 (第 1 号様式) に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。

2 条例第 5 条第 6 項の規定による使用料の減免を受けようとする者は、使用料減免申請書 (第 2 号様式) に減免の理由を証する書類を添えて市長に提出しなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、前条第 2 号の場合にあっては身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の提示をもって、前条第 3 号の場合にあっては当該駐車場を使用する日付けの観覧券の提示をもって前項の申請書の提出に代えることができる。

4 市長は、第 1 項の規定による申請を受けた場合において、観覧料の減免を決定したときは、観覧料減免決定通知書 (第 3 号様式) を交付するものとする。

5 市長は、第 2 項の規定による申請を受けた場合において、使用料の減免を決定したときは、使用料減免決定通知書 (第 4 号様式) を交付するものとする。

6 市長は、第 3 項の提示を受けたときは、減免決定の旨を口頭により伝えるものとする。

7 前各項の規定にかかわらず、市長が特に必要があると認めるときは、観覧料及び使用料の減免に係る手続の一部を省略することができる。

(特別利用の許可手続)

第9条 条例第6条第1項の規定により美術作品等の特別利用の許可を受けようとする者は、特別利用許可申請書(第5号様式)を市長に提出しなければならない。この場合において、特別利用をしようとする美術作品等が寄託されたものであるときは当該寄託者の同意を得たことを証する書面を、他に著作権者があるものであるときは当該著作権者の同意を得たことを証する書面を添付しなければならない。

2 市長は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用を許可したときは、特別利用許可決定通知書(第6号様式)を交付するものとする。

(特別利用料の減免)

第10条 条例第7条第3項に規定する特別の理由があると認めるとき及び減免割合は、次のとおりとする。

- (1) 当該特別利用が美術館の広報に資するとき 10割
- (2) 教育活動又は学術研究を目的として写真の原板又は電磁的記録を使用するとき 10割
- (3) その他市長が特に必要と認めたとき 市長が定める割合

(特別利用料の減免手続)

第11条 条例第7条第3項の規定による特別利用料の減免を受けようとする者は、特別利用料減免申請書(第7号様式)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請を受けた場合において、特別利用料の減免を決定したときは、特別利用料減免決定通知書(第8号様式)を交付するものとする。

(観覧料及び特別利用料の還付手続き)

第12条 条例第8条ただし書の規定による観覧料又は特別利用料の還付を受けようとする者は、観覧料については観覧券を、特別利用料については特別利用許可決定通知書を市長に提示しなければならない。

(行為の禁止)

第13条 条例第9条第2号に規定するその他市長において管理上支障があると認める行為は、次に掲げる行為とする。

- (1) 所定の場所以外の場所における飲食、喫煙又は火気の使用
- (2) 所定の場所以外の場所における動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)の類の携帯
- (3) 美術作品等に触れる行為(市長の許可を受けたときを除く。)
- (4) 美術作品等の近くでのインク等の使用(市長の許可を受けたときを除く。)
- (5) 展示室内でのフラッシュによる撮影
- (6) その他管理上支障があると認められる行為

(寄託)

第14条 市長は、美術作品等の寄託を受けることができる。

2 市長に美術作品等を寄託しようとする者は、寄託申込書(第9号様式)に当該美術作品等の内容を説明する書類を添えて市長に提出しなければならない。

3 市長は、前項の申込みによる寄託を受けたときは、受託証(第10号様式)を交付するものとする。

4 寄託品の寄託の条件、内容及び期間は、市長が寄託をしようとする者と協議して定める。ただし、寄託の期間については、最長2年間とする。

5 寄託した者が寄託の期間を更新しようとするときは、寄託期間終了の15日前までに寄託申込書を市長に提出しなければならない。

6 第3項及び第4項の規定は、前項の規定による寄託の期間の更新について準用する。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

第1号様式(第8条第1項関係)

第2号様式(第8条第2項関係)

第3号様式(第8条第4項関係)

第4号様式(第8条第5項関係)

第5号様式(第9条第1項関係)

第6号様式(第9条第2項関係)

第7号様式(第11条第1項関係)

第8号様式(第11条第2項関係)

第9号様式(第14条第2項関係)

第10号様式(第14条第3項関係)

7-1-3 横須賀美術館運営評価委員会条例

平成 25 年 3 月 29 日
条例第 26 号
改正 令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号

横須賀美術館運営評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館運営評価委員会条例

(設置)

第 1 条

博物館法 (昭和 26 年法律第 285 号) 第 9 条の規定に基づき、横須賀美術館の運営の状況の評価及びその評価の結果に基づく改善策に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法 (昭和 22 年法律第 67 号) 第 138 条の 4 第 3 項の規定による附属機関として、横須賀美術館運営評価委員会 (以下「委員会」という。) を設置する。

(令 3 条例 74 ・ 一部改正)

(組織)

第 2 条

委員会は、委員 7 人以内をもって組織する。

2 委員は、市民、学識経験者、関係団体の代表者、学校教育関係者、社会教育関係者及びその他市長が必要と認める者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令 3 条例 74 ・ 一部改正)

(委員長)

第 3 条

委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第 4 条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第 5 条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第 6 条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 第 2 条第 3 項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成 25 年 9 月 30 日までとする。

附 則 (令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号) 抄

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。

4 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館運営評価委員会条例第 1 条に規定する横須賀美術館運営評価委員会 (以下「旧運営評価委員会」という。) の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館運営評価委員会条例 (以下「新運営評価委員会条例」という。) 第 2 条第 2 項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

5 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館運営評価委員会の委員の任期は、新運営評価委員会条例第 2 条第 3 項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧運営評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

7-1-4 横須賀美術館美術品評価委員会条例

平成 25 年 3 月 29 日
条例第 27 号
改正 令和 3 年 12 月 17 日条例第 74 号

横須賀美術館美術品評価委員会条例をここに公布する。

横須賀美術館美術品評価委員会条例

(設置)

第1条

横須賀美術館における美術品の取得において、当該美術品の評価に関し、市長の諮問に応ずるため、本市に地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定による附属機関として、横須賀美術館美術品評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(令3条例74・一部改正)

(組織)

第2条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

2 委員は、学識経験者その他の美術品の評価に関し専門的知識を有する者のうちから市長が委嘱する。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(臨時委員)

第3条 委員会に、特別の事項を調査させるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員の任期は、第1項に係る事案の調査期間とする。

(令3条例74・一部改正)

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

(委員以外の者の出席)

第6条 委員会において必要があるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(その他の事項)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の同意を得て委員長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 第2条第3項の規定にかかわらず、この条例の施行後初めて委嘱された委員の任期は、平成26年9月30日までとする。

附 則(令和3年12月17日条例第74号)抄

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

7 この条例の施行日の前日において前項の規定による改正前の横須賀美術館美術品評価委員会条例第1条に規定する横須賀美術館美術品評価委員会(以下「旧美術品評価委員会」という。)の委員である者は、施行日に前項の規定による改正後の横須賀美術館美術品評価委員会条例(以下「新美術品評価委員会条例」という。)第2条第2項の規定により委員に委嘱されたものとみなす。

8 前項の規定により委嘱されたものとみなされる横須賀美術館美術品評価委員会の委員の任期は、新美術品評価委員会条例第2条第3項の規定にかかわらず、施行日におけるその者の旧美術品評価委員会の委員としての任期の残任期間と同一の期間とする。

横須賀美術館年報 令和6年度

編集：横須賀美術館(日野原清水、林田ゆみ子)

発行者：横須賀美術館

〒239-0813 横須賀市鴨居4-1 電話046-845-1211

印刷：株式会社千代田プランニング

発行日：令和7年12月25日

